

令和 6 年度

履修の手引き

全 日 制 普 通 科 （ 単 位 制 ）

茨 城 県 立 太 田 第 一 高 等 学 校

〒313-0005

茨城県常陸太田市栄町 58

TEL 0294-72-2115

FAX 0294-72-2119

学習について

1 本校の教育

本校では「**単位制高等学校の特色を生かし、学力向上を図り、進路希望の実現に努める。**」を目標の1つとして、生徒の学力向上および生徒の進路希望の実現・自己実現の達成に努めています。

ここでの<学力>は、<大学進学にふさわしい学力>です。ですから本校教師が本校生徒に望む学習の目標は<大学進学にふさわしい学力をつけること>が中心となります。

2 学習の内容

上記の学習目標によって、本校生徒の学習内容は<大学進学にふさわしい学力をつけるための学習内容>となります。<大学>は<最高学府>です。現代の学問が到達した<最高水準の学問の場>です。ですから、そこで学ぶのにふさわしい学力と目標意識を持った者となって、<大学>へ進学するのでなければ、進学後の学習に耐えられる筈はなく、進学そのものの意味もありません。ですから、諸君が本校で学ぶ内容は、全教科ともそれに対応したものとなります。そのような内容を、各教科の担当の教師の指導にしたがって、しっかり学んでください。

3 学習の方法

< There is no royal road to learning.><学問に王道なし>といわれます。

昔から、人間は「学習の方法」で悩んできましたが、結局はこの言葉に示されているように、万人に通じる<学習の方法の決め手>はありません。しかし、<決め手となるような手>つまり<学習の方法のポイント>はあります。それは各教科、科目の特色によって異なりますから、具体的には、各教科の先生の指導に従って、自分にふさわしい形の<大学進学にふさわしい学力をつけるための学習方法>を、できるだけ早期に確立して下さい。

4 学習の心構え

(1) 高等学校における「学習」は将来のあらゆる進路のベースであることを常に忘れないこと。

(2) 中学校の学習と異なって、内容が難しく、進度が速いので授業に積極的に参加し、そのために**家庭学習を2時間以上**は毎日必ず行うこと。「学年の数字+1時間」が標準的な家庭学習時間とされています。

(3) 大学進学を考えると、**授業だけでは決定的に不足**です。学習内容の定着や応用力を養うためにも課外授業などには積極的に参加すること。

(4) 学習上の疑問点は教師に質問して、**その日のうちに解消**すること。

(5) 遅刻、早退、欠席を無くして**生活のリズムを確立**すること。

全日制課程普通科—単位制—について

I 単位制とは

1 単位について

高等学校では科目の授業を受け（これを「履修」という）、定期試験などによって評価し一定以上の成果が認められた場合に、この科目の週時間に応じて各年度毎に単位が与えられることになっています。生徒の側からすれば単位が得られた（これを「修得」という）という言い方になります。生徒の修得する単位数はその科目の1週間の授業時数と一致しています。

学校が準備している教科・科目の単位数（週当たり授業時間数）を年次毎に一覧にしたものが「教育課程表」です。教育課程表の共通・選択の欄にある数字、これが各科目の週当たりの授業時間数で、その科目の単位数となります。

2 全日制課程普通科—単位制—について

現在の各高等学校の教育システムは、次の(ア)(イ)(ウ)の中から1つずつの方法を選んだ形で構成されています。

(ア)	全日制課程	定時制課程	通信制課程
(イ)	普通科	専門学科（農業、工業、商業科など）	総合学科
(ウ)	学年制	単位制	

本校は以前は「全日制課程—普通科—学年制」でしたが、平成15年度入学生から「全日制課程—普通科—単位制」へ変更になりました。

全日制課程普通科の学年制は、学年毎に定められた教科・科目の単位を修得して学年を進級していき、基本的には3年間で卒業していくシステムです。一方、全日制課程普通科の単位制は学年という枠を取り払って、3年間に卒業に必要な教科・科目の単位を修得して卒業していくシステムです。年次毎に単位を修得して卒業に必要な単位数以上を修得すれば、3年で卒業することになります。しかし、卒業に必要な単位数が3年間で修得できなかった場合には、卒業が認められず4年目の在籍（4年次）ということになります。

3 普通科—単位制—の教育課程について

単位制の普通科では学年制の普通科と比べて、選択科目をはるかに多く設けることが可能ですので、生徒の皆さんの多様化した進路にきめ細かく対応できることとなります。

本校では、入学生のほとんどが、卒業後に上級学校へ進学することを目標としているので、進学に対応した教育課程を設けています。選択科目を大幅に設けていることから、国公立及び私立大学、短期大学、専門学校など進学全般に柔軟に対応でき、生徒の多様な進路目標に沿った学習ができます。

4 教科・科目の単位修得について

各年次で学習する教科・科目を一覧にしたものを「教育課程表」といいます。この表の各年次の欄の数字、例えば1年次の言語文化の共通の欄は「3」となっていますが、これは言語文化という科目を週3時間で1年間学習することを意味しています。そして、授業への出席状況、取組、課題などの学習状況がある一定以上と認められると、科目を「履修」した、さらに定期考査の成績状況等で一定以上の成果が認められると、言語文化という科目を「3単位修得」したということになります。

また、科目によっては2年間に渡って学習するものもあります。例えば、教育課程表の国語の科目、論理国語の欄は次のようになっています(下表参照)。

教科	科目	1年次		2年次				3年次			
		共通		文系		理系		文系		理系	
		共通	選択	共通	選択	共通	選択	共通	選択	共通	選択
国語	言語文化	3									
	論理国語			2		2		2		2	

これは国語の論理国語という科目は1年次には学習せず、2年次及び3年次に学習することになっており、2年次に週2時間、3年次に週2時間授業があることを示しています。そして最終的に認められれば、現代文の単位が4単位修得できるということになります。このような積み重ねによって、卒業に必要な教科・科目の単位数を修得すれば卒業ということになります。

5 教科、科目について

中学校と違って、高校のそれぞれの教科にはたくさんの科目が設けられています。その中にはすべての高校生が必ず学習しなければならない「必履修科目」と、自分の進路や適性、興味・関心によって選択して学習する「選択履修科目」があります。単位制の普通科では選択履修する科目を学年制の普通科よりもはるかに多く用意して、生徒のみなさんの多様な進路等によりきめ細かく対応できるようにしています。

また、選択履修科目の中には学校独自の科目（これを「学校設定科目」といいます）を設けて、より幅広い科目選択ができるようにしています。例えば、「王朝物語研究Ⅰ」や「数学探究Ⅰ」などがこれにあたります。

6 学習する教科・科目の選択について

1年次には基礎基本である必履修科目を重点的に学習し、2年次以降は用意された教科・科目の中から進路、適性、興味・関心に応じて選択し、学習することになります。そのため、1年次は全員がほぼ同じ科目を学習することになり、クラス単位の学習が基本になりますが、2年次以降は選択科目の違いからクラス毎の学習は少なくなります。

2・3年次での科目の選択の仕方については、各年次で皆さんの将来の進路等についての指導やガイダンスを行い、どのような科目選択をすれば、みなさんが将来の人生において自己実現が図れるのかアドバイスを行っていきます。その際の科目選択の目安として、2年次では「文系」「理系」の2パターン、3年次では「文系1」「文系2」「理系1」「理系2」の4パターンの選択モデルを用意しましたので、これを参考にして自分の時間割を作ることができます。迷ったり困ったりしたときにはクラス担任やカリキュラム担当の先生に相談することができるようになっています。

7 進路目標が変わった場合について

年次の途中で科目を変えることはできませんが、次の年次（4月）からは予定していた科目を、変更した進路目標に応じて選択し直すことができます（担任の先生等に相談してください。希望科目が選択できない場合もあります）。学年制のコース制と比べて進路変更にはるかに柔軟に対応できます。

8 単位制による年次や学級活動について

単位制は学年の枠を取り払うという考え方から、「学年」という集団の概念はなくなるのではないかと考えるかもしれませんが、そんなことはありません。学習集団としての学年の形は教育上有意義なものですので、単位制では呼び方が、1年次、2年次、3年次と変わりますが、学校行事や各種活動の基本的な活動単位としています。

また、学級（ホームルーム）についても変わりありません。学級担任・担任サポーターがいて、SHR、LHRなどの学級活動を行い、各種の学校行事、例えば体育大会や文化祭（本校では青龍祭）などへクラス単位で参加します。

9 学校行事や生徒会活動、部活動について

いずれも単位制以外の高校と変わりません。儀式的行事、体育的行事、文化的行事など多彩な学校行事を予定しています。この中には生徒会が中心となって企画・運営するものも多くあります。また、部活動については文化部、運動部ともに可能な限り多くの部を準備しています。

Ⅱ 単位制教育課程の特徴

1 開設科目

本校は単位制の高校です。この単位制の特徴を生かし、ほぼ全員が上級学校に進学という進路状況です。そこで、多様な能力・適性・進路・興味・関心などに応えられるよう教育課程を編成しています。

共通履修科目		すべての本校生徒が必ず履修しなければならない科目
1年次	現代の国語、言語文化、歴史総合、公共、数学Ⅰ、数学A、化学基礎、生物基礎、体育、保健、英語コミュニケーションⅠ、論理・表現Ⅰ、家庭基礎、総合的な探究の時間（青龍タイム）	
2年次	論理国語、地理総合、数学Ⅱ、数学B、体育、保健、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅱ、情報Ⅰ、総合的な探究の時間（青龍タイム）	
3年次	論理国語、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅲ、体育、総合的な探究の時間（青龍タイム）	
選択必修履修科目		すべての本校生徒が必ず選択し履修しなければならない科目
1年次	音楽Ⅰ 又は 美術Ⅰ 又は 書道Ⅰ	
類型必修選択科目		類型によって必ず選択しなければならない学校指定の科目
2年次	文学国語、古典探究、地理総合、世界史探究 又は 日本史探究、物理基礎、地学基礎、化学、物理 又は 生物 又は 地学	
3年次	文学国語、古典探究、地理探究、地理探究 又は 政治・経済、日本史探究 又は 世界史探究、日本史研究B 又は 世界史研究B、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学C、数学探究Ⅲ、地学基礎、物理、化学、生物、地学、国際探究	
自由選択科目		類型に用意されている科目から自由に選択できる科目
国語	作家研究、王朝物語研究Ⅰ、現代の問題研究、女流日記文学研究、論語研究	
地歴	地理研究A、日本史研究A、世界史研究A	
公民	公民研究	
数学	数学探究Ⅰ、数学探究Ⅱ、数学探究Ⅲ	
理科	生物探究	
芸術	音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ 音楽実技研究Ⅰ、音楽実技研究Ⅱ、デザイン、デッサン、書の世界Ⅰ、書の世界Ⅱ	
英語	国際探究	
家庭	フードデザイン	
情報	情報Ⅱ	

2 日課表

始業時刻 8:30

	平常日課 55分 6時間授業	短縮日課 50分 6時間授業	一斉試験 50分
SHR	8:30～ 8:35	SHR	8:30～ 8:35
1時限	8:40～ 9:35	1時限	8:40～ 9:30
2時限	9:45～10:40	2時限	9:45～10:35
3時限	10:50～11:45	3時限	10:50～11:40
昼休み	11:45～12:35	昼休み	11:40～12:30
4時限	12:35～13:30	4時限	12:30～13:20
5時限	13:40～14:35	5時限	
6時限	14:45～15:40	6時限	
清掃等	15:40～16:00	清掃等	

3 授業

単位制だからといって、授業が他校より難しいということはありません。他の普通高校と同じ内容の教科書を使って学習します。ただ、高校に入ると数学や英語が難しいと感じ、苦手意識を持つ生徒が多くいます。本校では、一人一人の生徒を大切に、個性・能力を十分伸ばさせるために下記のような授業を実施しています。

(1) 少人数による授業

多くの科目の中から各自が学びたい科目を自由に選択するので、1つの科目を受講する生徒の数は、1クラスの人数より少なくなります。少人数で自分の興味・関心・進路に合った科目を受講するので、効率のよい学習ができます。当たり前のことですが、予習・復習をしっかりとやる必要があります。

また、英語や数学では、1クラスを2グループ、2クラスを3グループに分けた授業を実施し、生徒一人ひとりへの細やかな対応ができるよう工夫しています。

(2) 習熟度別授業

生徒一人一人の個性や能力には違いがあり、得意教科や不得意教科も異なります。得意な生徒にはさらに学力の向上を図り、不得意な生徒には基礎を徹底することにより、理解力を深めることができます。将来どのような進路に進もうとも、困ることのない学力と学習習慣を身につけるため、特に学習プロセスが重要となる英語と数学で、習熟度別授業が考えられます。自分のレベルに合った授業内容と進度が生徒一人一人の理解を促し、学習することの「喜び」や「満足感」を与えたいと考えています。

(3) T・Tによる授業

T・T (team teaching) とは複数の指導者による学習活動のことです。

授業を進める上で、必要な場合には複数の教員がチームを組んで支援に当たります。「情報」や「家庭」は実習的要素が多く、コンピュータ操作その他に大きな個人差があるため、一人の教員による一斉授業では生徒一人ひとりに対応できません。

4 卒業

卒業するためには、本校で定めた単位数以上の単位を修得することが必要です。

Ⅲ 履修登録について

履修登録

1年次：殆ど必履修科目のため、全員がほぼ共通の科目を学びます。

本校では芸術の教科について選択科目を用意していますので、どの科目を選択するかを決定しなければなりません。

芸術：（音楽Ⅰ又は書道Ⅰ又は美術Ⅰ）

※（ ）内から1科目を必ず選択します。

履修登録への流れ

将来の進路を考えながら、類型や学習する教科・科目を決定します。文系と理系の希望者数でクラス数を決定します。

7月中旬	第1回履修ガイダンス
9月中旬	第2回履修ガイダンス
9月下旬	希望調査
10月中旬	生徒面談
11月中旬	保護者面談
11月下旬	履修科目登録

2年次：文系では英語・国語・地歴の単位数が多くなり、理系では数学・理科の単位数が多くなります。また、文系では地歴について、理系は理科について選択科目を用意しています。

文系 地歴：（世界史探究 又は 日本史探究）

理系 理科：（物理 又は 生物）

※（ ）内から1科目を必ず選択します。

履修登録への流れ

将来の進路を考えながら、類型や学習する教科・科目を決定します。

7月中旬	第1回履修ガイダンス
9月上旬	第2回履修ガイダンス
9月中旬	第3回履修ガイダンス
10月中旬	生徒面談
10月下旬	希望調査
11月中旬	保護者面談
11月下旬	履修科目登録

3年次：文系1・文系2・理系1・理系2のパターンに分かれます。

自分の進路希望・興味・関心に応じた科目選択をすることで、自分の時間割が作成できます。学校設定科目から自分の進路に合わせて科目を選択できます。

例：王朝物語研究・公民研究・数学探究・生物探究・国際探究など

履修ガイダンス・進路ガイダンス計画

※時期・名称変更あり

月	1 年 次	2 年 次	3 年 次
3	合格者説明会 ・科目選択登録 ・教科書等購入		
4	第1回進路希望調査 第1回生徒面談 教科ガイド	第1回進路希望調査 第1回生徒面談 生徒個人別時間割作成	第1回進路希望調査 第1回生徒面談 生徒個人別時間割作成
5	進路ガイダンス ・進路設計について ・職業について	進路ガイダンス ・進路設計について ・職業について	
6	キャリア教育講座※	キャリア教育講座※	保護者面談
7	進路ガイダンス ・履修パターンについて 大学見学会※	進路ガイダンス ・履修パターンについて 大学見学会※	総合型・学校推薦型選抜希望者説明会
8	大学見学会※	大学見学会※	総合・推薦対策講座※
9	第2回進路希望調査 履修科目 科目選択ガイダンス 進路講演会（外部講師）※ 年次PTA	第2回進路希望調査 履修科目 科目選択ガイダンス 年次PTA	第2回進路希望調査 共通テスト出願説明会
10	第2回生徒面談	第2回生徒面談	第2回生徒面談保護者面談
11	第1次履修科目登録 保護者面談 第2次履修科目登録	第1次履修科目登録保護者面談 第2次履修科目登録	
12	履修登録の最終確認	履修登録の最終確認	
1		大学・学部・学科研究 受験科目研究	共通テスト直前指導
2	第3回進路希望調査	第3回進路希望調査	
3	進学懇談会（3年生合格体験）	進学懇談会（3年生合格体験）	卒業式

履修モデルパターンの例

◇ 履修モデルパターン ◇																																					
1 年 次	共通履修																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33				
	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	音楽 美術 書道	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	青 龍 時 間	HR																					
2 年 次	文系																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33				
	論理国語	文学国語	古典探究	地理総合	日本史探究 世界史探究	数学Ⅱ	数学B	地学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	青 龍 時 間	HR																						
	理系																																				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33					
論理国語	文学国語 古典探究	地理総合	数学Ⅱ	数学B	化学	物理基礎 地学基礎	物理 生物 地学	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	青 龍 時 間	HR																							
3 年 次	文系1																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33				
	論理国語	文学国語	古典探究	政治経済	日本史探究 世界史探究	地歴学設	数学Ⅱ	数学C	地学基礎	理科学設	体育	英語コミュニケーションⅢ	論表Ⅲ	青 龍 時 間	HR																						
	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究	政治経済	数学Ⅱ	数学C	地学基礎	理科学設	体育	英語コミュニケーションⅢ	論表Ⅲ	青 龍 時 間	HR																							
	文系2																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33				
	論理国語	文学国語	古典探究	政治経済	日本史探究 世界史探究	地歴学設	国際探究	選択科目	体育	英語コミュニケーションⅢ	論表Ⅲ	青 龍 時 間	HR																								
論理国語	文学国語	古典探究	地理探究	政治経済	国際探究	選択科目	体育	英語コミュニケーションⅢ	論表Ⅲ	青 龍 時 間	HR																										
理系1																																					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33					
論理国語	古典探究	地理探究 政治経済	数学Ⅲ	数学C	物理	生物	地学	化学	体育	英語コミュニケーションⅢ	論表Ⅲ	青 龍 時 間	HR																								
自然科学類型（理系2）																																					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33					
論理国語	古典探究	地理探究 政治経済	数学Ⅱ	数学探究	数学C	物理	生物	地学	化学	体育	英語コミュニケーションⅢ	論表Ⅲ	青 龍 時 間	HR																							

令和 6 年度教育課程編成表

学校番号	10	学校名	茨城県立太田第一高等学校	学校長名	谷津 勉	令和 5, 6 年 4 月 入学生徒用				
課程名	全日制	学科名	普通科							
教科	科目	単位数または時数	総単位数	年 次 別 配 当						
				1	2		3			
					文系	理系	文系 1	文系 2	理系 1	理系 2
国 語	現代の国語	2	2							
	言語文化	3	3							
	論理国語	4,6		3	2	3	3	2	2	
	古典探究	4,6		3	2	3	3	2	2	
	*作家研究	0,2					[2]			
	*王朝物語研究 I	0,2						[2]		
	*現代の問題研究	0,2						[2]		
	*女流日記文学研	0,2						[2]		
*論語研究	0,2						[2]			
地 理 歴 史	地理総合	2,3			2	3				
	地理探究	3,4					4	3	4	3
	歴史総合	2	2						3	3
	日本史探究	0,6		[4			[2]	[2]	[2]	[2]
	世界史探究	0,6					[2]	[2]	[2]	
	*地理研究 A	0,2					[2]	[2]	[2]	
	*日本史研究 A	0,2					[2]	[2]	[2]	
	*世界史研究 A	0,2					[2]	[2]	[2]	
	*日本史研究 B	0,2					[2]	[2]	[2]	
	*世界史研究 B	0,2					[2]	[2]	[2]	
公 民	政治・経済	2	2							
	*公民研究	0,3					3	3	3	3
		0,2					[2]	[2]	[2]	
数 学	数学 I	3	3							
	数学 II	4,7		4	4	3			5	3
	数学 III	0,5								
	数学 A	2	2							
	数学 B	2		2	2					
	数学 C	0,2				2			2	2
	*数学探究 I	0,2						[2]		
	*数学探究 II	0,2						[2]		
*数学探究 III	0,2								2	
理 科	物理基礎	0,2				[2				
	化学基礎	0,7				[2]			[5	[5
	化学	2	2							
	生物基礎	0,6			3			3		3
	生物	2	2							
	地学基礎	0,7		2			2			
	地学	0,2,4								
*生物探究	0,7					2		[2]		
*生物	0,2									
保 健 体 育	体育	7	2	2	2	3	3	3	3	
	保健	2	1	1	1					
芸 術	音楽 I	0,2								
	音楽 II	0,2								
	美術 I	0,2	[2							
	美術 II	0,2					[2]			
	書道 I	0,2								
	書道 II	0,2								
	*音楽実技研究 I	0,2					[2]			
	*音楽実技研究 II	0,2					[2]			
	*デッサン	0,2					[2]			
	*デザイン	0,2					[2]			
*書の世界 I	0,2					[2]				
*書の世界 II	0,2					[2]				
外 国 語	英語コミュニケーション I	4	4							
	英語コミュニケーション II	4		4	4					
	英語コミュニケーション III	4				4	4	4	4	
	論理・表現 I	2	2							
	論理・表現 II	2		2	2					
	論理・表現 III	2				2	2	2	2	
*国際探究	0,3					3				
家 庭 情 報 科	家庭基礎	2	2							
情報	2,4		2	2		[2]				
共通科目の履修単位数計		91~93	31	31	31	31	29~31	31	31	
家庭	フードデザイン	0,2					[2]			
職業(専門)科目の履修単位数		0,2					0,2			
総合的な探究の時間	青龍タイム	3	1	1	1	1	1	1	1	
履修単位数合計		96	32	32	32	32	32	32	32	
ホームルーム活動の過当たり配		3	1	1	1	1	1	1	1	
組 教					5					
						授業 1 コマの時間	学期制			
						55 分	2			

備考 1 3年次の文系2では[]のうちから3科目を選択する。

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
現代の国語	2	普通科・1年次	現代の国語(筑摩書房)					
科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>							
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月	サイエンスの視点、 アートの視点	話す・ 聞く	6	<p>① 知識・技能 発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>「サイエンスの視点、アートの視点」を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>ノート リアクション ペーパー 審査 授業時の反応</p> <p>ノート リアクション ペーパー 審査 授業時の反応</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①「サイエンスの視点、アートの視点」を参考に、自然の中で見つけた驚きや、物語や芸術作品に接して感動したことを書き出す。</p> <p>② ①で挙げたことから、どのような「問い」を立てることができるか、付せん書き出す。</p> <p>③ ①②で挙げたことをグループ内で発表し、興味深い「問い」と興味深いと感じた理由を説明する。</p>	<p>文章をもとに感じたこと、考えたことをその根拠も含めて伝え合う。</p>	<p>英語 言語によるコミュニケーション</p>
5月～ 6月	ことばとは何か	読む	9	<p>ことばについて書かれた本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。</p> <p>「ことばとは何か」ということに関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント) 審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①日本語にあってほかの言語にはない名詞にはどのようなものがあるか調べ、互いに発表する。</p> <p>②他の言語における気象用語に関して、日本語とは「含まれている意味の厚みや興行きが違う」例をグループで調べ、それぞれ発表する。</p> <p>③関心のあるテーマの一つを選び、具体例や比喻を用いて400時程度の文章を書く。書き終わったら互いに発表する。</p>	<p>関心のあるテーマの一つを選び、具体例や比喻を用いて400時程度の文章を書く。書き終わったら互いに発表する。</p>	<p>外国語 フランス語や英語との比較</p>
7月	兎が自分でつづって語る生活の話	読む	6	<p>① 知識・技能 本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 推論の学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①文章と筆者のスケッチを比較することでどのようなことが読み取れるか、話し合う。</p> <p>②筆者の推論過程を、順序だてて図解する。</p> <p>③表口絵の写真や絵画を観察し、そこから読み取れることを文章にまとめる。</p>	<p>表口絵の写真や絵画を観察し、そこから読み取れることを文章にまとめ、発表する。</p>	<p>生物 動物の眼についての基礎知識</p>
1週～			8	<p>① 知識・技能 発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①「近代社会」と「伝統的な社会」を比較し、「近代社会」の特徴を箇条書きでまとめる。</p> <p>②「民主政治」(民主政治)の成り立ちについて調べ、その結果をグループで共有する。</p> <p>③筆者の意見を踏まえて、関心を持った社会問題やニュースについて議論する。</p>	<p>筆者の意見を踏まえて、関心を持った社会問題やニュースについて議論する。</p>	<p>日本史 大正デモクラシー、民本主義との比較</p>
3週			8	<p>① 知識・技能 発表の際に、話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①本文を三つの意味段落に分け、各意味段落に小見出しをつける。</p> <p>②三つの意味段落の内容を、キーワードに注意しながらそれぞれ100字以内で要約する。</p> <p>③各意味段落の内容をつなぎ合わせて、本文全体の要約文を200字以内で書く。出来上がった要約文については、周囲の人と読み合わせて違いを確認する。</p>	<p>各意味段落の内容をつなぎ合わせて、本文全体の要約文を200字以内で書く。出来上がった要約文については、周囲の人と読み合わせて違いを確認する。</p>	<p>日本史 人類の進化と信仰の誕生</p>
10月 1週～ 4週	魔術化する科学技術	読む	8	<p>① 知識・技能 本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 推論の学習の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①意見がまとまらずになかなか解決しない社会問題を挙げ、その中から一つ選んで、対立する立場の人々が主張する意見について、その根拠を列挙する。</p> <p>② ①で取り上げた問題について、「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p> <p>③この話し合いを通して学んだことは何か、互いに発表する。</p>	<p>「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p>	<p>江戸城無血開城について 日本史</p>
11月	会話と対話	話す・ 聞く	6	<p>① 知識・技能 本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①意見がまとまらずになかなか解決しない社会問題を挙げ、その中から一つ選んで、対立する立場の人々が主張する意見について、その根拠を列挙する。</p> <p>② ①で取り上げた問題について、「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p> <p>③この話し合いを通して学んだことは何か、互いに発表する。</p>	<p>「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p>	<p>江戸城無血開城について 日本史</p>
1週～			6	<p>① 知識・技能 本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①意見がまとまらずになかなか解決しない社会問題を挙げ、その中から一つ選んで、対立する立場の人々が主張する意見について、その根拠を列挙する。</p> <p>② ①で取り上げた問題について、「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p> <p>③この話し合いを通して学んだことは何か、互いに発表する。</p>	<p>「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p>	<p>江戸城無血開城について 日本史</p>
3週			6	<p>① 知識・技能 本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の点検 (ノート) 授業時の発言・審査</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)・授業時の反応</p>	<p>①意見がまとまらずになかなか解決しない社会問題を挙げ、その中から一つ選んで、対立する立場の人々が主張する意見について、その根拠を列挙する。</p> <p>② ①で取り上げた問題について、「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p> <p>③この話し合いを通して学んだことは何か、互いに発表する。</p>	<p>「会話と対話」の筆者の考え方をふまえながら賛成と反対の立場に分かれて話し合い、どうすればいいのか結論を出す。</p>	<p>江戸城無血開城について 日本史</p>

11月4週～12月3週	贅沢の条件	書く	8	<p>① 知識・技能 筋道を立てて論述する仕方を学ぶ中で、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題をとらえなおしたりすること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検（ノート） 授業時の発言・考査</p> <p>記述の点検（ノート） 授業時の発言・考査</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 授業時の反応</p>	<p>①自身が感銘を受けたことのある他者のことばをメモに書き出す。</p> <p>②グループ内でメモを共有し、質問・説明し合って、理解を深める。</p> <p>③一つのことばを選び、身近な問題にあてはめて短い文章にまとめる。</p>	一つのことばを選び、身近な問題にあてはめて短い文章にまとめる。	情報 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について
1月2週～4週	来るべき民主主義	書く	8	<p>① 知識・技能 筋道を立てて論述する仕方を学ぶ中で、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検（ノート） 授業時の発言・考査</p> <p>記述の点検（ノート） 授業時の発言・考査</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 授業時の反応</p>	<p>①自身が感銘を受けたことのある他者のことばをメモに書き出す。</p> <p>②グループ内でメモを共有し、質問・説明し合って、理解を深める。</p> <p>③一つのことばを選び、身近な問題にあてはめて短い文章にまとめる。</p>	他者の思考を土台にし、一つのことばを選び、身近な問題にあてはめて短い文章にまとめる。	公民 国家と地方自治
2月1週～3月末	リスクと近代社会	書く	11	<p>① 知識・技能 推論の仕方を理解し使うことができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心を持っている。〈発問・授業時の反応〉／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。〈授業時の反応〉</p>	<p>記述の点検（ノート） 授業時の発言・考査</p> <p>小論文の記述 授業時の発言・考査</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 授業時の反応</p>	<p>①教材本文にある筆者の問いかけとその解答を順序立ててまとめ、趣旨を200字で書く。</p> <p>②現代社会の具体的なリスクを一つ挙げ、考えられる対策とその問題点について分析し、自分の考えをまとめる。</p> <p>③「リスク社会」に生きる私たちに求められていることは何か、本文を踏まえた上で考察を深める。</p> <p>④学習したことをもとに考えたことを小論文にまとめる。</p>	相対化の視点を身につけるための小論文を書く。	情報 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		20					
	書くこと		27					
	読むこと		23					
	指導時間数の合計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
言語文化		3	普通科・1年次		言語文化(筑摩書房)			
科目の目標		(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等 横断的な視点等
4月	児のそら寝	読む	7	① 知識・技能 古文の入門的な文章である説話を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる。 ② 思考・判断・表現 説話という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の点検 (ノート、リ アクション ペーパー) 記述の点検 (ノート、プ リント)、授 業時の反応、 審査 記述の確認 (振りかえ り、まとめテ スト)、授業 時の反応	①歴史的仮名遣いの読み方を学ぶ。 ②古語と現代語の違いについて理解し、辞書の使い方について学ぶ。 ③説話の面白さについて、内容・表現・歴史的背景などの点から理解する。 ④品詞について理解する。特に体言と用言の区別、用言の品詞の区別を理解する。	作品の「構成」を意識して四コマ漫画を描く。	
5月	守株	読む	7	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、故事成語の歴史的・文化的背景などを理解している。 ② 思考・判断・表現 故事成語の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の点検 (ノート、リ アクション ペーパー) 記述の点検 (ノート、プ リント)、授 業時の反応、 審査 記述の確認 (振りかえ り、まとめテ スト)、授業 時の反応、発 表	①漢文訓読について理解する。 ②「句法のまとめ」に挙げられた句法について理解する。 ③各教材の内容と故事について理解する。 ④各教材に描かれた当時の中国人の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。	故事成語の出典を、複数の辞書などで調べ、比較して分かったことを発表する。	中国史を踏まえた本文の把握 世界史
6月	羅生門	読む	13	① 知識・技能 『今昔物語集』と読み比べて、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 ② 思考・判断・表現 「羅生門」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の点検 (ノート、リ アクション ペーパー) 記述の点検 (ノート、プ リント)、授 業時の反応、 審査 記述の確認 (振りかえ り、まとめテ スト)、授業 時の反応、グ ループ発表	①時代背景、時刻や場所の設定、「下人」の置かれている状況など、作品の枠組みをまとめる。 ②「下人」と「老婆」のやりとりや小説の結末を通して、人間が自分の進退や生死などに関する選択や決断で苦悩するときの思考のあり方を考察する。 ③周到に計算された描写や比喩などの表現技巧を整理し、その効果と小説世界の有機的な構造を考える。 ④「参考」として掲載されている『今昔物語集』の文章と比較して、その違いをまとめる。	本文と「今昔物語」と読み比べ、グループで話し合っ て気づいたことや共通点・ 相違点をまとめる。	
7月 1週～3 週	大江山	読む	9	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、説話の歴史的・文化的背景などを理解している。 ② 思考・判断・表現 説話という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の点検 (ノート、リ アクション ペーパー) 記述の点検 (ノート、プ リント)、授 業時の反応、 審査 記述の確認 (振りかえ り、まとめテ スト)、授業 時の反応	①歴史的仮名遣いについて理解する。 ②用言の活用の種類と活用形を理解する。 ③物語に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④説話の特色について理解する。	作品の「構成」を意識して四コマ漫画を描く。	英米文学にお ける人称の問 題 英語
9月	伊勢物語	書く	12	① 知識・技能 『伊勢物語』を読み、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ② 思考・判断・表現 『伊勢物語』の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の点検 (ノート、リ アクション ペーパー) 記述の点検 (ノート、プ リント)、授 業時の反応、 審査 記述の確認 (振りかえ り、まとめテ スト)、授業 時の反応	①助動詞・係り結びの法則について理解する。 ②接続助詞「ば」の用法について理解する。 ③物語の内容を把握し、和歌に託された人物の心情を読み取る。 ④物語に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ⑤歌物語の特色や、『伊勢物語』について理解する。	教科書の中から一つ好きな詩歌を選んで、「歌物語」を作る。	
10月	更級日記	書く	12	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 『更級日記』や日記文学の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く小説の文体の特徴を捉え、表現を工夫しながら人称を書き換え、今までの学習を生かして小説における人称の選択と表現効果について考え、理解を深めようとしている。	記述の点検 (ノート、リ アクション ペーパー) 記述の点検 (ノート、プ リント)、授 業時の反応、 審査 記述の確認 (振りかえ り、まとめテ スト)、授業 時の反応	①助詞について理解する。 ②日記の内容を把握し、作者の心情を理解する。 ③日記に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④日記の特色や、『更級日記』について理解する。	選んだ古典の物語を古典特有の表現や語句に気をつけながら一人称に換えて書く。	

11月	管飽之交	読む	10	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、「管飽之交」の歴史的・文化的背景などを理解している。	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)	①「管飽之交」の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ②「管飽之交」に描かれた当時の中国人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ③中国の歴史・文化について理解する。 ④漢文の特色を声に出して味わう。	教科書に掲載された作品から登場人物を一人選び、特徴を挙げながら人物評を書く。	中国史を踏まえた本文の把握 世界史
				② 思考・判断・表現 「管飽之交」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	記述の点検 (ノート、プリント)、授業時の反応、 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)、 授業時の反応			
12月 1週～3週	平家物語	読む	11	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)	①音便・敬語法・対句表現について理解する。 ②物語の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ③物語に描かれた平安時代末期の武人の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④軍記物語や、『平家物語』の特色について理解する。 ⑤語り文体としての軍記物語の特色を声に出して味わう。	琵琶法師の語る「平家物語」を聞き、グループに分かれて考えたことを話し合い、まとめ、「語り」の特徴を理解する。	
				② 思考・判断・表現 「平家物語」の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	記述の点検 (ノート、プリント)、 授業時の反応、 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)、 授業時の反応、 グループ発表			
1月	雑説	読む	12	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)	①「雑説」の論旨を文章の展開に沿って把握する。 ②中国の歴史・文化について理解する。 ③漢文の特色を声に出して味わう。	「雑説」の寓話が当てはまる現代の事例を探し、「雑説」の文章構成を参考にしながら、意見文を書く。	中国史を踏まえた本文の把握 世界史
				② 思考・判断・表現 「雑説」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	記述の点検 (ノート、プリント)、 授業時の反応、 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)、 授業時の反応			
2月 3月	韻文の表現	書く	12	① 知識・技能 近現代詩を通して、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	記述の点検 (ノート、リアクションペーパー)	①「小諸なる古城のほとり」について、各連の内容を整理し、詩の主題をまとめる。 ②「竹」について、言葉やリズムのイメージを考え、「竹」がなにを象徴しているのかを考える。 ③「樹下の二人」について、「あなた」と「私」、「自然」と「都会」との関係をもとめ、発話の主体と時間をそれぞれ想定して、この詩の魅力を考える。 ④「20億光年の孤独」について、「人類」や「火星人」はどのようなことばに言い換えられるのかを考え、「20億光年の孤独」とはどのようなものか、考える。 ⑤「崖」について、多用される行替えや「」にくられた部分の効果を説明する。 ⑥「I was born」について、「父」が「蜻蛉」の話をしたのはなぜか説明し、「僕」がどのようなことを感じたか考える。 ⑥6編の詩をもとに、日本の近現代史の変遷を調べる。	表現にこだわりながら詩を創作し、グループで発表する。	
				② 思考・判断・表現 近現代詩を創作する際には、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	記述の点検 (ノート、プリント)、 授業時の反応、 考査			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。(授業態度)／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。(発表・授業時の態	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)、 授業時の反応、 グループ発表			
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと							
	書くこと		36					
	読むこと		69					
指導時間数の合計			105					

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
古典探究		3	全日制・普通科・2年次		高等学校古典探究(数研出版)			
<p>科目の目標</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>								
時期 月週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月	説話/十訓抄	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(1)ウ】 主体的に学習に取り組む態度 積極的に説話を示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント)	・登場人物の言動の意図をそれぞれまとめる。 ・どのような教訓を示すかと考えられるか話し合う。	本文に示された教訓について話し合う。	
5月 1週～ 2週	故事	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 主体的に学習に取り組む態度 故事について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・本文を読んで、登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の行動理由を考える。	・本文の内容を踏まえ、自分が考えたことをまとめ、話し合う。	
5月 3週～ 6月 1週	歌物語	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【A(1)ウ】 主体的に学習に取り組む態度 編者が話の展開に込めた工夫について進んで考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・物語中の歌について、誰がどこで詠んだ歌であるかを確認し、主題を考える。 ・和歌がどのようにやりとりされているのか、それぞれの関係を考える。	登場人物の交流関係について感想を話し合う。	
6月 2週～ 6月 4週	文章/桃花源記	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 主体的に学習に取り組む態度	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・段落ごとにあらすじをまとめる。	・自分なりにまとめた本文の内容を説明し合う。	
7月 1週～ 3週	軍記物語/平家物語	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の見解と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【A(1)オ】 主体的に学習に取り組む態度 登場人物の交流関係について自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・作品の特徴を把握し、『平家物語』が書かれる意図を理解する。 ・登場人物の言動について、当時の常識、身分秩序について踏まえ、考える。	・登場人物の行動の理由を考えて話し合う。	
9月 1週～ 2週	漢詩	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 主体的に学習に取り組む態度 漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 ・それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考察する。 ・「春」をテーマとした七言絶句を作る。	詩に用いられた対句などの修辞効果について話し合う。 漢詩の習作に取り組む。	
9月 3週～ 10月 1週	歴史物語/大鏡	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。【A(1)ア】 主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・作品の特徴を把握し、『大鏡』が書かれる意図を理解する。 ・登場人物の言動の意図を理解し、まとめる。	・登場人物の関係について確認し合う。	

10月2週～3週	随筆(-)/枕草子	読むこと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認・点検 (ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・「随筆」というジャンルを意識する。 ・章段の性格を押さえる。 ・作者の感性や価値観を理解する。	・作者の感性や価値観について自分の考えをまとめ、説明する。
10月4週～5週	日記文学(-)/更級日記	読むこと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認・点検 (ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・作者の気持ちが表れている表現を順に抜き出すし、説明する。	作者の心情を説明する。
11月1週～3週	史伝/鴻門之会	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文から読みとった人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	記述の確認・点検 (ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・本文を読んで、登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の行動理由を考える。	登場人物の行動の理由を考えて話し合う。
11月4週～12月1週	史伝/四面楚歌	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 内容について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認・点検 (ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・「四面楚歌」という成語が現在どのような意味で使われているか調べる。 ・項羽は敗戦の原因をどのように考えているか、詩の一句目と二句目の表現を踏まえて考える。	項羽が敗戦の原因をどのように考えているか、詩の一句目と二句目の表現を踏まえて考え、話し合う。
12月2週～4週	物語/源氏物語	読むこと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	記述の確認・点検 (ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・『源氏物語』の文学史上の価値を既習作品と比較して考える。 ・登場人物の言動について、当時の常識、身分秩序について踏まえ、考える。 ・登場人物の人物像について考える。	登場人物の心情と人物像について話し合う。
1月2週～3週	思想/荀子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文で書かれている主張の特徴について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認・点検 (ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・本文における荀子の主張をまとめる。 ・性善説について自分の考えをまとめる。	・性善説と性悪説を比較し、話し合う。
1月4週～2月1週	思想/荘子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文で書かれている主張の特徴について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認・点検 (ノート・小テスト) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト) 行動の分析	・本文における荘子の主張をまとめる。 ・荘子の主張を踏まえ、自分の考えをまとめる。	儒家と道家の思想において、それぞれ人間が生きていくうえでどのようなことに重きを置いているかを考察して話し合う。
2月2週～3月	思想/探究の扉 未来に備える道伝子	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、積極的に文章に表そうとしている。	記述の確認・点検 (ノート) 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり) 行動の分析	・「未来に備える道伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方の共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を採り、文章としてまとめる。	諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を探し出して文章にまとめる。
こと の 指 導 時 間 数 の	話すこと・聞くこと		0				
	書くこと		0				
	読むこと		105				
指導時間数の合計				105			

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)				
論理国語	3	全日制・普通科・2年次		探求 論理国語(桐原書店)				
科目の目標	1 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、論理的・批判的に考え、かつ社会状況を洞察する力を養う。 2 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質や能力を育成する。							
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等横 断的な視点等
通年	・授業冒頭5分ずつ「ころ」(夏目漱石)を通読 ・週1回漢字の小テストを実施							
4月 2週	知のコミュニティ	B読むこと	2	② 思考・判断・表現 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア) 人との関わりについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 「多様性」についての自分の考えを、わかりやすくまとめようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)	○文章を読んで、筆者のものの見方や感じ方を理解する。 ○筆者の言う「多様性を認める」ことについて、自らの経験に照らしながら考察を深める。	社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)イ)	気持ちよさという罪(村田沙耶香)
4月 2~3週	評論I①	B読むこと	5	① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。(1)イ) 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、適切に使用している。(2)イ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア) ヒトの社会性と「共感」について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容を踏まえて「共感」という感情の意義について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)	○具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ○ヒトの「認知的共感」が社会にもたらす意義について、自分の考えをまとめる。	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ウ)	チンパンジーは「おせっかい」をしない(長谷川真理子) 生物・他者 「理科」との連携
4月 4週~5 月2週	論文を読むー 文学と人間①	B読むこと	6	① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。(1)イ) ② 思考・判断・表現 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 論理の展開に沿って筆者の主張を理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心をもっている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)	○論理の展開を捉え、変身についての筆者の考えを把握する。 ○論文をふまえて、「山月記」を読み味わう。	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ウ)	変身に伴う快樂と恐れー「山月記」を通じて(宮原浩二郎) 「山月記」(中島敦)
5月3~ 4週	評論I②	B読むこと	6	① 知識・技能 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア) 関連する文章を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。(B(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容を踏まえて「いのちは誰のものか」について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト)	○論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 ○「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらと比較して論じたり批評したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)エ)	「いのちは誰のものか?」(藤田清一) 「いのちの深化」 「晴れた空の下で」(江國香織)
6月1週	評論解析A①	B読むこと	4	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ② 思考・判断・表現 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア) 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(B(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)	1 ○話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。指示表現が指す内容を明らかにすることで、本文内容を的確に捉える。 2 ○本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。本文理解に欠かせないキーワードを見つけ、	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ア)	1 「科学と市民」(池内了) 2 「集落の創造」(藤井明)
6月2~ 3週	「書く」	A書くこと	6	① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ② 思考・判断・表現 書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。(A(1)ア) 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。(A(1)イ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 対象を「読む」方法についての理解をもとに、さまざまな情報を収集し、新たな問いを設定しようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)	○「価値のある情報発信」を意識し、対象を「読む」方法を習得する。 ○新たな問いを生むことの意味について考える。	設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】A(2)エ)	「書く」ことへの挑戦ー問いを生む

6月4～7月1週	評論Ⅱ①	B読むこと	6	① 知識・技能 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(1)ア) 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア) 言語の働きについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容を踏まえて「言葉の働き」について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト) 記述の確認 (振り返りシート)	○二項対立による比較対照に着目し、「動物の信号」との比較を通して、「人間の言語」の特徴を理解する。 ○「言語」の働きについて考え、自らが豊かな「言語」の使い手となる意識を持つ。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連:「思考力、判断力、表現力等」) B(2)ア)	「動物の信号と人間の言語」(大庭健) 生物・言語 「理科」との連携
7月2～3週	実用的な文章4	A書くこと	4	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) ② 思考・判断・表現 様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。(A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 魅力的な観光地紹介文を作成するために、情報を収集・整理したり、文章やレイアウトに工夫をしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート) 記述の確認 (振り返りシート)	○限られたスペースの中で、伝えたい情報を整理し、正確に伝わる文章の書き方を身につける。レイアウトを工夫し、読み手を引き付ける紹介文の作成の仕方を身につける。	特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(関連:「思考力、判断力、表現力等」) A(2)ア)	観光地紹介を書く 修学旅行事前学習
9月1～2週	評論Ⅲ①	B読むこと	6	① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。(1)イ) 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(B(1)ウ) 日本人と規範の関係について、多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 「ニッポン人は今、規範や律という人間が生きていくうえで不可欠な超自我的なものを失って、右往左往している」という筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト) 記述の確認 (振り返りシート)	○世界の言語や文字に対して関心を持つ。 ○二項対立による比較対照に着目し、日本人と規範の関係についての筆者の考えを読み取り、自らの問題として考える。	社会的な話題について書かれた説明文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論証したり討論したりする活動。(関連:「思考力、判断力、表現力等」) B(2)イ)	「イスラム感覚」(藤原新也) 文化・国際 「地歴公民」との連携
9月3週	評論解析A②	B読むこと	4	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ② 思考・判断・表現 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア) 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(B(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート) 記述の確認 (振り返りシート)	3 ○具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。効果的な表現に込められた筆者の意図を読み取る。 4 ○論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。接続表現から文脈を捉え、論理展開を把握する。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連:「思考力、判断力、表現力等」) B(2)ア)	3 「『もどかしさ』の融合」(佐佐木幸綱) 4 「『可能性』としての貨幣」(西部忠)
9月3～4週	評論Ⅲ②	B読むこと	4	① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 筋道を立てて考えることを通して理解を深め、内容の解釈を深めている。(2)ウ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、新しい人と自然をつなぐモラルについて、多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ) 設定した題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。(B(1)キ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文内容の正しい理解を踏まえて、「知恵や技術の世界観」が近代の訪れとともに失われていった具体例についてのグループ内の調べ学習に参加し、レポートにわかりやすくまとめようとしている。	記述の点検 (ノート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ペーパーテスト) 記述の確認 (振り返りシート)	○二項対立による比較対照に着目し、「自然破壊」と「自然保護」、その二つの関連性などについての理解を深める。 ○これからの時代における「人と自然をつなぐ」ことについて、自分自身の考えを深める。	関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。(関連:「思考力、判断力、表現力等」) B(2)オ)	「木を伐る人／植える人」(赤坂憲雄) 〈知〉の深化 「なめとこ山の熊」(宮沢賢治) 自然・共生
10月1週	評論解析B①	B読むこと	4	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ② 思考・判断・表現 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア) 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(B(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。	記述の点検 (ワークシート) 記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート) 記述の確認 (振り返りシート)	1 ○接続表現から文脈を捉え、論理展開を把握する。論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。 2 ○指示表現が指す内容を明らかにすることで、本文内容を的確に捉える。話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連:「思考力、判断力、表現力等」) B(2)ア)	1 「『物語』としての伝統」(西江雅之) 2 「『資本』の出現」(大澤真幸)

10月3 ~4週	評論Ⅳ②	B読むこと	6	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	記述の点検 (ノート)	○「ロボットの心」についての研究が、「心とは何か」という哲学的な問題に直結するという筆者の主要な見解を理解する。 ○「そもそも心とは何か」について、自分なりの考えをまとめる。	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ウ)	「ロボットは心を持つか」(黒崎政男) 【参考】 「そもそも心とは何か」(石黒浩) AI・人間「情報」との連携
10月5週	評論解析B②	B読むこと	4	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	記述の点検 (ワークシート)	3 ○効果的な表現に込められた筆者の意図を汲み取る。本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 4 ○本文理解に欠かせないキーワードを見つけ、内容を的確に理解する。具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ア)	3「博物館というメディア」(村田麻里子) 4「現実・相貌・物語」(野矢茂樹)
11月2 ~3週	評論Ⅴ①	B読むこと	6	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ)	記述の点検 (ノート)	○共同体の発展と暴力との関係性を認識する。 ○筆者の主張を読み取り、戦争や暴力を抑止する手段を考える。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ア)	「暴力はどこからきたか」(山極寿一)
11月4週	実用的な文章3	A書くこと	2	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ)	記述の点検 (ワークシート)	○実際に通信文を書くことを通して、相手や目的に合わせた通信文の種類を使い分け、情報が正確に伝わる文章の書き方を身につける。	特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】A(2)ア)	通信文を書く一改まったメールと手紙
12月~ 1月2週	評論Ⅴ②	B読むこと	10	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ)	記述の点検 (ノート)	○長文の評論を読み、二項対立を基本とした論構成を理解する。 ○「民主主義」「自由」「近代化」など、普遍的なテーマへの理解を深める。 ○日本の近代化の特質とその問題点を論じた内容を、現代の課題として捉え直す。	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ア)	『『である』ことと『する』こと』(丸山真男) 「公民」との連携
1月3~ 4週	評論Ⅳ②	B読むこと	6	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	記述の点検 (ノート)	○本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 ○「芸術」と「科学」のもつ魔術性について理解を深める。	設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】A(2)イ)	「芸術も科学も『別世界』を見せる」(岡田暁生)
				② 思考・判断・表現 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。(B(1)ア)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容を踏まえて、「心とは何か」について話し合い、自分の考えを深めようとしている。	記述の確認 (振り返りシート)			
				② 思考・判断・表現 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。(B(1)ア)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容を踏まえて、現代における社会や共同体と私たちはどのように関わっていけばよ いか、話し合い、自分の考えを深めようとして いる。	記述の確認 (振り返りシート)			
				② 思考・判断・表現 伝えたいことが的確に伝わるように、文章の構成や展開、表現の仕方などを整えたり、読み手の立場から、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(A(1)オ)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 読み手を意識しながら、講演会の依頼文を丁寧にまとめようとしている。	記述の確認 (振り返りシート)			
				② 思考・判断・表現 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握している。(B(1)ア)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容を踏まえて、「民主主義」や「自由」について考え、現代日本に必要なことは どうということについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。	記述の確認 (振り返りシート)			
				② 思考・判断・表現 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。(A(1)イ)	記述の点検 (ワークシート) 記述の分析 (ワークシート)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 本文内容の正しい理解を踏まえて、最先端の科学技術についての情報を収集し、わかりやすくレポートにまとめようとしている。	記述の確認 (振り返りシート)			

2月～3月	論文を読む —文学と人間②	B読むこと	① 知識・技能 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。(1)イ	記述の点検(ノート)	○論理の展開を捉え、「ころ」における「先生」の淋しさの本質について理解する。 ○4月から読み進めてきた「ころ」を新たな視点で読み味わい、理解を深める。	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】B(2)ウ)	淋しい人間—「ころ」を通じて(山崎正和) 「ころ」(夏目漱石)
			② 思考・判断・表現 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。(A(1)ア)	記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 論理の展開に沿って筆者の主張を理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心をもっている。	記述の確認(振り返りシート)			
3月	実社会との接点	A書くこと	① 知識・技能 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。(1)ウ)	記述の点検(ノート)	○受動と主体という二重性こそが、生物の身体の本質的な特徴であるという筆者の主要な見解をつかむ。 ○人工知能と身体の関係について考える。	設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。(関連:【思考力、判断力、表現力等】A(2)イ)	「キャラクターの身体、自動車の身体」(三宅陽一郎)
			② 思考・判断・表現 多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。(A(1)エ)	記述の点検(ワークシート) 記述の分析(ワークシート)			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の内容を踏まえて、自動運転車が実現した社会の利点と課題について、想像をめぐらせながら八百字程度にまとめようとしている。	記述の確認(振り返りシート)			
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと						
	書くこと	18					
	読むこと	87					
指導時間数の合計		105					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
論理国語	2	全日制・普通科・3年次	探究 論理国語(桐原書店)					
科目の目標	<p>1 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要なとされる実用的な文章を読み、論理的・批判的に考え、かつ社会状況を洞察する力を養う。</p> <p>2 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質や能力を育成する。</p>							
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月 2週 ～3週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えたとともに、芸術における視覚的映像の重要性、人間の美学への理解を深める。	読むこと	6	<p>① 知識・技能 「オブジェ」と「イメージ」についてその意味を把握する。</p> <p>② 思考・判断・表現 イメージの世界と芸術、ひいては文化のあり方について、本文を踏まえて考えている。人間の「美学」や「生きる論理」についてそれぞれ自分のこととして考えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 絵画を見て感動や賛嘆を覚えた経験を想起することで、本文の内容に関心を抱く。(オ)動物が死を理解しているかを考えることから、本文の内容に関心を抱く。(人)</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○絵画になることにより失われるものについて、付け加えられるものについて読み取る。</p> <p>○「死」を知ることと「生きる論理」の関係について、動物と比較しながら、人間の特徴を読み取る。</p>	「イメージの世界がいかにかに人間のイマジネーションに訴える力を持っているか」という筆者の考えを裏証する例を、グループで話し合う活動。 近代以降の文学作品をその原作と読み比べ、作品の特徴について発表したり改作について論じたりする活動。 (関連：【思考力、判断力、表現】)	・オブジェとイメージ ・人間の領域 ・芸術科と連携、芸術作品の鑑賞を通して、導入とする。
5月 1週 ～4週	評論の基本的な読み方を習得し、論理構造を把握した上で二つの文章を読み、その論旨を比較して考えを深める。	読むこと	8	<p>① 知識・技能 特定秘密保護法についてその内容を確認する。「メディア」と「民主主義」についてその意味を把握する。</p> <p>② 思考・判断・表現 現代社会とメディアの関係について考えている。メディアと民主化について関係を考えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 特定秘密保護法に着目しつつ、権力と秘密との関係を本文の主要な話題として意識する。(権) 民主主義とメディアとの関係を、本文の主要な話題として意識する。(メ)</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○権力と秘密との関係に注意しながら本文を通読し、その内容と構成を大まかにつかむ。</p> <p>○民主主義とメディアの発展との関係に注意して本文を通読し、内容を大まかにつかむ。</p>	読み比べを通して、メディアとのつきあい方を、考えさせ発表する活動。 (関連：【思考力、判断力、表現力等】)	・権力にまつわる「秘密」 ・メディアと民主化 ・地歴公民科と連携、民主主義とメディアについて理解を深める。
6月 1週 ～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えたとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。	書くこと	8	<p>① 知識・技能 「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」「クレヨンしんちゃん」における家族のあり方を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 「異質な生活リズムが相互に異質性を保持したままに組み合わせられるような生活世界」とは、具体的にどのようなものか考えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 漫画やアニメに登場する家族と、自分の家庭、あるいは自分の理想とする家族を比べ、家族のあり方に関心を抱く。(市) 本文と同時に、エイリアンの立場になり、身近な空間や道具から何を考えるか想像することで、道具と身体との関係について関心を抱いた後、本文を通読する。(身)</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○家族の市民社会化が人々に与える影響について確認し、それに対して筆者が考える対策を読み取る。</p> <p>○人類がたどった歴史を踏まえ、生活空間や道具と身体との関係、さらに自然から疎外されたことを理解したうえで、宗教と芸術の起源をつかむ。</p>	「子ども」「老人」について本文で述べられていることを踏まえ、市民社会化の圧力に抗する人間のあり方について、八百字程度にまとめる活動。	・市民社会化する家族 ・身体と出現
7月 1週 ～3週	「書く」ということが対話的な行為であるとともに、自分自身の側にも言いたいことが必要であるという筆者の主張を理解し、「知的創造」のために必要な条件についての考えを深める。	書くこと	8	<p>① 知識・技能 「小論文」「レポート」について、構成を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 読む人の立場になって、自分の考えを表現すること。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 言葉の定義を文章化することによって、言葉についての意識を高める。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○小論文・レポートを書く。</p>	「他者の視点を意識して」小論文を書く活動。(関連：【思考力、判断力、表現力等】)	・知的創造のために
9月 1週 ～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えたとともに、自らの文化に対する見方を見つめ直し、芸術についての自分の考えを深める。	読むこと	8	<p>① 知識・技能 正岡子規、紀貫之についての知識を理解している。(貫)</p> <p>② 思考・判断・表現 「日本語の問題」についてまとめ、確認している。風景と自分との関わりについて、本文を踏まえ、考えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 言葉の定義を文章化することによって、言葉についての意識を高める。(言) 風景と自分との関わりを、本文で紹介される歌や絵画の風景と関連づけて考える。(霧)</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○「言語使用の二種類」に関して、各言語・各文化間にある種の「差異」があることを把握する。</p> <p>○現代の風景の危機が、感性や存在感の危機であることを読み取り、それに気づかないことの危険性を理解する。</p>	「無意味な七五調」に「陶酔する心構えが我ら日本人の中にはある」という木下順二氏の考えについてどう思うか、話し合う活動。	・言葉の〈意味〉と〈表徴〉 ・霧の風景 ・「貫之は下手な歌よみ」か?
10月 1週 ～4週	戦争と平和について綴った文章を読んで、「他者理解」や「戦争と平和」といった問題について認識を深める。	読むこと	8	<p>① 知識・技能 本文の話題となっている太平洋戦争についての知識を身につけている。</p> <p>② 思考・判断・表現 最終部に述べられた筆者の心情を押さえて、全文をまとめることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 本文の話題となっている太平洋戦争についての知識を確認し、教材への関心を高める。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○屈託のない笑みを見せた料理人の「強さと柔らかさ」について考察する。</p>	「どんな歴史があつて私たちがのほほんとしていることができるのか。それだけはやはりきちつと残さなくてはいけないのではないか。」という筆者の考えについてどう思うか、戦争における加害と被害の両面の歴史を押さえながら、クラスで話し合う活動。	・沙魚 ・地歴公民科と連携、太平洋戦争の背景と、様子を理解し、主人公の心情の理解を深める。
11月 1週 ～4週	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えたとともに、自らの文化や世界に対する見方を見つめ直し、現代をどう生きていくかについて考える。	書くこと	8	<p>① 知識・技能 評論コラム「『大きな物語』の喪失とポストモダン」を読んで、人々のものの考え方や生き方において、「近代(モダン)」の「大きな物語」から「現代(ポストモダン)」の「小さな物語」へ移行があったという考え方を理解できた。(ホ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「ファンタジー・ワールドの誕生」の過程をまとめることができる。ポストモダン社会の問題点についてまとめることができた。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 「ポストモダン社会」における自らの考え方や生き方について考える。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○筆者の言う「ファンタジー・ワールド」とは何かを理解する。</p> <p>○「二十一世紀の情報技術」と「二十一世紀のマスメディア」との違いを理解する。</p>	「未開文化」とは「想像力が生み出した」ものであるという筆者の考えについてどう思うか、本文の内容を踏まえて話し合う活動。	・ファンタジー・ワールドの誕生 ・ポスト社会と排除社会

12月 1週～ 3週	近代の知識人による日本文化・娯楽・アフォーリズムについての文章を読んで。筆者の考えを理解し、「今」につながる近代という時代や文化を見つめ直す。	読むこと	8	① 知識・技能 三木清について、まとめる。(娯)	記述の点検 (ノート)	○欧米人の日本「発見」と、日本人自身の立場との、根本的な相違について理解する。 ○生活娯楽の差異を知る。	「多くの日本人は、故郷の古い姿が破壊されて欧米風な建物が出現するたびに、悲しみよりも、むしろ喜びを感じる。」とあるが、古い街並みの保存と現代的な都市の開発はどちらが優先されるべきか、クラスで検討する活動。	・日本文化私観 ・娯楽について「人生論ノート」より
				② 思考・判断・表現 伝統とは尊重すべきものかということについて考え、筆者はなぜ本文のような考えを持つようになったのか想像することができる。	記述の点検 (ノート、プリント)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 伝統とは尊重すべきかどうか考える。(日) 三木清について、まとめる。(娯)	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)			
1月 2週～ 4週	抽象性の高い評論文を読んで、文化の規範性と地図を媒介とした社会認識や真理を探究しようとする「知」への意志と民主主義との関係について考察する。	読むこと	8	① 知識・技能 地図と現実の違いを、把握する。	記述の点検 (ノート)	○地図の主観性と、それが私たちの認識に及ぼす影響を考える。	「地図」と「世界経験、社会経験のあり方」について、次の二点からまとめる活動。 ①現在の私たちとかつての人々との違い ②現在の私たちとかつての人々との共通性	・地図の想像 カーボードリヤールの寓話
				② 思考・判断・表現 自己のイメージを地図化することで、自己の世界認識や社会との関係を確認することができる。	記述の点検 (ノート、プリント)			
				③ 主体的に学習に取り組む態度 実際の地図を見ながら地図と現実の違いを確認し、地図の特徴を理解したうえで、本文の内容について関心を抱く。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)			
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		24					
	読むこと		46					
指導時間数の合計			70					

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
文学国語		2	普通科・3年次		文学国語(東京書籍)			
科目の目標		<p>○生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)</p>						
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月	国語から旅立って	読む	8	<p>① 知識・技能 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く筆者の多言語体験に基づいた考えを読み取り、学習課題に沿って言葉と自分との関係について考えを深めようとしている。</p>	<p>ノート リアクション ペーパー</p> <p>ノート リアクション ペーパー</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>筆者が、自分と日本語との関係が始まったと考える出来事を読み取る。 筆者が、平仮名を覚えたときのことをどのように捉えているかを読み取る。 筆者が、中国語や台湾語を紙に書けなかったことをなぜ「不思議なこと」と思ったかを読み取る。 筆者の主張を踏まえ、言葉と自分との関係について、自分自身を振り返りながら考えをまとめる。</p>	<p>筆者の主張を踏まえ、言葉と自分との関係について、自分自身を振り返りながら考えをまとめる。</p>	<p>多言語体験に基づく随筆 英語</p>
5月～ 6月	檸檬	読む	11	<p>① 知識・技能 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く「私」の言動や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿って「私」の心情の描かれ方について考え、話し合おうとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>「えたいの知れない不吉な塊」によってもたらされた「私」の心理状態を捉える。「私」が「以前」心をひきつけられていたものと、「その頃」心がひきつけられたものとを順番に取り出し、そこに見られる「私」の心情を理解する。 檸檬の役割の変化を捉える。「えたいの知れない不吉な塊」に抑えつけられていた過去の「私」を、語り手である現在の「私」がどのように見ているのか話し合う。</p>	<p>当時の「私」をひきつけ慰めたものと、抑えつけ憂鬱にさせたものとは、それぞれ「私」にとってどのようなものとして描かれているか、話し合う。</p>	<p>日本近代史を踏まえた本文の把握 日本史</p>
7月 1週～ 3週	コンビニの母	読む	5	<p>① 知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く登場人物の言動や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿ってさまざまな立場から現代社会における人間関係について考え、話し合おうとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>福平さんが、和也の考えるコンビニ店員と違ったところはどこか読み取る。 和也は福平さんがコンビニで働き続けることに対してどのように考えていたか読み取る。 筆者が「コンビニの母」というタイトルをつけた理由を考え、まとめる。</p>	<p>年齢や立場の違うさまざまな状況にある人々を想定し、「福平さん」の接客態度をそれぞれがどのように受け止めるか考えをまとめ、グループで話し合う。</p>	<p>多文化共生社会のあるべき姿 公共</p>
9月 1週～ 4週	小説の人称を書き換える	書く	12	<p>① 知識・技能 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。</p> <p>② 思考・判断・表現 「書くこと」において、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く小説の文体の特徴を捉え、表現を工夫しながら人称を書き換え、今までの学習を生かして小説における人称の選択と表現効果について考え、理解を深めようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>各自で、教科書に掲載されている一人称を使っている小説から一つの場面を選び、三人称に書き換える。 人称を変えることによって、内容や表現がどのように変化したか、また変化させないためにはどのようにするとよいか話し合う。 教科書に掲載されているこれまでの学習した小説について、小説の主題と人称を整理し、作者がその人称を選んだ理由を考え、話し合う。 小説創作の際、人称をどのように選べばよいかについて話し合う。</p>	<p>人称を変えることによって、何がどのように変わったかについて、具体例を挙げながら自分の考えを文章にまとめ、発表する。</p>	<p>英米文学における人称の問題 英語</p>
10月 1週～ 4週	父と暮せば	読む	8	<p>① 知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 進んで対話の中から登場人物の状況や心情を読み取り、学習課題に沿って「平和」や「生きること」について自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>第二場を読み、第一場からの変化に注目しながら、そこで語られていることから美津江に起こったことと心情を読み取り、まとめる。 第三場を読み、第二場からの変化に注目しながら、そこで語られていることから美津江に起こったことと心情を読み取り、まとめる。 第四場を読み、第三場からの変化に注目しながら、そこで語られていることから美津江に起こったことと心情を読み取り、まとめる。</p>	<p>この戯曲を読んで、「平和」や「生きること」について感じたことや考えたことを八百字程度でまとめる。</p>	<p>太平洋戦争の背景と、主人公の心情の理解を深める。 地歴公民</p>
11月 1週～ 4週	映画の可能性のために	書く	8	<p>① 知識・技能 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。</p> <p>② 思考・判断・表現 「書くこと」において、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く小説の文体の特徴を捉え、表現を工夫しながら人称を書き換え、今までの学習を生かして小説における人称の選択と表現効果について考え、理解を深めようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、プリント)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>筆者が述べている「バルザック」と「カミュ」の作家の視点の違いを整理する。 筆者が二つの「作家の視点」を「映画のカメラに置き換え」て説明しているところに着目する。 「なぜ私はこんなことをしてかしてしまったのだろうか」という筆者の疑問に着目し、映画「2/デュオ」の制作が進められた過程を理解し、「カミュの視点」での撮影に至った経緯を整理する。</p>	<p>映画や小説を一作品選び、バルザック的視点かカミュ的視点か、そのどちらでもないのか、考えを記述し、グループで話し合う。</p>	<p>メディアと表現の在り方について 情報</p>

12月 1週～ 1月 4週	舞姫	読む	18	① 知識・技能 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	記述の点検 (ノート)	留学後の豊太郎の学問観がどのように変化し、それが官長との関係にどのように響いていったかを読み取る。	太田豊太郎の考え方や行動について、どのように考えるか、時代背景なども踏まえて話し合う。	近代の恋愛観について 日本史・世界史
				② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	記述の点検 (ノート、プリント)	鮮やかな光を受けるウンテル・デン・リンデンとは異なり、薄暗いクロステル巷の情景を捉え、エリスとの出会いの場面を読み取る。		
				③ 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く主人公の考え方や行動について、時代背景を踏まえながら読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)	「臆病なる心」に似合わない行動と、回想時の感想を押しさえる。		
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと							
	書くこと		20					
	読むこと		50					
指導時間数の合計			70					

科目名	単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)				
古典探究	2	全日制・普通科・2年次		高等学校古典探究				
科目の目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視点 等
4月	説話/大江山(十訓抄)	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に説話の示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	行動の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・「丹後へ遣はしける人は参りたりや」とは、どのようなことを言おうとしたのか説明する。 ・「大江山……」の歌で、小式部内侍が伝えようとしたことを説明する。 ・「返歌にも及ばず、袖を引き放ちて、逃げられけり」とは、誰がなぜそのようなようにしたのか説明する。 ・「大江山」はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか話し合う。	本文に示された教訓について話し合う。	
5月 1週～ 3週	故事/買履忘度	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 『韓非子』が法家の書物であることを踏まえて、本文中で批判されている鄭人の態度について積極的に考察している。	記述の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・この文章で批判されているのは鄭人のどのような態度が考える。 ・編者が、この話をおもしろく読ませるため、話の展開にどのような工夫をしているか話し合う。	この文章で批判されているのは鄭人のどのような態度かについて考えをまとめる。	
5月 4週～ 6月 3週	説話/用枝の筆策(古今著聞集)	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 主体的に学習に取り組む態度 編者が話の展開に込めた工夫について進んで考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	行動の分析 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・明尊が「今夜の纏頭は他人に及ぶべからず。用枝一人にあるべし」と言った理由を説明する。 ・編者が、この話をおもしろく読ませるため、話の展開にどのような工夫をしているか話し合う。	話の展開に込められた工夫について話し合う。	
6月 4週～ 7月 1週	故事/画竜点睛	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 「画竜点睛」という成語の成り立ちについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・張僧繇はどのような画家として描かれているか、本文からわかることを挙げる。	張僧繇はどのような画家として描かれているか、本文をもとにまとめる。	
7月 2週～ 3週	歌物語/渚の院(伊勢物語)	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)オ〕 主体的に学習に取り組む態度 登場人物の交流関係について自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	行動の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・物語中の歌について、誰がどこで詠んだ歌であるかを確認し、主題を考える。 ・三組の歌がどのようにやりとりされているのか、それぞれの関係を考える。 ・惟香親王と馬の頭、紀有常の交流についてどのように思うか、話し合う。	登場人物の交流関係について感想を話し合う。	
9月 1週～ 2週	漢詩/中国の詩	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	行動の分析 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 ・それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考察する。	詩に用いられた対句などの修辞効果について話し合う。	
9月 3週～ 4週	漢詩/ズームアップ 漢詩を作ってみよう	書くこと	4	知識・技能 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1エ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。〔A(1)ア〕 主体的に学習に取り組む態度 漢詩の創作に粘り強く取り組んでいる。	記述の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・単元内の教材の学習を踏まえて、漢詩の規則を確認する。 ・「春」をテーマとした七言絶句を作る。	漢詩の習作に取り組む。	

10月1週～3週	随筆(-)/大納言殿参り給ひて(枕草子)	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・「うたて、何しにさ申しつらむ」とは、誰のどのような気持ちを表しているか、説明する。 ・作者以外の女房たちが、その時々状況に応じてどのような行動をとったか、順にまとめる。 ・「ただ人のねぶたかりつる目もいと大きになりぬ」とあるが、どういうことか、説明する。	登場人物の行動や心情を説明する。
10月4週～5週	日記文学(-)/東路の道の果て(更級日記)	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・物語を読みたいと思う気持ちが表れている表現を順に抜き出す。 ・「人知れずうち泣かれぬ」という作者の気持ちを説明する。	作者の心情を説明する。
11月1週～3週	史伝/鴻門之会	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	行動の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・本文を読んで、会場での座席表を作る。 ・項羽が范増の指示に応じなかった理由を考える。 ・樊噲の演説を聞いてそれに答えなかった項羽の心情を考える。 ・劉邦が脱出した後の項羽と范増の心情を、劉邦からの献上品に対するそれぞれの態度を踏まえてまとめる。 ・「鴻門の会」の読解を踏まえ、劉邦が鴻門から脱出することができた理由を考えて話し合う。	劉邦が鴻門から脱出することができた理由と、項羽が江東に帰らなかった理由を考えて話し合う。
11月4週～12月1週	史伝/四面楚歌	読むこと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 項羽の認識について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	行動の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・「四面楚歌」という成語が現在どのような意味で使われているか調べ。 ・項羽は敗戦の原因をどのように考えているか、詩の一句目と二句目の表現を踏まえて考える。	項羽が敗戦の原因をどのように考えているか、詩の一句目と二句目の表現を踏まえて考え、話し合う。
12月2週～4週	物語/光源氏誕生(源氏物語)	読むこと	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)オ〕 主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	行動の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに、まわりの人々はどう思ったか、説明する。 ・「一の皇子」と「玉の男皇子」とに対する帝の接し方の違いを説明する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。	登場人物の心情と人物像について話し合う。
1月2週～3週	思想/論語	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 孔子が理想とする政治の特徴について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・「道徳齊礼」の本文から、孔子が理想とする政治の特徴をまとめる。 ・長沮と桀溺の孔子に対する思いを本文から読み取ってまとめる。	長沮と桀溺の孔子に対する思いを本文から読み取って文章にまとめる。
1月4週～2月1週	思想/荘子	読むこと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 儒家と道家がそれぞれ、人間が生きていくうえでどのようなことに重きを置いているかについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	行動の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・「曳尾塗中」において、荘子が理想とする生き方を考える。 ・「夢為胡蝶」において、荘子は夢と現実の関係をどうとらえているか、考える。 ・「木鶏」において、紀渚子は鶏のどのような状態を評価しているのか、説明する。 ・儒家(孔子・孟子・荀子)と道家(老子・荘子)では、それぞれ人間が生きていくうえでどのようなことに重きを置いているか、考える。	儒家と道家の思想において、それぞれ人間が生きていくうえでどのようなことに重きを置いているかを考察して話し合う。
2月2週～3月	思想/探究の扉 未来に備える遺伝子	書くこと	5	知識・技能 先人のもの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔2エ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)オ〕 主体的に学習に取り組む態度 諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見だし、積極的に文章に表そうとしている。	記述の確認 記述の点検(ノート、プリント) 記述の確認(振りかえり、まとめテスト)	・「未来に備える遺伝子」を読んで、単元内で学習した諸子百家の文章に見える考え方の共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に通じる考え方を探し、文章としてまとめる。	諸子百家の文章に見える考え方から、現代社会に通用する部分を考察して文章にまとめる。
この指導時間数	話すこと・聞くこと		0				
	書くこと		9				
	読むこと		61				
指導時間数の合計			70				

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
王朝物語研究 I		2	全日制・普通科・第3年次		『源氏物語読本』(筑摩書房)			
科目の目標		1 王朝物語文学の傑作と言われる『源氏物語』を読み味わうことによって、古典を読む力を養う。 2 『源氏物語』を生み出した社会の高度な文化的蓄積や伝統について理解する。 3 『源氏物語』についての理解や関心を深めることによって、古典に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月 ~6月	『源氏物語』概論	B読むこと	20	① 知識・技能 『源氏物語』を読むことを通して、我が国の文化の特質などについて理解を深めている。(2)ア) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している(A(1)エ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 『源氏物語』に興味を持ち、作品の内容や背景、文章の特色について理解を深めるために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	○『源氏物語』の表現上の特色について考え、優れた表現に親しむ。 ○作品に描かれた人間・社会・自然等に対する思想や感情について考える。	○『源氏物語』を読み解きながら、表現上の特色や表現について調べてまとめる。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)	『源氏物語』(紫式部)
7月 ~10月	文法・和歌・敬語等表現技法について	B読むこと	22	① 知識・技能 古典の読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解を深めている。(2)イ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している(A(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 『源氏物語』を読み解き、作品の展開や叙述を理解するために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト)	○古典に用いられている語句の意味・用法等についての理解を深め、自分の力で『源氏物語』を読み味わえるようにする。 ○作品に描かれた人間・社会・自然等に対する思想や感情を読み取り、ものの方、感じ方、考え方を豊かにする。	○『源氏物語』を読み解きながら、表現上の特色や表現について調べてまとめる。 ○作品に描かれた人間関係や背景についてまとめて発表する。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	『源氏物語』(紫式部)
11月 ~1月	『源氏物語』総論・総括	B読むこと	28	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している(2)イ) ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 今まで学習したことを生かし「源氏物語」を読み解くことを通して、王朝物語について理解を深めるために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている	発表資料・ノートの確認・点検	○『源氏物語』から1帖選び、登場人物の関係性や時代背景等を踏まえて通読し、内容について理解を深める。○同時代の他の作品との比較を通して、王朝物語について理解を深める。	○『源氏物語』から1帖選び、その内容や登場人物の関係性、背景等をまとめて発表する。○同時代の他の作品と比較し、歴史的背景等も踏まえながらまとめて発表する。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	『源氏物語』(紫式部) 地歴公民科 文学史・歴史的背景の理解をもとに内容読解を深める。
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		0					
	読むこと		70					
指導時間数の合計			70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
古典探究	3	全日制・普通科・2年次	高等学校古典探究(数研出版)					
科目の目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わりつづける態度を養う。</p>							
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月	説話/十訓抄	読むこと	5	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔I2イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A11ウ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>記述の確認・点検（ノート・小テスト）</p> <p>記述の点検（ノート、プリント）</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 行動の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動の意図をそれぞれまとめる。 どのような教訓を示すためと考えられるか話し合う。 	<p>本文に示された教訓について話し合う。</p>	
5月 1週～ 2週	故事	読むこと	5	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔I2イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A11イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 故事について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	<p>記述の確認・点検（ノート・小テスト）</p> <p>記述の点検（ノート、プリント）</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 行動の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで、登場人物の人物像を読み取る。 登場人物の行動理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、自分が考えたことをまとめ、話し合う。 	
5月 3週～ 6月 1週	歌物語	読むこと	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔I2イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A11ウ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 編者が話の展開に込めた工夫について進んで考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>記述の確認・点検（ノート・小テスト）</p> <p>記述の点検（ノート、プリント）</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 行動の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物語中の歌について、誰がどこで詠んだ歌であるかを確認し、主題を考える。 和歌がどのようにやりとりされているのか、それぞれの関係を考える。 	<p>登場人物の交流関係について感想を話し合う。</p>	
6月 2週～ 6月 4週	文章/桃花源記	読むこと	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔I2イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A11イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>記述の確認・点検（ノート・小テスト）</p> <p>記述の点検（ノート、プリント）</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 行動の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとにあらすじをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりにまとめた本文の内容を説明し合う。 	
7月 1週～ 3週	筆記物語/平家物語	読むこと	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔I2イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A11オ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 登場人物の交流関係について自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	<p>記述の確認・点検（ノート・小テスト）</p> <p>記述の点検（ノート、プリント）</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 行動の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品の特徴を把握し、『平家物語』が書かれる意図を理解する。 登場人物の言動について、当時の常識、身分秩序について踏まえ、考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動の理由を考えて話し合う。 	
9月 1週～ 2週	漢詩	読むこと	5	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔I2イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A11イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	<p>記述の確認・点検（ノート・小テスト）</p> <p>記述の点検（ノート、プリント）</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト）</p>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの詩について、一句の字数、一首の句数、押韻を確認する。 それぞれの詩について対句表現を抜き出し、表現効果を考察する。 「巻」をテーマとした七言絶句を作る。 	<p>詩に用いられた対句などの修辞効果について話し合う。</p> <p>漢詩の習作に取り組む。</p>	
9月 3週～ 10月 1週	歴史物語/大鏡	読むこと	9	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔I2イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。〔A11ア〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	<p>記述の確認・点検（ノート・小テスト）</p> <p>記述の点検（ノート、プリント）</p> <p>記述の確認（振りかえり、まとめテスト） 行動の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品の特徴を把握し、『大鏡』が書かれる意図を理解する。 登場人物の言動の意図を理解し、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の関係について確認し合う。 	

10月 2週～ 3週	随筆(-)/枕草子	読む こと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認・点 検（ノート・小 テスト） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり、まと めテスト） 行動の分析	・「随筆」というジャンルを 意識する。 ・章段の性格を押さえる。 ・作者の感性や価値観を理解 する。	・作者の感性や価値観につ いて自分の考えをまとめ、 説明する。
10月 4週～ 5週	日記文学(-)/更級日記	読む こと	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しを もって自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認・点 検（ノート・小 テスト） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり、まと めテスト） 行動の分析	・作者の気持ちが表れている 表現を順に抜き出すし、説明 する。	作者の心情を説明する。
11月 1週～ 3週	史伝/瀟湘之会	読む こと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文から読みとった人物像を踏まえて、作中の行 動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をも って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認・点 検（ノート・小 テスト） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり、まと めテスト） 行動の分析	・本文を読んで、登場人物の 人物像を読み取る。 ・登場人物の行動理由を考 える。	登場人物の行動の理由を考 えて話し合う。
11月 4週～ 12月 1週	史伝/四面楚歌	読む こと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 内容について進んで考察し、学習課題に沿って本 文を解釈しようとしている。	記述の確認・点 検（ノート・小 テスト） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり、まと めテスト） 行動の分析	・「四面楚歌」という成語が 現在どのような意味で使われ ているか調べ。 ・項羽は敗戦の原因をどのよ うに考えているか、詩の一句 目と二句目の表現を踏ま えて考え、話し合う。	項羽が敗戦の原因をどのよ うに考えているか、詩の一 句目と二句目の表現を踏ま えて考え、話し合う。
12月 2週～ 4週	物語/源氏物語	読む こと	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章につ いて、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考え を広げたり深めたりしている。〔A(1)オ〕 主体的に学習に取り組む態度 登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像 について粘り強く考察し、今までの学習を生かして 話し合いに参加しようとしている。	記述の確認・点 検（ノート・小 テスト） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり、まと めテスト） 行動の分析	・『源氏物語』の文学史上の 価値を既習作品と比較して考 える。 ・登場人物の言動について、 当時の常識、身分秩序につ いて踏まえ、考える。 ・登場人物の人物像について 考える。	登場人物の心情と人物像に ついて話し合う。
1月 2週～ 3週	思想/荀子	読む こと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文で書かれている主張の特徴について進んで考 察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとし ている。	記述の確認・点 検（ノート・小 テスト） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり、まと めテスト） 行動の分析	・本文における荀子の主張をま とめる。 ・性悪説について自分の考え をまとめる。	・性善説と性悪説を比較 し、話し合う。
1月 4週～ 2月 1週	思想/荘子	読む こと	4	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文で書かれている主張の特徴について進んで考 察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとし ている。	記述の確認・点 検（ノート・小 テスト） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり、まと めテスト） 行動の分析	・本文における荘子の主張をま とめる。 ・荘子の主張を踏まえ、自分 の考えをまとめよう。	儒家と道家の思想におい て、それぞれ人間が生きて いくうえでどのようなこと に重きを置いているかを考 察して話し合う。
2月 2週～ 3月	思想/探究の扉 未来に 備える道伝子	読む こと	5	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章につ いて、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考え を広げたり深めたりしている。〔A(1)オ〕 主体的に学習に取り組む態度 諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強 く見だし、積極的に文章に表そうとしている。	記述の確認・点 検（ノート） 記述の点検 （ノート、プリ ント） 記述の確認（振 りかえり） 行動の分析	・「未来に備える道伝子」を 読んで、単元内で学習した諸 子百家の文章に見える考え方 との共通点を考える。 ・諸子百家の文章から現代に 通じる考え方を探し、文章と してまとめる。	諸子百家の文章に見える考 え方から、現代社会に適用 する部分を考察して文章に まとめる。
こ と の 指 導 時 間 数	話すこと・聞くこと		0				
	書くこと		0				
	読むこと		105				
指導時間数の合計			105				

科目名		単位数	課程・学科・学年		使用教科書名(出版社)			
女流日記文学研究		2	全日制・普通科・3年次		『和泉式部日記』(角川学芸出版)			
科目の目標		1 さまざまな女流日記文学を読み味わうことによって、古典を読む力を養う。 2 さまざまな女流日記文学を生み出した当時の社会の高度な文化的蓄積や伝統について理解する。 3 さまざまな女流日記文学についての理解や関心を深めることによって、古典に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。						
時期	単元名	領域	指導時間数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等 横断的な視点等
4月～9月	和泉式部日記を学ぶ	読むこと	40	① 知識・技能 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙をゆたかにしている。(1)ア ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 全章段の読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(プレゼンテーションシート) 記述の分析(ペーパーテスト)	○作品に描かれる平安時代の社会情勢について調べ、発表する。 ○和歌に着目しながら全35段を通読し、文章の構成や展開、表現の特色などについて考えたことをまとめる。 ○作品の特徴や考えられる書き手の意図などについて考え、発表する。	『和泉式部日記』を通して読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)	「和泉式部日記」(和泉式部)
10月～1月	日記作品を比べ読みする	読むこと	30	① 知識・技能 古典を読むことを通して、我が国の文化の特質などについて理解を深めている。(2)ア ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 複数作品の読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(プレゼンテーションシート・報告書) 記述の分析 記述の確認(振り返りシート)	○時代や作者の違う日記文学作品について概要を調べ、発表する。 ○一つの作品を選び、その成立背景や他の作品などとの関係を踏まえながら通読し、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ○作品の特徴や考えられる書き手の意図などについて考え、報告書にまとめ、発表する。	日記文学作品を複数読み比べ、作品の特徴などについて発表したり報告書にまとめたりする活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	「更級日記」(菅原孝標女) 「蜻蛉日記」(右大将道綱母) 「十六夜日記」(阿仏尼)ほか
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		0					
	読むこと		70					
指導時間数の合計			70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
論語研究	2	全日制・普通科・3年次	『論語』(ワイド版岩波文庫)					
科目の目標	1 東アジア漢字文化圏において、その文化的基層を広く支えてきた儒家の思想を伝える儒家の經典である『論語』を読み、我々のものの考え方や感じ方がどのような土台の上に立つものかを理解する。 2 『論語』の文章に広く触れ、言語によって伝承され続けてきた普遍的な人間性の追求について理解する。 3 『論語』についての理解や関心を深めることによって、古典に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。							
時期 月 週	単元名	領域	指導 時間数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4月～ 9月	論語における複数の文章を読み比べ、ものの見方・考え方について考えよう	日読むこと	40	① 知識・技能 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙をゆたかにしている。(1)ア ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ③ 主体的に学習に取り組む態度 複数の文章の読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(プレゼンテーションシート) 記述の分析(ペーパーテスト) 記述の確認(振り返りシート)	○作品から伺える当時の社会情勢について調べまとめる。 ○共通するテーマの文章を複数読み比べ、文章の構成や展開について考えたことをまとめる。 ○論語におけるものの見方・考え方の特徴について考え、発表する。	論語を通して読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)	「論語」 地理歴史、公民
10月～ 1月	論語にものの見方・考え方と現代の諸問題について考察しよう	日読むこと	30	① 知識・技能 古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国などの外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 全章段の読み比べを通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の点検(ノート) 記述の点検(プレゼンテーションシート・報告書) 記述の分析(ペーパーテスト) 記述の確認(振り返りシート)	○儒家の思想が日本文化にどのような影響を与え、人々に受け入れられてきたかを調べ、まとめる。 ○論語における複数のテーマから一つを選び、それに準ずる複数の文章と現代の諸問題との関連をまとめ、考察したものを発表する。	論語における文章を複数読み比べ、作品の特徴などについて発表したり報告書にまとめたりする活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	「論語」 地理歴史、公民
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと							
	書くこと							
	読むこと		70					
指導時間数の合計			70					

科目名	歴史総合					単位数	2 単位
						使用教科書	『現代の歴史総合』 (山川出版社)
						教材等	「現代の歴史総合ノート」 (同上)
実施学期	通年	学期	対象年次	1 年次	選択区分	必修	選択必修 類型必修 自由選択
目標	<p>(何を学ぶか) 現代的な諸課題に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。(どのように学ぶか) 近現代の歴史を多面的・多角的に考察する。歴史に見られる課題の解決に向けて構想する。考察・構想したことについて説明したり、議論したりする。(何が出来るようになるか) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>						
評価の観点の趣旨	学びに向かう力、人間性等	思考・判断・表現	知識・技能				
	近現代の歴史について、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追求したことなどを主体的に見いだしている。	近現代の歴史について、教科書の記述や資料から情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりして考察し、問いを表現している。	近現代の歴史について、理解することができる。また、それらに関する資料や教科書の記述から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。				
観点の重み(%)	30	30	40				
授業概要	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。						
学期	項目・具体的な内容						
前期	4月	第Ⅰ部	近代化と私たち	第1章	結びつく世界と日本の開国		
	5月			第2章	国民国家と明治維新		
	6月						
	7月	第Ⅱ部	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第3章	総力戦と社会運動		
	9月			第4章	経済危機と第二次世界大戦		
後期	10月	第Ⅲ部	グローバル化と私たち				
	11月			第5章	冷戦と世界経済		
	12月						
	1月			第6章	世界秩序の変容と日本		
	2月						
3月							
備考							

科目名	公 共				単 位 数	2 単 位
					使用教科書	高等学校 公共 (第一学習社)
					教 材 等	授業で紹介
実施学期	(通年) 学期	対象年次	1 年次	選択区分	(必修) 選択必修修 類型必修 自由選択	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題をグローバルな視点で捉え、諸資料を分析することで国家・社会を担う主体的な公民としての資質・能力を養う。 事実を多面的・多角的に捉え、議論し、公正な判断と解決に導く能力を養う。 上記を通して、公共的な空間に生きる公民として自国と世界の平和的な発展・繁栄を企図し実現を図るための自覚と態度を育む。 					
評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題を捉え考察し選択・判断するための概念、理念を理解する。 倫理的主体として活動するための情報を資料を通して的確かつ効果的に調べ、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸課題解決のための手掛かりや基本的原理を活用して、多角的多面的考察を加え、公正に判断する。 合意形成や社会参画を視野に議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> より良い社会の実現のために国家及び社会の担い手として現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 			
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 公共の扉～「公共的な空間」における人間同士のつながりや社会の形成 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち～政治・経済・国際社会 持続可能な社会づくりの主体となる私～様々な今日的課題の探求 					
学 期	項 目 ・ 具 体 的 な 内 容					
前 期	4月	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間と人間とのかかわり				
	5月	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理				
	6月	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち(主題1 法や規範の意義と役割)				
	7月	''	(主題2 契約と消費者の権利) (主題3 司法参加の意義)			
	9月	''	(主題4 政治参加と公正な世論の形成) (主題5 国際社会と国家主権)			
後 期	10月	''	(主題6 日本の安全保障と防衛) (主題7 国際社会の変化と日本の役割)			
	11月	''	(主題8 雇用と労働問題) (主題9 社会の変化と職業観)			
	12月	''	(主題10 市場経済の機能と限界) (主題11 金融のはたらき)①			
	1月	''	(主題11 金融のはたらき)② (主題12 財政の役割と社会保障)			
	2月	''	(主題13 経済のグローバル化)			
	3月	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち				
備 考	推薦図書 『リモート経済の衝撃』(野口悠紀雄, ビジネス社)・・・国公立の論述対策に最適					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
政治・経済	3	全日制・普通科・第3年次	政治・経済(数研出版)				
科目の目標	<p>・現代の政治・経済に関する諸課題を捉え考察し、解決策を選択・判断するために必要な概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に見だし調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>・変化が加速しますます複雑化・多様化する現代において、国民主権を担う公民として、自国を愛し平和と繁栄を企図するとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについてグローバルな視点から自覚を深める。</p>						
月	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 〈単元・題材の評価規準〉	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関する他教科等との関連
4月	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原則と展開 1 政治と法 2 民主政治のあゆみ 3 民主政治の基本原則とその展開 4 政治体制の比較 第2節 日本国憲法と基本的人権 第3節 日本の統治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題	7	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、政治や法との関わりを実感することができる《態度》 市民革命以降の民主政治の歴史的なあゆみを理解できる《知・技》 民主政治の基本原則を、身近な集団生活の中で活用できる《知・技》 現代の社会における民主政治の価値やその必要性を評価できる《思・判・表》 日本と各国の政治体制を比較して、その違いを理解できる《知・技》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 自己の考察のまとめ 他者の発表の傾聴 グループでの話し合いへの積極的参加 小レポートの作成 授業態度・発問評価 ワークブック・提出課題 ノート提出・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の基本原則の誕生と現実政治の歩みを歴史的経過を確認しながら確認し、未来を志向しながらこれからの展開を考察する。 【活動内容】 教科書各図説の読み取りと考察 個人による思考と考察 グループ活動(身近な政治への関心について話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(民主思想のあゆみと市民革命、戦後の民主主義) グループによる話し合いと発表 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 地歴科(世界史、日本史、地理)での学習事項も連携させる。
5月	第2節 日本国憲法と基本的人権 1 日本国憲法の基本的性格 2 基本的人権の保障 3 日本国憲法の平和主義	7	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と明治憲法を比較して、それぞれの特徴を理解できる《知・技》 日本国憲法が、明治憲法よりいかに民主的であるかを考えることができる《思・判・表》 主権者として、どのように政治に関わるかを意識することができる《態度》 日本国憲法にある権利を、身近な事例で示すことができる《思・判・表》 日常生活における事例を、憲法の条文と関連づけて考えることができる《思・判・表》 自衛隊や日米安保のあゆみと現状とを関連づけて理解できる《知・技》 日本国憲法の平和主義を、現在の日本をとりまく国際情勢の中で評価できる《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 社会の変化と憲法の果たす役割について考察 平和主義と我が国の国際貢献のあり方について考察 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 明治新政府から現在に至る我が国の政治の流れを振り返りながら、日本国憲法の基本原則と意義を理解し、将来の望ましい民主政治を考察する。 【活動内容】 新旧憲法の比較・考察 現代に生きる基本原則と解釈改憲、憲法改正の是非を考察 グループ活動(主権者として現状を見つめる) 全体発表、まとめ 小レポート作成(どのような視点で自らは判断したか) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(憲法の基本理念と私たちの暮らし) グループによる話し合いと発表 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な問題や事象に関連づけて考えると共に、「探究」活動にも配慮して学習するように促す。
6月	第3節 日本の政治機構 1 国会のしくみと役割 2 内閣と行政機構 3 裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活	8	<ul style="list-style-type: none"> 国会・内閣・裁判所のしくみとその役割・関係を理解できる《知・技》 国会での審議や内閣の閣議など、時事問題に関心を持つことができる《態度》 司法権の独立と違憲審査権など司法の特徴を理解できる《知・技》 裁判員制度の導入によって、司法がどう変わったか考えることができる《思・判・表》 地方自治のしくみを理解し《知・技》、実際の地方自治を点検することができる《態度》 近年の地方分権政策によって、地方がどう変わったか考えることができる《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 	<ul style="list-style-type: none"> 憲法の下、三権分立が適正に機能し民主的な権力機構が機能していることを理解する(1～3)。 憲法の保障する地方分権のあり方を主権者の意識を持ち理解し、担おうとする意識を涵養する(4)。 【活動内容】 教科書各図説の読み取りと考察 個人による思考と考察 グループ活動(個人体験発表と話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成(体験的振り返り) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(民主政治と権力分立) グループによる話し合い 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校「公民」や法教育との関連を考慮する。
7月	第4節 政治参加と民主政治の課題 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会	5	<ul style="list-style-type: none"> 現実の選挙に対して、その争点や結果についてコメントできる《態度》 小選挙区、大選挙区、比例代表などの選挙の方法を比較できる《思・判・表》 戦後の日本の政党政治のあゆみと「55年体制」を理解できる《知・技》 望ましい選挙制度について、自分なりの考えを提示できる《思・判・表》 マスコミの報道等が、世論の形成に与える影響を分析できる《思・判・表》 マスコミのあり方とそれに対する個人のあり方について考えることができる《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。 法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 現代の諸課題と法改正について話し合う。 授業態度・発問評価 ワークブック 提出課題・ノート提出 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治状況を歴史的過程も踏まえて捉え、主権者としてふさわしい知識や意識を身につける。その際、世論形成や圧力団体等の動きにも注意を払う。 【活動内容】 身近な例を基に政治の働きや選挙のあり方を考察する。 最近の世論動向について、情報化の観点から考察する。 個人による思考と考察 グループ活動(個人体験発表と話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成(体験的振り返り) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(現代政党の動向、選挙をめぐる課題、世論形成とICT) グループによる話し合い 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> クロームブック等を十分に活用し、幅広く情報を収集する。
9月	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 1 資本主義経済の発展と変容 2 経済活動の主体 第2節 現代経済のしくみ 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長	8	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済と社会主義経済のしくみと特徴を比較・理解できる《知・技》 資本主義経済の歴史的発展過程を把握して、現状を認識できる《知・技》 経済活動の主体が、現実にもどのような活動をしているか考えることができる《思・判・表》 市場機構を理解して、市場経済に関する基本的知識を理解できる《知・技》 国民所得が経済成長に与える効果について、具体的例を引いて考察し、表現する。《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 現代経済の形成過程を理解する。 経済主体が市場経済において果たす役割をまとめる。 授業態度・発問評価 ワークブック 提出課題・ノート提出 	<ul style="list-style-type: none"> 現代資本主義経済の基礎を歴史的過程をふまえながら理解する。その際に各経済主体の果たす役割を意識しながら学習を進める。 【活動内容】 身近な経済主体として家計を取り上げ考察する(収入、貯蓄、支出等)。 グループ活動(個人体験発表と話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成(体験的振り返り) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(現代経済の動向について～グローバル化や国内動向等) グループによる話し合い 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 経済研究機関や財務省、内閣府Webページ等を有効に活用する。

10月	3 金融の仕組みと働き 4 財政のしくみと租税	8	・国民所得や経済成長の理解をベースに《知識》、金融が経済活動の血液の役割を果たしている全体像を理解し、資金の流れと実体経済との関係を考える。《知・技》 ・財政・租税のしくみとその役割について理解できる《知・技》 ・日常の経済生活における、財政や金融の具体的な動きを考え、説明できる《思・判・表》 ・次世代の社会にふさわしい租税のあり方を展望できる《態度》《思・判・表》	以下の活動に熱心に取り組む、十分な成果をあげているかを評価する。 ・身近な生活と金融・財政・租税とをからめて、経済活動全体の視点から考察しまとめる。 ・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出	民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。 【活動内容】 ・民主政治における選挙の重要性に気づく。 ・選挙制度の現状と課題について考察する。 ・政党や世論の役割や重要性について理解する。 ・国会や内閣の地位や役割について正しく理解する。 ・小レポート作成（マニフェストを読んだ）	・文章記述（少子高齢化社会における未来志向の課税とは） ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・国税庁や各種シンクタンク等の各Webページを有効に活用する。
11月	第3節 日本経済と福祉の向上 1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢化と社会保障	10	・高度経済成長からの産業構造の変化を資料等で確認し《知・技》、その問題点について討論する《思・判・表》《態度》《知・技》 ・中小企業の活動実態を調べ《知・技》、これからのあり方を創造的に思考できる《思・判・表》 ・公害問題について、過去の歴史を振り返り、その取り組みを確認することができる《知・技》 ・消費者問題の具体例をあげ《知・技》、消費者のあり方について考え発表する《思・判・表》 ・日本の労使関係を理解し《知・技》、急速な変化を遂げつつある労働環境と労働問題について考え、展望する《思・判・表》 ・持続可能な社会保障のあり方を深く思考し、新たな制度を創造する《思・判・表》	以下の活動に熱心に取り組む、十分な成果をあげているかを評価する。 ・戦後経済の経過と変化への対応等を理解する。 ・経済活動が生むさまざまな問題を生活者視点から認識し、解決策を展望する。 ・望ましい労使関係を考える。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出	日本経済の歩みを踏まえ、国際化・複雑化する未来を展望しながら、過去の問題点を明らかにし、将来あるべき姿を未来志向で模索する。 【活動内容】 ・これまでの経過とこれからの未来像を各分野での変革をふまえ、未来志向で考察する。 ・世界の潮流を意識しながら、持続可能な制度・しくみ（試案）を創造する。 ・小レポート作成（関係各分野の現状と未来の姿について）	・文章記述（起業、6次産業化、環境保全、ネット下の消費者、少子高齢化社会と持続可能な働・社会保障のあり方等） ・SDGsかの確認・意識 ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・新聞・雑誌・ネット等の各メディア報道や関係各省庁Webページを有効に活用して多面的な考察を試みる。
《12月・1月は班(原則4人)ごとに以下の学習内容より1テーマを選択し、考察を加え展望した結果を発表する形態とする》							
12月	第3章 現代の国際社会 第1節 国際政治の動向 1 国際社会と国際法 2 国際社会の組織化 3 戦後国際政治の展開 第2節 国際経済の動向 1 貿易と国際収支 2 国際経済のしくみ 3 地域主義の動き	6	・近代主権国家の出現と国際社会の形成における国際法の必要性を歴史的過程を元に理解できる。《知・技》 ・国際紛争と国際社会の組織化の試みを振り返りながら、今後の世界平和実現を展望する。《知・技》 《思・判・表》 ・冷戦前後と多極化の時代を経た現在までの国際政治の動向を振り返るとともに、中国など新たな超大国台頭の下での国際平和のあり方を展望する。《知・技》《思・判・表》 ・BRICsやASEAN初稿の台頭など新たな状況下での世界経済の発展と日本のとるべき対応について思考する。《知・技》《思・判・表》	以下の活動に熱心に取り組む、十分な成果をあげているかを評価する。 また他班の発表をよく聞き、適切に評価し、自班の学習に有効に生かしているかを評価する。 ・冷戦後のグローバル化の影響とは何か考察する。 ・国際社会の脅威とは何か、考察する。 ・国際社会の対立・分断はなぜ進むのか考察する。 ・単に自国優先ではなく、グローバルな視点から世界貿易の発展と繁栄を展望する。 ・依然として続く核拡散や地域紛争の激化をふまえ、日本の果たすべき役割を考察する。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出	主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを調べ、理解する。 【活動内容】 ・超大国（陣営）の対立や軍縮の歩みを国際平和の観点から展望する。 ・テロ、核軍拡や難民問題の拡大など対立と分断が進む現状を認識し、解決策を探る。 ・流動化する国際社会において、日本の果たすべき役割を平和主義を踏まえて考察する。 ・小レポート作成（集団安全保障・核軍縮と日本、難民問題と日本、複雑化する世界経済等） ・プレゼンテーション資料作成（班ごとの話し合い活動を深めながら） ※クロームブックを有効活用する（最終的にスライド、ジャムボードでまとめる） ※アナログ的資料も可とする	・文章記述（SDGs、地域紛争、民族紛争、難民問題、経済覇権主義等） ・グループによる話し合い ・小レポート作成 ・的確でわかりやすい発表資料作り ・適宜メモ等をとりながら他班の発表を聞き、適切な批判を加える	・国際連合、外務省、経済産業省、JETRO等の各Webページを有効に活用する。 ・引用時は出所を明らかにする。
1月	第3節 国際社会の課題と日本の役割 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 地球か韻鏡と資源・エネルギー問題 4 発展途上国の経済と経済協力 5 日本の国際的地位と役割	4					
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
政治・経済	3	全日制・普通科・第3年次	政治・経済(数研出版)				
科目の目標	<p>・現代の政治・経済に関する諸課題を捉え考察し、解決策を選択・判断するために必要な概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に見だし調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>・変化が加速しますます複雑化・多様化する現代において、国民主権を担う公民として、自国を愛し平和と繁栄を企図するとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについてグローバルな視点から自覚を深める。</p>						
月	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 〈単元・題材の評価規準〉	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関する他教科等との関連
4月	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原則と展開 1 政治と法 2 民主政治のあゆみ 3 民主政治の基本原則とその展開 4 政治体制の比較 第2節 日本国憲法と基本的人権 第3節 日本の統治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題	7	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、政治や法との関わりを実感することができる《態度》 市民革命以降の民主政治の歴史的なあゆみを理解できる《知・技》 民主政治の基本原則を、身近な集団生活の中で活用できる《知・技》 現代の社会における民主政治の価値やその必要性を評価できる《思・判・表》 日本と各国の政治体制を比較して、その違いを理解できる《知・技》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 自己の考察のまとめ 他者の発表の傾聴 グループでの話し合いへの積極的参加 小レポートの作成 授業態度・発問評価 ワークブック・提出課題 ノート提出・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の基本原則の誕生と現実政治の歩みを歴史的経過を確認しながら確認し、未来を志向しながらこれからの展開を考察する。 【活動内容】 教科書各図説の読み取りと考察 個人による思考と考察 グループ活動(身近な政治への関心について話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(民主思想のあゆみと市民革命、戦後の民主主義) グループによる話し合いと発表 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 地歴科(世界史、日本史、地理)での学習事項も連携させる。
5月	第2節 日本国憲法と基本的人権 1 日本国憲法の基本的性格 2 基本的人権の保障 3 日本国憲法の平和主義	7	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と明治憲法を比較して、それぞれの特徴を理解できる《知・技》 日本国憲法が、明治憲法よりいかに民主的であるかを考えることができる《思・判・表》 主権者として、どのように政治に関わるかを意識することができる《態度》 日本国憲法にある権利を、身近な事例で示すことができる《思・判・表》 日常生活における事例を、憲法の条文と関連づけて考えることができる《思・判・表》 自衛隊や日米安保のあゆみと現状とを関連づけて理解できる《知・技》 日本国憲法の平和主義を、現在の日本をとりまく国際情勢の中で評価できる《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 社会の変化と憲法の果たす役割について考察 平和主義と我が国の国際貢献のあり方について考察 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 明治新政府から現在に至る我が国の政治の流れを振り返りながら、日本国憲法の基本原理と意義を理解し、将来の望ましい民主政治を考察する。 【活動内容】 新旧憲法の比較・考察 現代に生きる基本原理と解釈改憲、憲法改正の是非を考察 グループ活動(主権者として現状を見つめる) 全体発表、まとめ 小レポート作成(どのような視点で自らは判断したか) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(憲法の基本理念と私たちの暮らし) グループによる話し合いと発表 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な問題や事象に関連づけて考えると共に、「探究」活動にも配慮して学習するように促す。
6月	第3節 日本の政治機構 1 国会のしくみと役割 2 内閣と行政機構 3 裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活	8	<ul style="list-style-type: none"> 国会・内閣・裁判所のしくみとその役割・関係を理解できる《知・技》 国会での審議や内閣の閣議など、時事問題に関心を持つことができる《態度》 司法権の独立と違憲審査権など司法の特徴を理解できる《知・技》 裁判員制度の導入によって、司法がどう変わったか考えることができる《思・判・表》 地方自治のしくみを理解し《知・技》、実際の地方自治を点検することができる《態度》 近年の地方分権政策によって、地方がどう変わったか考えることができる《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。 授業態度 発問評価 ワークブック 提出課題 ノート提出 	<ul style="list-style-type: none"> 憲法の下、三権分立が適正に機能し民主的な権力機構が機能していることを理解する(1～3)。 憲法の保障する地方分権のあり方を主権者の意識を持ち理解し、担おうとする意識を涵養する(4)。 【活動内容】 教科書各図説の読み取りと考察 個人による思考と考察 グループ活動(個人体験発表と話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成(体験的振り返り) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(民主政治と権力分立) グループによる話し合い 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校「公民」や法教育との関連を考慮する。
7月	第4節 政治参加と民主政治の課題 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会	5	<ul style="list-style-type: none"> 現実の選挙に対して、その争点や結果についてコメントできる《態度》 小選挙区、大選挙区、比例代表などの選挙の方法を比較できる《思・判・表》 戦後の日本の政党政治のあゆみと「55年体制」を理解できる《知・技》 望ましい選挙制度について、自分なりの考えを提示できる《思・判・表》 マスコミの報道等が、世論の形成に与える影響を分析できる《思・判・表》 マスコミのあり方とそれに対する個人のあり方について考えることができる《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 身近な生活と法の関わりについて考察しまとめる。 法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 現代の諸課題と法改正について話し合う。 授業態度・発問評価 ワークブック 提出課題・ノート提出 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治状況を歴史的過程も踏まえて捉え、主権者としてふさわしい知識や意識を身につける。その際、世論形成や圧力団体等の動きにも注意を払う。 【活動内容】 身近な例を基に政治の働きや選挙のあり方を考察する。 最近の世論動向について、情報化の観点から考察する。 個人による思考と考察 グループ活動(個人体験発表と話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成(体験的振り返り) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(現代政党の動向、選挙をめぐる課題、世論形成とICT) グループによる話し合い 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> クロームブック等を十分に活用し、幅広く情報を収集する。
9月	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 1 資本主義経済の発展と変容 2 経済活動の主体 第2節 現代経済のしくみ 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長	8	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済と社会主義経済のしくみと特徴を比較・理解できる《知・技》 資本主義経済の歴史的発展過程を把握して、現状を認識できる《知・技》 経済活動の主体が、現実にもどのような活動をしているか考えることができる《思・判・表》 市場機構を理解して、市場経済に関する基本的知識を理解できる《知・技》 国民所得が経済成長に与える効果について、具体的例を引いて考察し、表現する。《思・判・表》 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 現代経済の形成過程を理解する。 経済主体が市場経済において果たす役割をまとめる。 授業態度・発問評価 ワークブック 提出課題・ノート提出 	<ul style="list-style-type: none"> 現代資本主義経済の基礎を歴史的過程をふまえながら理解する。その際に各経済主体の果たす役割を意識しながら学習を進める。 【活動内容】 身近な経済主体として家計を取り上げ考察する(収入、貯蓄、支出等)。 グループ活動(個人体験発表と話し合い) 全体発表、まとめ 小レポート作成(体験的振り返り) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章記述(現代経済の動向について～グローバル化や国内動向等) グループによる話し合い 小レポート作成 	<ul style="list-style-type: none"> 経済研究機関や財務省、内閣府Webページ等を有効に活用する。

10月	3 金融の仕組みと働き 4 財政のしくみと租税	8	・国民所得や経済成長の理解をベースに《知識》、金融が経済活動の血液の役割を果たしている全体像を理解し、資金の流れと実体経済との関係を考える。《知・技》 ・財政・租税のしくみとその役割について理解できる《知・技》 ・日常の経済生活における、財政や金融の具体的な働きを考え、説明できる《思・判・表》 ・次世代の社会にふさわしい租税のあり方を展望できる《態度》《思・判・表》	以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 ・身近な生活と金融・財政・租税とをからめて、経済活動全体の視点から考察しまとめる。 ・法、法規範と人権保障との関わりについて理解する。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出	民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。 【活動内容】 ・民主政治における選挙の重要性に気づく。 ・選挙制度の現状と課題について考察する。 ・政党や世論の役割や重要性について理解する。 ・国会や内閣の地位や役割について正しく理解する。 ・小レポート作成（マニフェストを読んだ）	・文章記述（少子高齢化社会における未来志向の課税とは） ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・国税庁や各種シンクタンク等の各Webページを有効に活用する。
11月	第3節 日本経済と福祉の向上 1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢化と社会保障	10	・高度経済成長からの産業構造の変化を資料等で確認し《知・技》、その問題点について討論する《思・判・表》《態度》《知・技》 ・中小企業の活動実態を調べ《知・技》、これからのあり方を創造的に思考できる《思・判・表》 ・公害問題について、過去の歴史を振り返り、その取り組みを確認することができる《知・技》 ・消費者問題の具体例をあげ《知・技》、消費者のあり方について考え発表する《思・判・表》 ・日本の労使関係を理解し《知・技》、急速な変化を遂げつつある労働環境と労働問題について考え、展望する《思・判・表》 ・持続可能な社会保障のあり方を深く思考し、新たな制度を創造する《思・判・表》	以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 ・戦後経済の経過と変化への対応等を理解する。 ・経済活動が生むさまざまな問題を生活者視点から認識し、解決策を展望する。 ・望ましい労使関係を考える。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出	日本経済の歩みを踏まえ、国際化・複雑化する未来を展望しながら、過去の問題点を明らかにし、将来あるべき姿を未来志向で模索する。 【活動内容】 ・これまでの経過とこれからの未来像を各分野での変革をふまえ、未来志向で考察する。 ・世界の潮流を意識しながら、持続可能な制度・しくみ（試案）を創造する。 ・小レポート作成（関係各分野の現状と未来の姿について）	・文章記述（起業、6次産業化、環境保全、ネット下の消費者、少子高齢化社会と持続可能な働・社会保障のあり方等） ・SDGsかの確認・意識 ・グループによる話し合い ・小レポート作成	・新聞・雑誌・ネット等の各メディア報道や関係各省庁Webページを有効に活用して多面的な考察を試みる。
《12月・1月は班(原則4人)ごとに以下の学習内容より1テーマを選択し、考察を加え展望した結果を発表する形態とする》							
12月	第3章 現代の国際社会 第1節 国際政治の動向 1 国際社会と国際法 2 国際社会の組織化 3 戦後国際政治の展開 第2節 国際経済の動向 1 貿易と国際収支 2 国際経済のしくみ 3 地域主義の動き	6	・近代主権国家の出現と国際社会の形成における国際法の必要性を歴史的過程を元に理解できる。《知・技》 ・国際紛争と国際社会の組織化の試みを振り返りながら、今後の世界平和実現を展望する。《知・技》 《思・判・表》 ・冷戦前後と多極化の時代を経た現在までの国際政治の動向を振り返るとともに、中国など新たな超大国台頭の下での国際平和のあり方を展望する。《知・技》《思・判・表》 ・BRICsやASEAN初稿の台頭など新たな状況下での世界経済の発展と日本のとるべき対応について思考する。《知・技》《思・判・表》	以下の活動に熱心に取り組み、十分な成果をあげているかを評価する。 また他班の発表をよく聞き、適切に評価し、自班の学習に有効に生かしているかを評価する。 ・冷戦後のグローバル化の影響とは何か考察する。 ・国際社会の脅威とは何か、考察する。 ・国際社会の対立・分断はなぜ進むのか考察する。 ・単に自国優先ではなく、グローバルな視点から世界貿易の発展と繁栄を展望する。 ・依然として続く核拡散や地域紛争の激化をふまえ、日本の果たすべき役割を考察する。 ・授業態度・発問評価 ・ワークブック ・提出課題・ノート提出	主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを調べ、理解する。 【活動内容】 ・超大国（陣営）の対立や軍縮の歩みを国際平和の観点から展望する。 ・テロ、核軍拡や難民問題の拡大など対立と分断が進む現状を認識し、解決策を探る。 ・流動化する国際社会において、日本の果たすべき役割を平和主義を踏まえて考察する。 ・小レポート作成（集団安全保障・核軍縮と日本、難民問題と日本、複雑化する世界経済等） ・プレゼンテーション資料作成（班ごとの話し合い活動を深めながら） ※クロームブックを有効活用する（最終的にスライド、ジャムボードでまとめる） ※アナログ的資料も可とする	・文章記述（SDGs、地域紛争、民族紛争、難民問題、経済覇権主義等） ・グループによる話し合い ・小レポート作成 ・的確でわかりやすい発表資料作り ・適宜メモ等をとりながら他班の発表を聞き、適切な批判を加える	・国際連合、外務省、経済産業省、JETRO等の各Webページを有効に活用する。 ・引用時は出所を明らかにする。
1月	第3節 国際社会の課題と日本の役割 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 地球か顔鏡と資源・エネルギー問題 4 発展途上国の経済と経済協力 5 日本の国際的地位と役割	4					
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
公民研究		2	全日制・普通科・第3年次	高等学校 公共(第一学習社)			
科目の目標		現代社会において望ましい公共的空間の創造にあたり、関連する諸課題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方について考察する力の基礎を養う。また公共的空間において良識ある公民として必要な能力と主体的に課題を解決する態度を育てる。					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	・現代の諸課題を考える(情報社会、メディア)	6	① 知識・技能 ・インターネットの普及がもたらす問題について知る。 ② 思考・判断・表現 ・インターネットの普及がもたらす問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	インターネットの普及による情報社会がもたらす諸課題について学び、自分の考えを表現する。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	・情報の授業で学習したプライバシーの保護やセキュリティの知識を活用する。 ・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。
5月	・現代の諸課題を考える(人権、法の支配)	6	① 知識・技能 ・人権侵害に関する最近の問題と人権を守る法律や制度について知る。 ② 思考・判断・表現 ・人権侵害に関する問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、人権侵害に関する最近の問題と人権を守る法律や制度について調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	人権を侵害する諸問題と人権を守る法について学び、その解決策について自分の考えを表現する。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・英語で修得した国際理解と関連づける。
6月	・現代の課題を考える(政治参加、地方自治)	8	① 知識・技能 ・18歳選挙の意義や選挙のしくみについて知る。 ・地方自治の役割や意義について知る。 ② 思考・判断・表現 ・18歳選挙の意義や選挙のしくみについて、ワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ・地方自治の役割や意義について、ワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、選挙や地方自治について調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	18歳選挙を通して、政治参加の意義や身近な地方自治について学び、自分の考えを表現する。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・英語で修得した国際理解と関連づける。
7月	・現代の諸課題を考える(環境、SDGs)	6	① 知識・技能 ・SDGsの具体的な取り組みについて知る。 ② 思考・判断・表現 ・SDGsについて、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、SDGsの国・企業・学校・個人等の具体的な取り組みについて調べ、解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・定期テスト ・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議	SDGsを通して、持続可能な社会づくりについて学び、主体的に解決に取り組む具体策を自分の考えとして表現する。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目や地理で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・英語で修得した国際理解と関連づける。 ・家庭科で学習した消費活動や環境問題と関連づける。
9月	・現代の諸課題を考える(文化と宗教、多様性)	8	① 知識・技能 ・多様性について具体的に知る。 ② 思考・判断・表現 ・多様性について、問題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、多様性について調べ、問題や解決策を考えたり話し合おうとしている。	・小テスト ・ワークシート ・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。 ・新聞収集 ・発表 ・グループ意見交換や討議	アイヌと沖縄の独自文化を通して文化の多様性について学び、自分の考えを表現する。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	・英語で修得した国際理解と関連づける。 ・歴史科目や地理で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。

10月	・現代の諸課題を考える(国際社会、平和)	8	<p>① 知識・技能 ・国際社会における紛争と難民問題について現状を具体的に知る。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・紛争や難民問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、紛争や難民問題について調べ、解決策や平和の尊さについて考えたり話し合おうとしている。</p>	<p>・小テスト ・ワークシート ・定期テスト</p> <p>・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議</p>	アフガニスタンの復興に尽力した中村哲也氏の活動等を通して、紛争と難民問題について学び、その解決方法や平和な国際社会づくりの課題について自分の考えを表現する	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	<p>・歴史科目と地理で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・英語で修得したした国際理解と関連づける。 ・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。</p>
11月	・現代の諸課題を考える(生命倫理、家族)	6	<p>① 知識・技能 ・生命倫理の問題について現状を具体的に知る。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・生命倫理の問題が起こった原因を考え、新たな課題や解決策等をワークシートやノートに書いたり、発表しようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・インターネットや新聞を活用し、生命倫理の問題について調べ、解決策とともに命の尊さや家族関係について考えたり話し合おうとしている。</p>	<p>・小テスト ・ワークシート</p> <p>・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議</p>	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者等の在宅死の問題やASL患者の囁き殺し等を通して、生命倫理と家族関係について学び、自分の考えを表現する。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	<p>・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・情報の授業で学習したプライバシーの保護やセキュリティーの知識を活用する。</p>
12月	・現代の諸課題を考える(自由設定)	6	<p>① 知識・技能 ・これまで学習してきた内容をふまえ、新たな課題を自ら発見する。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・新たに発見した課題について、自ら問いを立て考えたり、ワークシートやノートに書いて表現しようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・新たに発見した課題について調べ、解決策を考えたり、話し合おうとしている。</p>	<p>・小テスト ・ワークシート</p> <p>・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議</p>	自分で課題を発見し、問題提起し、その解決のために必要な具体策を提案する。提案をレポートとしてまとめ、発表する。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	<p>・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・情報の授業で学習したプライバシーの保護や著作権の知識を活用する。</p>
1月 ～ 3月	・現代の諸課題を考える(自由設定)	16	<p>① 知識・技能 ・他者が新たに発見した課題について知る。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・お互いが発見した課題について、新たな問いを立てさらに考えを深めようとしている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・新たに発見した課題の解決策をグループで考えたり、話し合おうとしている。</p>	<p>・小テスト ・ワークシート</p> <p>・書く、話すを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、取り組みの状況の判断材料として活用する。</p> <p>・新聞収集 ・ネット検索 ・発表 ・グループ意見交換や討議</p>	12月に発表した課題について、グループごとに協働しながら議論と提案をより深める。	新聞を読んだり、NHK等のニュースやドキュメンタリー番組を視聴して、その内容を理解し、自分の考えを発表したり、書いたり、さらに他者と話し合う活動を行う。	<p>・総合的な探究の時間を通して培った思考力・判断力を活用する。 ・国語で培ってきた読解力・発表力を活用する。 ・歴史科目で学習した背景知識を関連づけて理解を深める。 ・英語で修得したした国際理解と関連づける。 ・情報の授業で学習したプライバシーの保護や著作権の知識を活用する。</p>
指導時間数の計		70					

科目名	地理総合				単位数	文系:2 理系:3	単位
					使用教科書	「高等学校 新地理総合」	
					教材等	「新詳高等地図」 (帝国書院)	
実施学期	通年	対象年次	2 年次	選択区分	必履修		
目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>						
評価の観点の趣旨	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。</p>		<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目し、概念などを活用しながら多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>		<p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深める。</p>		
授業概要	<p>世界の自然環境、資源、産業、人口、村落・都市、生活文化、民族・宗教に関する諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察し、現代世界の諸課題について地球的視野から理解しましょう。また、系統地理的な特徴を、視点を変えて地域的な枠組みから検討することで、世界各地域の変容や構造を、多面的・多角的に考察し、地域的特色や地域の諸課題を考えていきます。</p>						
学 期	項 目 ・ 具 体 的 な 内 容						
前 期	4月	第1部 1章 地図と地理情報システム 2章 結び付きを深める現代社会					
	5月	第2部 1章 生活文化の多様性と国際理解 ①世界の地形と人々の生活					
	6月	②世界の気候と人々の生活					
	7月	③世界の言語・宗教と人々の生活 ④歴史的背景と人々の生活					
	9月	⑤世界の産業と人々の生活					
後 期	10月	2章 ①複雑に絡み合う地球的課題 ②地球環境問題 ③資源・エネルギー問題					
	11月	④人口問題 ⑤食料問題 ⑥都市・居住問題					
	12月	第3部 1章 自然環境と防災 ①日本の自然環境					
	1月	②地震・津波と防災 ③火山災害と防災					
	2月	④気象災害と防災 ⑤自然災害への備え					
	3月	2章 生活圏の調査と地域の展望 ①生活圏の調査と地域の展望					
備考							

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
日本史探究	2	全日制・普通科・3年次	『詳説日本史』(山川出版社)				
科目の目標	<p>○(何を学ぶか)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○(どのように学ぶのか)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力、表現力、判断力等)</p> <p>○(何ができるようになるのか)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)</p>						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	2	<p>① 知識・技能 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国をもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	<p>① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	<p>① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度／発表・レポート提出</p>	<p>幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

5月 5週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 2週 2日	第11章 近世から近代へ 2 幕府の滅亡と新政府の発足	2	① 知識・技能 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係	2	① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 ② 思考・判断・表現 議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中での意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 4週 2日	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係	2	① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 ② 思考・判断・表現 議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中での意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 5週 2日	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係	2	① 知識・技能 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 ② 思考・判断・表現 議院が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中での意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 1週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

7月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 2 第一次世界大戦と日本	2	① 知識・技能 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ② 思考・判断・表現 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえ、学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	第一次世界大戦前後の政治的動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 1週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 2週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 3週 2日	第13章 近代国家の展開 3 ワシントン体制	2	① 知識・技能 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 ② 思考・判断・表現 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関する諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 ② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動向について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 1週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関する諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 ② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動向について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 2週 2日	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	2	① 知識・技能 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関する諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 ② 思考・判断・表現 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動向について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

10月 3週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 5週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 2週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 2 軍部の台頭	2	① 知識・技能 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 3週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 4週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

12月 1週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第15章 恐慌と第二次世界 大戦 3 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦争がアメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 ② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 4週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 ② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 2週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 ② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 1 55年体制	2	① 知識・技能 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 ② 思考・判断・表現 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・L T貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

1月 4週 2日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	2	① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 ② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長をもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長をもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	2	① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 ② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長をもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長をもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 5週 2日	第17章 高度成長の時代 2 経済復興から高度経済成長へ	2	① 知識・技能 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。 ② 思考・判断・表現 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 高度経済成長をもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。消費革命による社会の変貌と、経済成長をもたらしたひずみである社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
世界史探究		2	全日制・普通科・3年次	『評説世界史』(山川出版社)			
科目の目標							
<p>○(向)を学ぶか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようとする。(知識及び技能)</p> <p>○(向)を学ぶか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推察、比較、相互の関係や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決策を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。</p> <p>○(向)ができるようになるか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して語られる日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する責任、他国や地域の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>							
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時間	単元・題材で育成する資質・能力 単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパ の政治・社会の変動	2	<p>① 知識・技能 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをともに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ウィーン会議の参加者たちが 目指したヨーロッパの新しい 国際秩序はどのようなもの だったのか、またウィーン体 制を動揺させた政治・経済・ 社会的要因について考察す る。また19世紀イギリスの政 治変革の特徴や、1848年革命 の展開や影響について理解す る。そのうえで、諸資料の読み 取りや考察、問いの作成とその 解決、討論や発表といった活 動を通して、思考力・判断 力・表現力を養い、主体的に 学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し 自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較 検討をおとして考 察を深める。	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパ の政治・社会の変動	2	<p>① 知識・技能 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをともに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ウィーン会議の参加者たちが 目指したヨーロッパの新しい 国際秩序はどのようなもの だったのか、またウィーン体 制を動揺させた政治・経済・ 社会的要因について考察す る。また19世紀イギリスの政 治変革の特徴や、1848年革命 の展開や影響について理解す る。そのうえで、諸資料の読み 取りや考察、問いの作成とその 解決、討論や発表といった活 動を通して、思考力・判断 力・表現力を養い、主体的に 学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し 自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較 検討をおとして考 察を深める。	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパ の政治・社会の変動	2	<p>① 知識・技能 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをともに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ウィーン会議の参加者たちが 目指したヨーロッパの新しい 国際秩序はどのようなもの だったのか、またウィーン体 制を動揺させた政治・経済・ 社会的要因について考察す る。また19世紀イギリスの政 治変革の特徴や、1848年革命 の展開や影響について理解す る。そのうえで、諸資料の読み 取りや考察、問いの作成とその 解決、討論や発表といった活 動を通して、思考力・判断 力・表現力を養い、主体的に 学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し 自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較 検討をおとして考 察を深める。	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 2 列強体制の動揺とヨー ロッパの再編成	2	<p>① 知識・技能 19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをともに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	クリミア戦争におけるロン シア・イギリス・フランスの それぞれの思惑、また19世紀 後半における各国の諸改革の 相違点を理解する。さらにド イツとイタリアの国民国家成 立を比較し、共通点と相違点 を理解する。そのうえで、諸 資料の読み取りや考察、問い の作成とその解決、討論や 発表といった活動を通して、 思考力・判断力・表現力を 養い、主体的に学習に取 り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し 自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較 検討をおとして考 察を深める。	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 2 列強体制の動揺とヨー ロッパの再編成	2	<p>① 知識・技能 19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをともに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	クリミア戦争におけるロン シア・イギリス・フランスの それぞれの思惑、また19世紀 後半における各国の諸改革の 相違点を理解する。さらにド イツとイタリアの国民国家成 立を比較し、共通点と相違点 を理解する。そのうえで、諸 資料の読み取りや考察、問い の作成とその解決、討論や 発表といった活動を通して、 思考力・判断力・表現力を 養い、主体的に学習に取 り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し 自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較 検討をおとして考 察を深める。	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成 2 列強体制の動揺とヨー ロッパの再編成	2	<p>① 知識・技能 19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをともに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	クリミア戦争におけるロン シア・イギリス・フランスの それぞれの思惑、また19世紀 後半における各国の諸改革の 相違点を理解する。さらにド イツとイタリアの国民国家成 立を比較し、共通点と相違点 を理解する。そのうえで、諸 資料の読み取りや考察、問い の作成とその解決、討論や 発表といった活動を通して、 思考力・判断力・表現力を 養い、主体的に学習に取 り組む態度を養う。	○レポート発表を もとにグループで 相互評価し、自分 の意見を説明す る。 ○資料をもとに話 し合い活動を通し 自分の意見を説 明させる。 ○グループに分か れて考察内容を発 表し合い、比較 検討をおとして考 察を深める。	国語・情報・芸術

5月5週2日	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 3 アメリカ合衆国の発展	2	① 知識・技能 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 ② 思考・判断・表現 アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、さらにアメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を考察する。南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月2週2日	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 3 アメリカ合衆国の発展	2	① 知識・技能 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 ② 思考・判断・表現 アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、さらにアメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を考察する。南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月3週2日	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 3 アメリカ合衆国の発展	2	① 知識・技能 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 ② 思考・判断・表現 アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	領土拡大がアメリカ社会に与えた影響、さらにアメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を考察する。南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月4週2日	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	2	① 知識・技能 19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 ② 思考・判断・表現 19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀欧米文化の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	19世紀欧米文化における抱いた手や展開された場（空間）の推移、近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。国民文化と国民国家形成との関係、大都市文化が都市の景観に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月5週2日	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	2	① 知識・技能 19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 ② 思考・判断・表現 19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀欧米文化の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	19世紀欧米文化における抱いた手や展開された場（空間）の推移、近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。国民文化と国民国家形成との関係、大都市文化が都市の景観に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
7月1週2日	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	2	① 知識・技能 19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 ② 思考・判断・表現 19世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 19世紀欧米文化の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	19世紀欧米文化における抱いた手や展開された場（空間）の推移、近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。国民文化と国民国家形成との関係、大都市文化が都市の景観に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
7月2週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義	2	① 知識・技能 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 ② 思考・判断・表現 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響や、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。また、帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

7月3週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義	2	① 知識・技能 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 ② 思考・判断・表現 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響や、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。また、帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月1週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義	2	① 知識・技能 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 ② 思考・判断・表現 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響や、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。また、帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月2週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 2 列強の世界分割と列強体制の二分化	2	① 知識・技能 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 ② 思考・判断・表現 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容、20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月3週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 2 列強の世界分割と列強体制の二分化	2	① 知識・技能 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 ② 思考・判断・表現 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容、20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
9月4週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 2 列強の世界分割と列強体制の二分化	2	① 知識・技能 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 ② 思考・判断・表現 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容、20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月1週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 3 アジア諸国の変革と民族運動	2	① 知識・技能 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因、東南アジアや西アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月2週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 3 アジア諸国の変革と民族運動	2	① 知識・技能 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因、東南アジアや西アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月3週2日	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 3 アジア諸国の変革と民族運動	2	① 知識・技能 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価	改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因、東南アジアや西アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

10月4日 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	2	① 知識・技能 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯をファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 ② 思考・判断・表現 政治的なポストカードなどの画像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の画像資料や野村胡堂「露漢機軸」に関する山田詠話の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	世界恐慌が起こった背景やその争いといった背景を考察する。ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響、ナチスドイツの体制が成立する経緯とその政策内容、ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
10月5日 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	2	① 知識・技能 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯をファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 ② 思考・判断・表現 政治的なポストカードなどの画像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の画像資料や野村胡堂「露漢機軸」に関する山田詠話の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	世界恐慌が起こった背景やその争いといった背景を考察する。ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響、ナチスドイツの体制が成立する経緯とその政策内容、ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月2日 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 2 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 ② 思考・判断・表現 戦場を写した画像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	開戦直前における各国のナチスドイツへの対応、独逸戦争および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を考察する。ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開、終戦までの経緯を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月3日 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 2 第二次世界大戦	2	① 知識・技能 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 ② 思考・判断・表現 戦場を写した画像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	開戦直前における各国のナチスドイツへの対応、独逸戦争および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を考察する。ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開、終戦までの経緯を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月4日 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 3 新しい国際秩序の形成	2	① 知識・技能 第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ② 思考・判断・表現 戦場を写した画像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのか、冷戦開始および東西ヨーロッパの分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響、現代の中東問題の背景を考察する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
11月5日 2日	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 3 新しい国際秩序の形成	2	① 知識・技能 第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 ② 思考・判断・表現 各国の様子を写した画像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのか、冷戦開始および東西ヨーロッパの分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響、現代の中東問題の背景を考察する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
12月1日 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容	2	① 知識・技能 1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 ② 思考・判断・表現 原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイルショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 オイルショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化、オイルショックが各国の社会と経済に与えた影響を考察する。1970年代初期に世界経済がいかなる転換を迎えたのか、1970～1980年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
12月2日 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容	2	① 知識・技能 1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 ② 思考・判断・表現 原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイルショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 オイルショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価	経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化、オイルショックが各国の社会と経済に与えた影響を考察する。1970年代初期に世界経済がいかなる転換を迎えたのか、1970～1980年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。 そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

		<p>③ 主体的に学習に取り組む態度 オイルショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	提出課題/授業態度 発表・レポート提出	動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	検討をとおして考察を深める。
12月 3週 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 2 冷戦の終結	<p>① 知識・技能 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをと、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査/提出課題 /発問評価 定期考査/提出課題 /発問評価/発表・ レポート提出 提出課題/授業態度 /発表・レポート提出	1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容、東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。ソ連で始まった改革と東欧革命との関係も考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。
12月 4週 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 2 冷戦の終結	<p>① 知識・技能 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをと、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査/提出課題 /発問評価 定期考査/提出課題 /発問評価/発表・ レポート提出 提出課題/授業態度 /発表・レポート提出	1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容、東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。ソ連で始まった改革と東欧革命との関係も考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。
1月 2週 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 3 今日の世界	<p>① 知識・技能 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各地の状況を写した画像資料などをと、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査/提出課題 /発問評価 定期考査/提出課題 /発問評価/発表・ レポート提出 提出課題/授業態度 /発表・レポート提出	旧社会主義圏で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。冷戦終結後の東アジア諸国の変化、今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。
1月 3週 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 3 今日の世界	<p>① 知識・技能 冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 各地の状況を写した画像資料などをと、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査/提出課題 /発問評価 定期考査/提出課題 /発問評価/発表・ レポート提出 提出課題/授業態度 /発表・レポート提出	旧社会主義圏で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。冷戦終結後の東アジア諸国の変化、今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。
1月 4週 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 4 現代文明の諸相	<p>① 知識・技能 現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 芸術作品を示した画像資料やジェンダーギャップ指数を示した統計資料などをと、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査/提出課題 /発問評価 定期考査/提出課題 /発問評価/発表・ レポート提出 提出課題/授業態度 /発表・レポート提出	20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を考察する。現代思想・文化における新しい潮流の内容、個性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を考察する。そのうえで、資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。
1月 5週 2日	第19章 冷戦の終結と今日の世界 4 現代文明の諸相	<p>① 知識・技能 現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 芸術作品を示した画像資料やジェンダーギャップ指数を示した統計資料などをと、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	定期考査/提出課題 /発問評価 定期考査/提出課題 /発問評価/発表・ レポート提出 提出課題/授業態度 /発表・レポート提出	20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を考察する。現代思想・文化における新しい潮流の内容、個性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を考察する。そのうえで、資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をともにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。
指導時間数の計		70			

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
日本史研究B	2	全日制・普通科・3年次	『詳説日本史』(山川出版社)				
科目の目標	<p>○(何を学ぶか) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>○(どのように学ぶか) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力、表現力、判断力等)</p> <p>○(何ができるようになるのか) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)</p>						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	2	<p>① 知識・技能 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>廃藩置県や四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など、明治時代初期の急進的な社会制度の変化に着目しつつ、明治初期の対外関係や政府への反抗など、明治時代の国内外の社会情勢について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	<p>① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせることで改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	<p>① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせることで改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出</p>	<p>自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術

5月 5週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 ② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 2週 2日	第12章 近代国家の成立 2 立憲国家の成立	2	① 知識・技能 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 ② 思考・判断・表現 国内体制を欧米の水準に合わせる事が改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	自由民権運動の展開や憲法の制定、諸法典の編纂など、基本的な法治国家の仕組みが整う過程や、初期議会の状況など、立憲国家の成立過程について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	① 知識・技能 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 4週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	① 知識・技能 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 5週 2日	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	2	① 知識・技能 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	通貨と銀行の整備や産業革命の開始、紡績と製糸の発達、鉄道や海運の発達、重工業の出現など、近代産業が発達する過程や、農業と農民との格差、労働運動の発生など、産業革命に付随する社会問題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 1週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 3週 2日	第14章 近代の産業と生活 2 近代文化の発達	2	① 知識・技能 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 ② 思考・判断・表現 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	明治の文化と宗教の状況や教育の普及、科学の発達、近代文学や明治の美術、生活様式の近代化など、近代文化の発達状況について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

9月1週2日	第14章 近代の産業と生活3 市民生活の変化と大衆文化	2	① 知識・技能 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 ② 思考・判断・表現 都市の発展、鉄道・駅の設定やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	大戦景気の出現や都市化の進展、市民生活の変化、大衆文化の誕生、学問と芸術の発達について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月2週2日	第14章 近代の産業と生活4 市民生活の変化と大衆文化	2	① 知識・技能 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 ② 思考・判断・表現 都市の発展、鉄道・駅の設定やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	大戦景気の出現や都市化の進展、市民生活の変化、大衆文化の誕生、学問と芸術の発達について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月3週2日	第16章 占領下の日本1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関する諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月4週2日	第16章 占領下の日本1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関する諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月1週2日	第16章 占領下の日本1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関する諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月2週2日	第16章 占領下の日本1 占領と改革	2	① 知識・技能 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関する諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 ② 思考・判断・表現 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	戦後世界秩序の形成や初期の占領政策、民主化政策や政党政治の復活、日本国憲法の制定など、戦後の民主化の進展や、生活の混乱と大衆運動の高揚といった社会の動きについて理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月3週2日	第16章 占領下の日本2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関する諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月4週2日	第16章 占領下の日本2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関する諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術

10月 5週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関する諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 2週 2日	第16章 占領下の日本 2 冷戦の開始と講和	2	① 知識・技能 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関する諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 ② 思考・判断・表現 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦体制の形成と東アジアの状況による占領政策の転換、朝鮮戦争による日本の景気変動、講和と安保条約の締結、そして占領期の文化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月 5週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 1週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 2週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道	2	① 知識・技能 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。 ② 思考・判断・表現 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	ドル危機と石油危機による高度経済成長の終焉や、それを乗り越えた経済大国の実現、バブル経済の表出と市民生活の変化について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

12月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 2週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 4週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月 5週 2日	第18章 激動する世界と日本 2 冷戦の終結と日本社会の変容	2	① 知識・技能 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 ② 思考・判断・表現 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査／提出課題 ／発問評価 定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出 提出課題／授業態度 ／発表・レポート提出	冷戦の変化と地域紛争の増加、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済の低迷、そして現代の諸課題について理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
世界史研究B	2	全日制・普通科・3年次	『詳説世界史』(山川出版社)				
科目の目標	○(何を学ぶか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) ○(どのように学ぶか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。 ○(何が出来るようになるのか)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	2	① 知識・技能 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の工場の様子を描いた画像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響、16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係についてを理解する。 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 3週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	2	① 知識・技能 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の工場の様子を描いた画像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響、16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係についてを理解する。 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
4月 4週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	2	① 知識・技能 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の工場の様子を描いた画像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響、16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係についてを理解する。 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 2週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展	2	① 知識・技能 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移、独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 3週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展	2	① 知識・技能 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移、独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
5月 4週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展	2	① 知識・技能 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 アメリカ独立宣言や「権利の章典」(第11章4節)などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移、独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術

5月 5週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 3 フランス革命とナポレオンの支配	2	① 知識・技能 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 ② 思考・判断・表現 「旧体制」の風刺画などの画像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響、人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。ナポレオンの支配に対する人々の反応を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 2週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 3 フランス革命とナポレオンの支配	2	① 知識・技能 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 ② 思考・判断・表現 「旧体制」の風刺画などの画像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響、人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。ナポレオンの支配に対する人々の反応を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 3週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 3 フランス革命とナポレオンの支配	2	① 知識・技能 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 ② 思考・判断・表現 「旧体制」の風刺画などの画像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響、人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。ナポレオンの支配に対する人々の反応を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 4週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 4 中南米諸国の独立	2	① 知識・技能 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解し、中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
6月 5週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 4 中南米諸国の独立	2	① 知識・技能 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解し、中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 1週 2日	第12章 産業革命と環大西洋革命 4 中南米諸国の独立	2	① 知識・技能 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解し、中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術
7月 2週 2日	第14章 アジア諸地域の動向 1 西アジア地域の変容	2	① 知識・技能 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動向や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 マムルークの掃蕩を表した画像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	オスマン帝国の動向の要因、ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を考察する。オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯、改革の成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおこなって考察を深める。	国語・情報・芸術

7月 3週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 1 西アジア地域の変容	2	① 知識・技能 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。	定期考査／提出課題 ／発問評価	オスマン帝国の動揺の要因、ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を考察する。オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯、改革の成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 1週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 1 西アジア地域の変容	2	① 知識・技能 オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。	定期考査／提出課題 ／発問評価	オスマン帝国の動揺の要因、ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を考察する。オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯、改革の成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 2週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 2 南アジア・東南アジアの 植民地化	2	① 知識・技能 ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。	定期考査／提出課題 ／発問評価	ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。イギリス東インド会社の機能の変化、タイが植民地化されなかった要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 3週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 2 南アジア・東南アジアの 植民地化	2	① 知識・技能 ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。	定期考査／提出課題 ／発問評価	ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。イギリス東インド会社の機能の変化、タイが植民地化されなかった要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
9月 4週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 2 南アジア・東南アジアの 植民地化	2	① 知識・技能 ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。	定期考査／提出課題 ／発問評価	ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。イギリス東インド会社の機能の変化、タイが植民地化されなかった要因を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月 1週 2日	第14章 アジア諸地域の動 揺 3 東アジアの激動	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。	定期考査／提出課題 ／発問評価	清朝の危機の要因、欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を考察する。中国の開港の背景および開港の進展の経緯、清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をおして考察を深める。	国語・情報・芸術

10月2週2日	第14章 アジア諸地域の動揺 3 東アジアの激動	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 ② 思考・判断・表現 文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた画像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	清朝の危機の要因、欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を考察する。中国の開港の背景および開港の進展の経緯、清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月3週2日	第14章 アジア諸地域の動揺 3 東アジアの激動	2	① 知識・技能 欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 ② 思考・判断・表現 文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた画像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	清朝の危機の要因、欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を考察する。中国の開港の背景および開港の進展の経緯、清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月4週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命	2	① 知識・技能 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場働く女性の図などの第一次世界大戦に関する画像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	バルカン半島で緊張が高まった背景、戦時外交および総力戦の特徴を理解する。歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因、第一次世界大戦がもたらした影響、ロシア革命の経緯や歴史的意義を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
10月5週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命	2	① 知識・技能 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場働く女性の図などの第一次世界大戦に関する画像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	バルカン半島で緊張が高まった背景、戦時外交および総力戦の特徴を理解する。歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因、第一次世界大戦がもたらした影響、ロシア革命の経緯や歴史的意義を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月2週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命	2	① 知識・技能 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場働く女性の図などの第一次世界大戦に関する画像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	バルカン半島で緊張が高まった背景、戦時外交および総力戦の特徴を理解する。歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因、第一次世界大戦がもたらした影響、ロシア革命の経緯や歴史的意義を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月3週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	2	① 知識・技能 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 ② 思考・判断・表現 各国の国内情勢を写した画像資料や「十四ヶ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯、国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化、1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。西欧諸国における第一次世界大戦後の展開、イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
11月4週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	2	① 知識・技能 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 ② 思考・判断・表現 各国の国内情勢を写した画像資料や「十四ヶ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯、国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化、1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。西欧諸国における第一次世界大戦後の展開、イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

11月5週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の姿 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	2	① 知識・技能 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 ② 思考・判断・表現 各国の国内情勢を写した画像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における姿容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯、国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化、1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。西諸国における第一次世界大戦後の展開、イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月1週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の姿 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	2	① 知識・技能 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 ② 思考・判断・表現 民族運動の様子を写した画像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響、日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を考察する。南京国民政府による中国統一達成までの経緯、第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月2週2日	第16章 第一次世界大戦と世界の姿 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	2	① 知識・技能 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 ② 思考・判断・表現 民族運動の様子を写した画像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響、日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を考察する。南京国民政府による中国統一達成までの経緯、第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月3週2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開	2	① 知識・技能 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯、西と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響、スターリン死後のソ連と東欧における変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
12月4週2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開	2	① 知識・技能 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 ② 思考・判断・表現 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯、西と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響、スターリン死後のソ連と東欧における変化を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月2週2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 2 第三世界の台頭とキューバ危機	2	① 知識・技能 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのか、アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。キューバ革命の背景および影響、国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術
1月3週2日	第18章 冷戦と第三世界の台頭 2 第三世界の台頭とキューバ危機	2	① 知識・技能 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 ② 思考・判断・表現 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査／提出課題／発問評価 定期考査／提出課題／発問評価／発表・レポート提出 提出課題／授業態度／発表・レポート提出	自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのか、アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。キューバ革命の背景および影響、国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。 ○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。 ○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	国語・情報・芸術

1月 4週 2日	第18章 冷戦と第三世界の 台頭 3 冷戦体制の動揺	2	<p>① 知識・技能 ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1960年代の各地の様子を写した画像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提 出</p>	<p>国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格、またヨーロッパにおいて緊張緩和が進んだ経緯を理解する。1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容、第三世界における開発独裁の特徴を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
1月 3週 2日	第18章 冷戦と第三世界の 台頭 3 冷戦体制の動揺	2	<p>① 知識・技能 ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 1960年代の各地の様子を写した画像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>定期考査／提出課題 ／発問評価</p> <p>定期考査／提出課題 ／発問評価／発表・ レポート提出</p> <p>提出課題／授業態度 ／発表・レポート提 出</p>	<p>国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格、またヨーロッパにおいて緊張緩和が進んだ経緯を理解する。1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容、第三世界における開発独裁の特徴を考察する。そのうえで、諸資料の読み取りや考察、問いの作成とその解決、討論や発表といった活動を通して、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p>	<p>○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。</p> <p>○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。</p> <p>○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。</p>	国語・情報・芸術
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
数学 I	3	単位制・普通科・1年	NEXT 数学 I (数研)				
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月～5月	数と式	18	<p>① 知識・技能 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算できる。また2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。また、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、四則計算や因数分解、1次不等式を問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
6月	集合と命題	9	<p>① 知識・技能 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、集合や命題の考え方を問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用してベン図等の式で集合を視覚的に表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
6月～9月	2次関数	26	<p>① 知識・技能 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、最大値や最小値を求められる。また、2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められる。</p> <p>② 思考・判断・表現 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察できる。また、2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えられ</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 社会の事象を数学的に捉え、2つの数量の関係に着目し問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。</p>	<p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>提出物 授業への取り組み方</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用して2次関数の式を視覚的に表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	物理基礎
10月～1月	図形と計量	22	<p>① 知識・技能 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。また、正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。また、図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 社会の事象を数学的に捉え、三角比や正弦定理・余弦定理等を問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>提出物 授業への取り組み方</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用して三角比等を視覚的に把握する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	物理基礎
2月～3月	データの分析	12	<p>① 知識・技能 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができ、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 社会の事象を数学的に捉え、データの分析の手法を利用して問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>提出物 授業への取り組み方</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用してデータを視覚的に表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	社会と情報
指導時間数の計		87					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
数学A	2	単位制・普通科・1年	NEXT 数学A(数研)				
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 〈単元・題材の評価規準〉	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 ～ 7月	場合の数と確率	23	<p>① 知識・技能 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求められる。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。</p> <p>② 思考・判断・表現 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察できる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、場合の数や確率を問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用してベン図等の式で集合を視覚的に表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
9月 ～ 12月	図形の性質	24	<p>① 知識・技能 三角形や円に関する基本的な性質について理解できる。空間図形に関する基本的な性質について理解できる。</p> <p>② 思考・判断・表現 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、新しい関係性を見出し、平面図形や空間図形を問題解決に活用しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用して図形を視覚的に表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
1月 ～ 3月	数学と人間の活動	23	<p>① 知識・技能 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深められる。</p> <p>② 思考・判断・表現 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、2つの数量の関係に着目し問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。</p>	<p>提出物 授業への取り組み方</p> <p>単元テスト 定期考査</p> <p>単元テスト 定期考査</p>	<p>・考え方を数式を用いて表現し、論理立てて説明する。 ・ICT機器等を利用して視覚的に学習内容を表現する。</p>	<p>・考えたことを板書し、論理立てて説明する。 ・班別の話し合い等を通して数学的な考察を深める。</p>	
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名（出版社）			
数学Ⅱ		4	全日制・普通科・2年次	NEXT 数学Ⅱ（数研出版）			
科目の目標		<p>○いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（知識・技能）</p> <p>○数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。（思考力・表現力・判断力）</p> <p>○数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・ 能力の育成に関わる他教 科等との関連
4月	第1章 式と証明 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算	7	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式を利用して3次式の展開ができる。 ・二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式の形に着目して公式を適用できる形に変形し、多項式を因数分解できる。 ・$(a+b+c)^n$について、式を1つのまとまりと見ることで、二項定理を活用して展開式の項の係数を求めることができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・因数分解する方法を複数考え、それらを比較したり、結果が同じになることを確認したりしようとする。 ・多項式の割り算および割り算で成り立つ等式を整数の割り算についてのものと比較して理解し、余りの次数にも注意して積極的に考察し、活用しようとする。 	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科
5月	第1章 式と証明 4. 分数式とその計算 5. 恒等式 6. 等式の証明 7. 不等式の証明 演習問題 第2章 複素数と方程式 1. 複素数とその計算	15	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恒等式と方程式の違いを理解している。 ・等式、不等式の証明をすることができる。 （実数の性質、相加平均相乗平均等） ・複素数に関する用語の定義を理解している。 ・共役複素数の定義を理解し、それを利用して複素数の除法の計算ができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対値の性質を利用して、絶対値記号を含む不等式を証明できる。 ・方程式との違いに注意して恒等式をつくらせたり、つくられた式が恒等式かどうか判断したりできる。 ・不等式の基本性質を正しく用いて不等式を証明できる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを、比較して考察しようとする。 ・複素数が四則について閉じていることなど、複素数の性質を、実数の性質と関連させながら理解し、考察しようとする。 	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科
6月	2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式 演習問題 第3章 図形と方程式 1. 直線上の点 2. 平面上の点	16	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の範囲で2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式の解を利用して、2次式を因数分解できる。 ・因数定理について理解し、それを利用して高次式を因数分解できる。 ・座標平面上の線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解と係数の関係を活用して、2次方程式の解の条件を考察することができる。 ・剰余の定理を活用し、多項式を2つの1次式で割った余りから、2次式で割った余りを求めることができる。 ・高次方程式について、いくつかの解法のうちどれを用いるか適切に判断して解くことができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで「解なし」としていた2次方程式が、複素数の範囲では解をもつことに興味をもつ。 ・虚数解から方程式の係数を決定する問題について、いくつかの方法で解き、それらを比較・検討しようとする。 ・座標平面を用いて図形の性質を一般的に証明する際、一般性を崩さないように点の座標を設定することや、座標軸のとり方によらず証明できることなどに興味をもつ。 	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科
7月	3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 演習問題	10	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件を満たす直線の方程式を求めることができる。 ・2直線の平行・垂直条件を理解し、それを利用できる。 ・点と直線の公式を理解し、それを利用して距離を求めることができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通る2点がわかっている直線の方程式を、傾きと通る1点がわかっている直線の方程式を利用して考察できる。 ・$kF(x, y) + G(x, y) = 0$の形の方程式が、2直線の交点を通る直線を表す理由を理解し、説明することができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・x, yの方程式が座標平面上で図形を表すということの意味を理解しようとし、点の集合が図形を表すことを正しく認識する。 ・直線の方程式の公式を、直線が1つに定まる条件としてとらえようとする。 ・2直線の関係を、傾きに着目して考察しようとする。 	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科

9月	5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 問題演習	18	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・x, yの2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。 ・円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。 ・軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・直線、円を境界線とする領域を図示することができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2点を直径の両端とする円について、中心と半径に着目して、方程式を求めることができる。 ・円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数から考察することができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3点を通る円が1つに定まるということに興味をもち、三角形の外接円や、2点を通る円の集まりなどを考察することで理解しようとする。 ・線形計画法について、詳しく考察し、理解しようとする。 	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科
10月	第4章 三角関数 1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 演習問題	15	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般角について理解し、一般角を表す動径を図示できる。 ・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。また、動径が表す角について弧度法で考えることができる。 ・三角関数の相互関係を理解し、それらを利用して様々な値を求めたり、式変形をしたりすることができる。 ・周期性や漸近線など、三角関数のグラフの特徴を理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の性質を、単位円を用いて考察することができる。 ・複数ある三角関数の性質について、適切なものを判断して利用し、三角関数の値を求めることができる。 ・三角関数を含む関数について、$\sin \theta = t$とおいたときのtの範囲にも注意して最大値・最小値を求めることができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角比の相互関係について、既習である円の方程式と関連付けて、多面的に考察しようとする。 ・三角関数のグラフについて、コンピュータを用いるなどして積極的に考察しようとする。 ・三角関数を含む関数で$\sin \theta = t$とおいたとき、θの動きとtの動きを関連付けて、関数の値の変化を考察し、理解しようとする。 	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科
11月	6. 加法定理 7. 加法定理の応用 第5章 指数関数と対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 問題演習	16	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ・指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・指数関数のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の合成を用いて式を変形することで、既習の形に帰着し、関数の最大値・最小値を求めたり、方程式を解いたりすることができる。 ・指数関数の増減によって、数の大小関係を考察することができる。 ・指数方程式・指数不等式を解くことができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法定理を利用して、様々な公式を導出・証明しようとする。 ・0乗、負の整数乗、分数乗は、指数法則が成り立つように定義されていることを理解し、その定義について考察しようとする。 ・負の数のn乗根に興味をもち、その値が存在するかどうかも含めて具体的に考察しようとする。 	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科 生物(細胞分裂) 地学(地震・星の等級)
12月	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 問題演習	11	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ・対数の性質に基づいて、種々の対数の値の計算ができる。 ・対数関数のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。 ・正の数を$a \times 10^n$の形に表して、常用対数表を用いて対数の値を求めることができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対数関数の増減によって、数の大小関係を考察することができる。 ・対数関数を含む少し複雑な方程式・不等式を解くことができる。 ・おき換えによって既知の問題に帰着することで、対数関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対数関数を含む方程式・不等式について、真数が正であるという条件について、その解との関係をもとに考察しようとする。 	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科 生物(細胞分裂) 地学(地震・星の等級)
1月	第6章 微分法と積分法 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式 4. 関数の増減と極大・極小 演習問題	11	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式を用いて関数の導関数を求めることができる。 ・導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 ・導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲線外の点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えて、接線の方程式を求めることができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図をかいたりコンピュータを利用したりするなどして、微分係数の図形的な意味を積極的に考察しようとする。 ・接線の方程式について、微分係数だけでなく、2次方程式が重解をもつという条件も合わせ、多面的に考察しようとする。 	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通した課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク ・グループ活動 ・発表 	情報科 物理科

2月	5. 関数の増減・グラフの応用 6. 不定積分 7. 定積分 演習問題	11	<p>① 知識・技能 ・導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・定積分の定義を理解し、定積分を計算することができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 ・不等式$f(x) \geq 0$を関数$y=f(x)$の最小値が0以上と読み替えて、不等式を証明することができる。 ・上端がxである定積分を、xの関数と捉えて問題を解決することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・最大値、最小値の条件から定義域を自由に定め、それらから一般的な性質を導き出そうとする。 ・数学の事象や日常の事象について、関数を用いて解決しようとする。</p>	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p> <p>単元テスト 定期試験 提出課題</p> <p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<p>・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動</p> <p>・単元テストを用いた習熟度確認</p>	<p>・ペアワーク ・グループ活動 ・発表</p>	情報科 物理科
3月	8. 定積分と面積 演習問題	10	<p>① 知識・技能 ・グラフとx軸の間の面積を、定積分で表して求めることができる。 ・2曲線の間の面積を、定積分で表して求めることができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・定積分を図形の面積とみることで、定積分の性質を図形的に考察し、説明することができる。 ・放物線と直線の交点の座標が複雑な値であるとき、放物線と直線で囲まれた部分の面積を、定積分の公式を利用するなどして、工夫して求める方法を考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・面積$S(x)$が関数$f(x)$の原始関数の1つであることに興味・関心をもち、考察しようとする。</p>	<p>単元テスト 定期試験 提出課題</p> <p>単元テスト 定期試験 提出課題</p> <p>単元テスト 定期試験 提出課題</p>	<p>・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動</p> <p>・単元テストを用いた習熟度確認</p>	<p>・ペアワーク ・グループ活動 ・発表</p>	情報科 物理科
指導時間数の計		140					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学B		2	全日制・普通科・2年次	NEXT数学B(数研出版)			
科目の目標		<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な 資質・能力の育成 に関わる他教科等 との関連
4月	第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和	6	① 知識・技能 数列の一般項の意味を理解し、一般項から各項を求めることができる。また、ある規則で並んだ数列の一般項をnの式で表すことができる。 等差数列を理解し、具体的に求めることができる。 等差数列の和の公式を導出する過程を理解し、公式を用いて等差数列の和を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通じた課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループ活動 発表 	理科 情報科
			② 思考・判断・表現 数列の一般項を表す式を、定義域が自然数であるnの関数と捉え、新しい概念である数列を、既習の関数と関連付けて考察できる。 数列が等差数列であることの証明について、それが正しい理由を式の特徴と関連付けて説明できる。 項の正負と数列の和の増減の関係から、等差数列の和の最大、最小について考察することができる。 数列の和の増減を、関数の増減と捉えて考察し、項の正負を用いた考察との違いや関連を説明することができる。	単元テスト 定期試験 提出課題			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 数列の特徴を、隣り合う2項の関係に着目して考察しようとする。 数列の一般項の式の形や係数の意味に興味をもち、考察する。 ガウスの逸話も含め、等差数列の和を求める過程に興味をもつ。 等差数列の和の公式を用いて、奇数の和について成り立つ等式を証明しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題			
5月	第1節 等差数列と等比数列 4. 等比数列 5. 等比数列の和	5	① 知識・技能 等比数列の定義と公比について理解し、等比数列の項を求めることができる。 等比数列の一般項の求め方を理解し、具体的に求めることができる。 等比数列の和の公式を導出する過程を理解し、公式を用いて等比数列の和を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通じた課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループ活動 発表 	理科 情報科
			② 思考・判断・表現 条件から等比数列の一般項を決定できる。 等比数列の隣り合う2項の関係から具体的な項を求めることができる。 等比数列の和の条件から初項や公比を求めることができる。またその際、式の特徴を活かして適切に変形したり、式の意味を読み取ったり表現したりできる。	単元テスト 定期試験 提出課題			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 数列の特徴を、隣り合う2項の関係に着目して考察しようとする。また、等比数列を、等差数列と比較しながら考察しようとする。 複利計算について興味をもち、積み立て額や利率を変えたときに、元利合計がどのように変わるのか、その特徴を主体的に調べようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題			
6月	第2節 いろいろな数列 6. 和の記号Σ 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和	8	① 知識・技能 自然数の累乗の和を求めることができる。 和の記号Σの意味を理解し、それを用いて和を求めることができる。 階差数列からもとの数列の具体的な項を求めることができる。 階差数列から数列の一般項が求められる仕組みを理解し、具体的に一般項を求めることができる。数列の和と一般項の関係を理解し、和から一般項を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通じた課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループ活動 発表 	生物 情報科
			② 思考・判断・表現 1つの和を、Σを用いて様々な方法で表現することができる。 数列の第k項をkの式で表すことで、Σを用いて数列の和を求めることができる。 数列の和と一般項の関係を、数列と階差数列の関係と対応させて捉えることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 自然数の和の公式を用いて自然数の2乗の和の公式が導けることに興味をもち、自然数の3乗の和の公式を導こうとする。また、さらに高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。 数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題			
6月 7月	第3節 漸化式と数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	8	① 知識・技能 初項と漸化式から数列のすべての項が定まることを理解している。 漸化式の意味を理解し、数列の具体的な項を求めることができる。 基本的な漸化式からどのような数列であるか読み取り、一般項を求めることができる。 すべての自然数について命題が成り立つことが、数学的帰納法を用いて証明できる仕組みを理解し、数学的帰納法を用いて証明ができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題等を用いた問題演習 グループ活動を通じた課題解決活動 単元テストを用いた習熟度確認 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク グループ活動 発表 	理科 情報科
			② 思考・判断・表現 複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 具体的な事象について、漸化式を求めて考察することができる。 命題の証明について、数学的帰納法の仕組みからその方法を考察することができる。 数学的帰納法で証明した命題について、別の方法で証明してそれらを比較するなど、多面的に考察することができる。	単元テスト 定期試験 提出課題			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 一般項による方法以外にも数列の項を定める方法があることに興味をもち、それらの共通点や相違点などを考察しようとする。 階差数列を用いる方法でも一般項を求めようとし、それらの関係や一般的な性質を考察しようとする。 具体的な事象の考察に、漸化式を積極的に活用しようとする。 様々な命題の証明に数学的帰納法を活用しようとする態度がある。	単元テスト 定期試験 提出課題			

9月 10月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積	10	① 知識・技能 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 簡単な試行について、確率変数の確率分布を求めることができる。 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 また、分散と期待値の公式を用いて求めることができる。 同時分布の意味を理解し、2つの確率変数の同時分布を求めることができる。 確率変数の和の期待値を、公式を用いて求めることができる。 期待値、和の分散を、公式を用いて求めることができる。 ② 思考・判断・表現 確率変数の分散、標準偏差の意味を理解し、分布の特徴について判断することができる。 具体的な事象から確率変数を求め、その期待値について考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。 確率変数の期待値について、公式を用いる方法と用いない方法を比較して検討しようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
11月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 4. 二項分布 5. 正規分布	8	① 知識・技能 3つ以上の独立な確率変数の和や積の期待値、分散を、公式を用いて求めることができる。 二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 標準正規分布の期待値、分散について、既知の公式を用いて証明することができる。 連続型確率変数について、離散型確率変数との違いに注目して捉えようとする。 標準正規分布に従う確率変数について、正規分布表を用いて確率を求めることができる。 二項分布を正規分布で近似して、確率を求めることができる。 一般の連続型確率分布に従う確率変数について、定積分を用いて期待値と分散を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 標準正規分布の期待値、分散について、既知の公式を用いて証明することができる。 標準正規分布に従う確率変数の確率について、分布曲線の特徴に関連付けて説明できる。 正規分布に従う確率変数の確率についての等式を、言葉で正確に表現することができる。 正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 2つの確率変数の確率分布が等しいことに興味をもち、その意味を解釈しようとする。 2つの確率変数の和や積の期待値、分散に関する種々の公式を、確率変数が独立であるかどうかに関心しながら導こうとする。 連続型確率変数について、離散型確率変数との違いに注目して捉えようとする。 現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。 二項分布について、試行の回数nを大きくしたときの分布曲線の変化をコンピュータで見るなどして、正規分布に近づいていく様子を自ら確かめようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
12月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布	6	① 知識・技能 全数調査と標本調査について理解している。 無作為標本の抽出ができる。 母集団分布について理解し、母平均や母標準偏差を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 適切な無作為抽出の方法について理解し、不適切な抽出方法について、その理由を説明できる。 標本の大きさnを大きくしたとき、標本平均がどのような分布になるか、直感的に理解した上で、標準偏差の式と関連付けて説明することができる。 大数の法則について理解し、標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か、またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。 標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し、正規分布で近似することで標本比率についての確率を求めることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科
1月 2月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 8. 推定 9. 仮説検定	6	① 知識・技能 信頼区間の意味を正確に理解している。 母平均、母比率に対する信頼区間を求めることができる。 仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。 棄却域を求める方法で仮説検定ができる。 ② 思考・判断・表現 信頼度95%の信頼区間の求め方やその意味をもとに、信頼度99%の信頼区間を求めることができる。また、その意味について信頼区間の幅をもとに説明することができる。 片側検定と両側検定の違いを理解し、どちらの検定をするか正しく判断できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 母平均や母比率の推定について、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察し、それをもとに実際に適切な推定を行おうとする。 仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題の解決に役立てようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題 単元テスト 定期試験 提出課題	・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科

2月 3月	第3章 数学と社会生活 1. 数学を活用した問題解決 2. 社会の中にある数学 3. 時系列データと移動平均 4. 回帰分析によるデータの分析	13	① 知識・技能 日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するためには、問題を単純にするような仮定が必要であることを理解している。 数学的に問題を解決するのに必要な数値や関数は、調査結果を用いて妥当な値を仮定できることを理解している。 トリム平均の特徴から、スポーツの採点競技にトリム平均を用いる理由を考察できる。 変量xと変量y=ax+tbの平均値、分散、標準偏差の関係を証明できる。 移動平均を用いると長期的な変化の傾向が調べやすくなることを理解している。 移動平均を求めて折れ線グラフに表すことができる。 散布図について理解し、傾向を読み取ることができる。	単元テスト 定期試験 提出課題	・ペアワーク ・グループ活動 ・発表	情報科 地歴公民 体育 理科	
			② 思考・判断・表現 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し、別の仮定を立てて考察することができる。 問題の解決に関数を活用することができる。 問題を解決するのに、グラフを活用することができる。 1日ごとに増加する量について、漸化式を活用して考察できる。 議席の割り振り方について、議席総数を変更したときの変化に注目し、その特徴を考察できる。 周期的に増減するデータでは、移動平均をとる期間をその周期に一致させるとよいことを、その理由とともに理解している。	単元テスト 定期試験 提出課題			・教科書の例題等を用いた問題演習 ・グループ活動を通じた課題解決活動 ・単元テストを用いた習熟度確認
			③ 主体的に学習に取り組む態度 社会生活における問題について、学んだ方法を積極的に活用し、主体的かつ対話的に問題を解決しようとする。 議席を割り振る方法に興味をもち、その方法を調べたりそれぞれの特徴を比較したりしようとする。 社会生活で用いられている数学に興味をもち、自らそれを探したり考察したりしようとする姿勢がある。 時系列データを分析するのに、移動平均を、その正しい理解のもとに積極的に活用しようとする。 回帰分析を活用して、積極的にデータを分析したり予測したりしようとする。	単元テスト 定期試験 提出課題			
指導時間数の計	70						

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学Ⅱ		3	全日制・普通科・3年次	NEXT数学Ⅱ			
科目の目標		各領域における概念を形成し、原理・法則についての理解をいっそう深め、数学的な表現力や論理的な思考力を高めるとともに、事象の考察における探求的な態度と創造的な能力を養う。					
時期	単元・題材名	指導時間数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	式と証明	10	① 知識・技能 二項定理を用いて式の展開や因数分解ができる。多項式の割り算や分数式の計算ができる。恒等式と方程式の違いを理解し、そこにある基本的な概念、原理・法則など基礎的な知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 多項定理などを理解し、式の展開について活用することができる。恒等式の性質を理解し、それを用いて問題解決に使用できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 学習する定理の有用性を認識し、解法に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
5月	複素数と方程式	10	① 知識・技能 虚数の定義を覚え、規則に沿った計算ができる。剰余の定理や因数定理を理解し、高次方程式が解ける。基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 解と係数の関係や組立除法の仕組みを理解し、それらを使って、多くの問題に対して考察し活用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
6月	図形と方程式	10	① 知識・技能 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。 ② 思考・判断・表現 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
7月	三角関数	10	① 知識・技能 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。 ② 思考・判断・表現 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
9月	指数関数と対数関数	10	① 知識・技能 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。 ② 思考・判断・表現 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
10月 ～ 11月	微分法	10	① 知識・技能 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。 ② 思考・判断・表現 関数とその導関数との関係について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
12月 ～ 1月	微分法・積分法	10	① 知識・技能 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。 ② 思考・判断・表現 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 微分と積分の意味を理解し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学Ⅲ		5	全日制・普通科・3年次	NEXT数学Ⅲ(数研出版)			
科目の目標		極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な 資質・能力の育成に 関わる他教科等と の関連
4月～ 5月	第1章 関数 第2章 極限	30	① 知識・技能 数列の極限や関数の値の極限について理解すること。簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めること。 ② 思考・判断・表現 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数列や関数の値の極限に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて 論理立てて説明する。	考えたことを板書し、 論理立てて説明する。
6月	第3章 微分法	25	① 知識・技能 微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めること。合成関数の導関数について理解し、それを求めること。三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、それらを求めること。 ② 思考・判断・表現 導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて 論理立てて説明する。	考えたことを板書し、 論理立てて説明する。
7月～ 11月	第4章 微分法的应用	55	① 知識・技能 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小を求められるようにすること。 ② 思考・判断・表現 グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて 論理立てて説明する。	考えたことを板書し、 論理立てて説明する。
12月 ～ 3月	第5章 積分法とその応用	65	① 知識・技能 不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めること。 ② 思考・判断・表現 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察すること。極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 微分と積分との関係に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて 論理立てて説明する。	考えたことを板書し、 論理立てて説明する。
指導時間数の計		175					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学C		2	全日制・普通科・第3年次	NEXT数学C(数研出版)			
科目の目標		ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 5月 6月	第1章 平面上のベクトル	17	① 知識・技能 平面上のベクトルの意味, 相等, 和, 差, 実数倍, 位置ベクトル, ベクトルの成分表示について理解すること。ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ② 思考・判断・表現 実数などの演算の法則と関連付けて, ベクトルの演算法則を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量や図形及びそれらの関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し, 論理立てて説明する。	
7月 9月	第2章 空間のベクトル	18	① 知識・技能 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 ② 思考・判断・表現 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて, 平面図形や空間図形の性質を見いだしたり, 多面的に考察したりすること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量や図形及びそれらの関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し, 論理立てて説明する。	
10月 11月	第3章 複素数平面	17	① 知識・技能 複素数平面と複素数の極形式, 複素数の実数倍, 和, 差, 積及び商の図形的な意味を理解すること。ド・モアブルの定理について理解すること。 ② 思考・判断・表現 複素数平面における図形の移動などと関連付けて, 複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, コンピュータなどの情報機器を用いて複素数平面の考えを問題解決に活用したり, 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し, 論理立てて説明する。	
12月 1月	第4章 式と曲線	18	① 知識・技能 放物線, 楕円, 双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。曲線の媒介変数表示について理解すること。 ② 思考・判断・表現 放物線, 楕円, 双曲線を相互に関連付けて捉え, 考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, コンピュータなどの情報機器を用いて媒介変数や極座標の考えを問題解決に活用したり, 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し, 論理立てて説明する。	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
数学探究 I	2	全日制・普通科・3年次(文系)	ニューアクションフロンティア数学 I・A (東京書籍)				
科目の目標	数学における基本的な概念の形成と原理・法則の系統的な理解を通して、数学的な見方や考え方の良さを認識し、基礎的な知識の習得と技能の習熟をはかるとともに、それらを的確に活用する能力を伸ばす。						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 ～ 5月	方程式と不等式	14	① 知識・技能 数学的活動を通して、方程式と不等式における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。式の展開や因数分解をすることや、不等式の解を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 式の展開や因数分解、数の体系、不等式を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 式の計算や不等式などに関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	
6月	集合と論証	7	① 知識・技能 いろいろな集合や命題を表現したり、命題を証明したりすることができる。集合と論証に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 いろいろな集合や命題を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 集合と論証に関心をもつとともにその有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	論理国語
6月 ～ 9月	2次関数	21	① 知識・技能 2次関数を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。2次関数に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 2次関数を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、関数的な見方や考え方を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 2次関数に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	物理
10月 ～ 1月	図形と計量	21	① 知識・技能 三角比を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。三角比に関する基本的な性質を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 三角比を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、角の大きさなどを用いて計量を行うための数学的な見方や考え方を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 三角比に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	物理
2月 ～ 3月	データの分析	7	① 知識・技能 データを用いて事象を表現・処理する方法や、データの傾向を把握する技能を身につけている。データの分析に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 データの分布の特徴を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、データを分析するための数学的な見方や考え方を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 データの代表値や散らばり、相関に関心を持ち、それらを事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。 考えたことを論理立てて記述する。	情報 I
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
数学探究Ⅱ		2	全日制・普通科・3年次(文系)	ニューアクションフロンティア数学Ⅱ・B(東京書籍)			
科目の目標		各領域における概念を形成し、原理・法則についての理解をいっそう深め、数学的な表現力や論理的な思考力を高めるとともに、事象の考察における探求的な態度と創造的な能力を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	式と証明	10	① 知識・技能 二項定理を用いて式の展開や因数分解ができる。多項式の割り算や分数式の計算ができる。恒等式と方程式の違いを理解し、そこにある基本的な概念、原理・法則など基礎的な知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 多項定理などを理解し、式の展開について活用することができる。恒等式の性質を理解し、それを用いて問題解決に使用できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 学習する定理の有用性を認識し、解法に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
5月	複素数と方程式	10	① 知識・技能 虚数の定義を覚え、規則に沿った計算ができる。剰余の定理や因数定理を理解し、高次方程式が解ける。基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 解と係数の関係や組立除法の仕組みを理解し、それらを使って、多くの問題に対して考察し活用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
6月	図形と方程式	10	① 知識・技能 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。 ② 思考・判断・表現 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
7月	三角関数	10	① 知識・技能 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。 ② 思考・判断・表現 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
9月	指数関数と対数関数	10	① 知識・技能 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。 ② 思考・判断・表現 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
10月 ～ 11月	微分法	10	① 知識・技能 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。 ② 思考・判断・表現 関数とその導関数との関係について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
12月 ～ 3月	微分法	10	① 知識・技能 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。 ② 思考・判断・表現 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 微分と積分の意味を理解し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
数学探究Ⅲ	2	単位制・普通科・3年(理系)	ニューアクションフロンティア数学Ⅰ・A ニューアクションフロンティア数学Ⅱ・B (東京書籍)				
科目の目標	数学ⅠA・ⅡB全般の各領域における概念を形成し、原理・法則についての理解をいっそう深め、数学的な表現力や論理的な思考力を高めるとともに、事象の考察における探求的な態度と創造的な能力を養う						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 ～ 5月	方程式と不等式(数学Ⅰ) 2次関数(数学Ⅰ) 図形と計量(数学Ⅰ)	12	① 知識・技能 方程式や不等式、2次関数、三角比の意味を理解し、解を求めることができる。数学的活動を通して、方程式や不等式、2次関数、図形と計量における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 方程式や不等式、2次関数、三角比を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 方程式や不等式、2次関数、三角比などに関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。
6月 ～ 7月	図形と計量(数学Ⅰ) 集合と論理(数学A) 図形の性質(数学A)	14	① 知識・技能 三角比や、集合、確率、平面図形の問題について、解を求めることができる。三角比や、集合、確率、平面図形に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 三角比や集合、確率、図形の性質を考察したり、その過程を振り返ったりして、事象の考察に活用することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 図形と計量や集合と論理、図形の性質に関心をもつとともにその有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。
9月	式と証明(数学Ⅱ) 高次方程式(数学Ⅱ) 図形と方程式(数学Ⅱ)	8	① 知識・技能 恒等式や高次方程式、図形と方程式を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。恒等式や高次方程式、図形と方程式を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることを通して、関数的な見方や考え方を身につけている。 ② 思考・判断・表現 恒等式や高次方程式、図形と方程式に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 恒等式や高次方程式、図形と方程式に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。
10月 ～ 11月	図形と方程式(数学Ⅱ) いろいろな関数(数学Ⅱ) 微分・積分(数学Ⅱ)	12	① 知識・技能 図形と方程式や三角関数、指数関数、対数関数、微分・積分を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。図形と方程式や三角関数、指数関数、対数関数、微分・積分に関する基本的な性質を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 図形と方程式や三角関数、指数関数、対数関数、微分・積分を用いて事象を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることを通して、角の大きさなどを活用して計量を行うための数学的な見方や考え方を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 図形と方程式や三角関数、指数関数、対数関数、微分・積分に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。
12月 ～ 3月	微分・積分(数学Ⅱ) 数列(数学B)	16	① 知識・技能 微分・積分や数列、ベクトルを用いて事象を表現・処理する方法や、データの傾向を把握する技能を身につけている。微分・積分や数列、ベクトルに関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 微分・積分や数列、ベクトルの特徴を考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることを通して、データを分析するための数学的な見方や考え方を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 微分・積分や数列、ベクトルに関心をもち、それらを事象の考察に活用しようとしている。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。
12月 ～ 3月	データの分析(数学Ⅰ) 統計的な推測(数学B)	8	① 知識・技能 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴並びに正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法について理解すること。 ② 思考・判断・表現 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方		・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書し、論理立てて説明する。
指導時間数の計		70					

科目名	化学基礎				単位数	2 単位
					使用教科書	化学基礎(実教出版)
					教材等	授業で紹介する
実施学期	通年	対象年次	1年次	選択区分	共通履修	
目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。					
評価の観点の趣旨	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等			
	化学に関する事象・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事象・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	自然界や産業界にある事象・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。	自然の事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。			
授業概要	化学の基本的な概念や原理・法則を通して、物質の性質や変化を微視的な見方でとらえられるようにする。また、実験や観察を通して物質に対する関心を高めるとともに、物質を探究する方法を身に付ける。					
学期	項目・具体的な内容					
前期	化学と人間生活 物質の探究 ・単体、化合物、混合物 物質の探究 ・熱運動と物質の三態 物質の構成 ・原子とその構造、電子配置 物質の構成 ・化学結合					
後期	物質と化学反応式 化学反応式と量的関係 酸と塩基 酸化と還元 イオン化傾向					
備考						

科目名	生物基礎				単位数	2 単位
					使用教科書	生物基礎(啓林館)
					教材等	授業で紹介する
実施学期	通年	対象年次	1年次	選択区分	共通履修	
目 標	(1)日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につける。(知識及び技能) (2)観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力・判断力・表現力) (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。(学び向かう力・人間性等)					
評価の観点の趣旨	知識及び技能	思考力・判断力・表現力		学びに向かう力・人間性等		
	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を学習し、生物に共通している現象等があることを理解している。生物や生物現象に関する観察・実験などを行い、基本的操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	生物や生物現象の中に共通点や課題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。		日常生活の中で社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性や多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身につける。		
授業概要	生物や生物現象についての観察や実験、グループでの探究活動を取り入れ、生物や生物現象に関する関心・探究心を高め、基本的な概念や原理・法則について主体的に学習する。					
学 期	項 目 ・ 具 体 的 な 内 容					
前 期	生物の共通性と多様性 生物とエネルギー 遺伝情報とDNA 遺伝情報とタンパク質の合成 情報の伝達					
後 期	体内環境の維持としくみ 免疫の働き 植生と遷移 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全					
備 考						

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
化学	3	全日制・普通科・3年次	化学704(実教出版)				
科目の目標		化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを旨とする					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・ 能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	2節 非金属元素	8	① 知識・技能 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験11、12において、適切な実験操作を身につけている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働かせ、無機物質の性質についての観察、実験などを通して、無機物質について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
			② 思考・判断・表現 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・実験11、12を探究的にを行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	[行動観察・記録分析]			
4月 ～5月	3節 金属元素	12	① 知識・技能 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・金属イオンについて、それぞれの反応性を理解し、イオンを分離する方法を身につけている。 ・実験13～17において、適切な実験操作を身につけている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働かせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
			② 思考・判断・表現 ・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・実験13～17を探究的にを行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	[行動観察・記録分析]			
5月 ～6月	1節 有機化合物の特徴と分類	7	① 知識・技能 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・実験18において、適切な実験操作を身につけている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働かせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
			② 思考・判断・表現 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・実験18を探究的にを行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。	[行動観察・記録分析]			
6月	2節 脂肪族炭化水素	6	① 知識・技能 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・実験19において、適切な実験操作を身につけている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働かせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
			② 思考・判断・表現 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・実験19を探究的にを行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。	[行動観察・記録分析]			
6月	3節 酸素を含む脂肪族化合物	6	① 知識・技能 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験20において、適切な実験操作を身につけている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働かせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
			② 思考・判断・表現 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・実験20を探究的にを行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	[行動観察・記録分析]			
7月 ～9月	4節 芳香族化合物	18	① 知識・技能 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験21～24において、適切な実験操作を身につけている。	[発言分析・記述分析]	理科の見方・考え方を働かせ、有機化合物の性質についての観察、実験などを通して、有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
			② 思考・判断・表現 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・実験21～24を探究的にを行い、考察することができる。	[発言分析・記述分析]			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	[行動観察・記録分析]			

9月	1節 高分子化合物	6	① 知識・技能 ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。 ② 思考・判断・表現 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・高分子化合物の分類と特徴について探究しようとする。	[発言分析・記述分析] [発言分析・記述分析] [行動観察・記録分析]	高分子化合物についての観察、実験などを通して、合成高分子化合物、天然高分子化合物について理解し、それらの観察、実験などの技能を身に付けるとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
10月	2節 天然高分子化合物	12	① 知識・技能 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている天然高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ② 思考・判断・表現 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・天然高分子化合物について、その構造や性質、存在例を意図的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている天然高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	[発言分析・記述分析] [発言分析・記述分析] [行動観察・記録分析]		・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
11月	3節 合成高分子化合物	12	① 知識・技能 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・合成高分子化合物について、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている合成高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・実験25、26において、適切な実験操作を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 ・実験25、26を探究的にを行い、考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・合成高分子化合物について、その構造や性質、利用のされ方を意図的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている合成高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	[発言分析・記述分析] [発言分析・記述分析] [行動観察・記録分析]		・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
12月	さまざまな物質と人間生活	12	① 知識・技能 ・無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、様々な物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解している。 ② 思考・判断・表現 ・日常生活で利用されている物質について、具体的な例をもとに、克服してきた課題や科学技術の発展について、科学的な根拠に基づいて考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・日常生活で利用されている物質について、その特徴や技術的な背景について、探究しようとする。	[発言分析・記述分析] [発言分析・記述分析] [行動観察・記録分析]		・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
1月	化学が築く未来	6	① 知識・技能 ・資源、エネルギー、情報、生命、環境、材料などに関連する先端の化学に着目して、化学の成果が様々な分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。 ② 思考・判断・表現 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例をもとに考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、科学技術や利用の未来を考察し、探究しようとする。	[発言分析・記述分析] [発言分析・記述分析] [行動観察・記録分析]	理科の見方・考え方を働かせ、化学が果たす役割について、日常生活や社会と関連付けながら理解するとともに、思考力、判断力、表現力等を育成する。	・ペアワーク ・グループワーク ・発表 ・レポート作成	・国語(レポート作成)
指導時間数の計		105					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
地学		2	全日制・普通科・2年次	高等学校 地学(啓林館)			
科目の目標		地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
10～11月	第1部 固体地球の概観と活動 第1章 地球の概観	25	① 知識・技能 地球の形状や内部構造について、地球の形状と重力との関係、地磁気の特徴とその働き、地球内部の構造、地球内部の温度、密度、圧力及び構成物質の組成を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 地球の形状や内部構造について、観察、実験などを通して探究し、地球の形状や内部構造の特徴を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学:数値的な処理や計算 ・英語:語句の理解 ・国語:語句の理解 ・社会:環境問題との関連
12～翌年1月	第1部 固体地球の概観と活動 第2章 プレートテクトニクス	25	① 知識・技能 地球の活動と歴史について、プレートテクトニクスとその成立過程を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 地球の活動と歴史について、観察、実験などを通して探究し、地球の活動の特徴と歴史の概要を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学:数値的な処理や計算 ・英語:語句の理解 ・国語:語句の理解 ・社会:環境問題との関連
2～3月	第1部 固体地球の概観と活動 第3章 地球の活動	20	① 知識・技能 地球の活動と歴史について、プレート境界における地震活動の特徴、それに伴う地殻変動、島弧-海溝系における火成活動の特徴、変成作用と変成岩の特徴を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 地球の活動と歴史について、観察、実験などを通して探究し、地球の活動の特徴と歴史の概要を見いだして表現している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。	テスト、提出物、行動観察	講義 演習 調べ学習 生徒発表	ペアワーク グループワーク 発表	・数学:数値的な処理や計算 ・英語:語句の理解 ・国語:語句の理解 ・社会:環境問題との関連
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
地学基礎		2	全日制・普通科・3年次	高等学校 地学基礎(第一学習社)			
科目の目標		<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)</p>					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力 の育成に関わる他教科等との 関連
4～6月	第4章 宇宙と地球	25	<p>① 知識・技能 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、宇宙の誕生、太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、自然環境の保全の重要性について認識している。</p> <p>② 思考・判断・表現 宇宙、太陽系と地球の誕生について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。</p>	<p>テスト、提出物、行動観察</p> <p>テスト、提出物、行動観察</p> <p>提出物、行動観察</p>	<p>講義 演習 調べ学習 生徒発表</p>	<p>ペアワーク グループワーク 発表</p>	<p>・数学:数値的な処理や計算 ・英語:語句の理解 ・国語:語句の理解 ・社会:環境問題との関連</p>
7～10月	第5章 生物の変遷と地球環境	25	<p>① 知識・技能 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、古生物の変遷に基づいた地質時代の区分や大気の変化と生命活動の相互の関わりを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、自然環境の保全の重要性について認識している。</p> <p>② 思考・判断・表現 古生物の変遷と地球環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。</p>	<p>テスト、提出物、行動観察</p> <p>テスト、提出物、行動観察</p> <p>提出物、行動観察</p>	<p>講義 演習 調べ学習 生徒発表</p>	<p>ペアワーク グループワーク 発表</p>	<p>・数学:数値的な処理や計算 ・英語:語句の理解 ・国語:語句の理解 ・社会:環境問題との関連</p>
11～翌年3月	第6章 地球の環境	20	<p>① 知識・技能 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、地球環境の変化とその仕組みや、日本の自然環境、それらがもたらす恩恵や災害など自然環境と人間生活との関わりを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、自然環境の保全の重要性について認識している。</p> <p>② 思考・判断・表現 地球環境の科学や日本の自然環境について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとし、自然環境の保全に寄与しようとしている。</p>	<p>テスト、提出物、行動観察</p> <p>テスト、提出物、行動観察</p> <p>提出物、行動観察</p>	<p>講義 演習 調べ学習 生徒発表</p>	<p>ペアワーク グループワーク 発表</p>	<p>・数学:数値的な処理や計算 ・英語:語句の理解 ・国語:語句の理解 ・社会:環境問題との関連</p>
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
生物	5	全日制・普通科・3年次	高等学校 生物(第一学習社)				
科目の目標	(1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能) (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力・判断力・表現力) (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う・生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則を、科学的な観点より理解する(学びに向かう力・人間性等)						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な 資質・能力の育成に 関わる他教科等との 関連
4・5月	遺伝情報とその発現	30	① 知識・技能 ・DNAの複製のしくみを理解している。 ・遺伝子の発現について理解している。 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度 遺伝情報とその発現に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究している。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	・DNAの分子構造 ・半保存的複製のしくみ、DNAポリメラーゼの働き ・RNAの構造 ・転写のしくみ、RNAポリメラーゼの働き ・センス鎖とアンチセンス鎖 ・スプライシング ・遺伝暗号表 ・翻訳の過程 ・原核生物における転写・翻訳		保健体育
6・7月	遺伝子の発現と調節	30	① 知識・技能 ・実験観察に関する器具の取り扱いが見についている。 ・遺伝子の発現が調節されていることを見出して理化している。 ② 思考・判断・表現 ・資料から状況に応じて遺伝子の発現が調節されていることや、胚の領域ごとに異なる遺伝子が発現することについて考察できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・発生と遺伝子発現に関する事象・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	・調節タンパク質 ・原核生物における遺伝子の発現調節 ・真核生物における遺伝子の発現調節 ・動物の配偶子形成、受精、卵割(観察1) ・カエルの発生の過程 ・細胞の分化と遺伝子の発現調節 ・形成体と誘導 ・器官形成と遺伝子の発現調節 ・脊椎動物と節足動物におけるボディプランの多様性、共通性	・遺伝子の発現が調節されていることを見いだす(資料10) ・発生過程における分化と遺伝子の発現調節の関係(資料11)	公民
9・10月	遺伝子を扱う技術とその応用	30	① 知識・技能 ・遺伝子を扱う技術の原理と有用性を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・細胞への遺伝子導入を行い、遺伝子の発現調節について考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・遺伝子を扱う技術に関する事象・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	・制限酵素、ベクター、プラスミド ・クローニング、PCR法 ・遺伝子の構造、発現、機能を解析する方法 ・GFP遺伝子の導入による遺伝子の発現調節の確認(実験9) ・食糧生産への応用 ・医療への応用 ・遺伝子を扱う際の課題		公民
11・12月	動物の反応と行動	30	① 知識・技能 ・外界の刺激を受容し、神経系を介して反応するしくみを関与する細胞の特性と関連づけて理解している。 ・盲斑検査の過程を適切に行うことができる。 ・動物の行動には生得的なものと習得的なものがあることを理解している。 ② 思考・判断・表現 ・資料から、運動ニューロンの活動電位と筋収縮の関係を考慮することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 動物の反応と行動に関する事象・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	ニューロン、神経系 ・静止電位、活動電位 ・興奮の伝導、伝達 ・受容器(眼、耳、鼻)(実験10) ・中枢神経系 ・効果器 ・ニューロンの活動電位と筋収縮のしくみの関係(資料12) ・筋収縮のしくみ		
1・2月	植物の成長と環境応答	30	① 知識・技能 ・植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを理解している。 ・被子植物の配偶子形成と受精、胚の形成過程について理解している。 ② 思考・判断・表現 ・ダイコンの芽生えがリンゴの果実から受ける影響について仮説から考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・植物の成長と環境応答に関する事象・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	植物ホルモン、光受容体 ・被子植物の受精、胚発生 ・種子の休眠と発芽 ・光発芽種子 ・植物の成長、屈性 ・気孔の開閉 ・花芽形成のしくみ ・ABCモデル ・果実の成熟、落葉・落果		家庭科
2・3月	生態系のしくみと人間の関わり	25	① 知識・技能 ・個体群が維持されているしくみや個体間の関係性を理解している。 ・生物群集が維持されるしくみや個体群間の関係性を見出して理解している。 ・生態系における物質の循環とエネルギーの流れについて理解している。 ② 思考・判断・表現 ・個体群の変動影響を与える要因を見出し、仮説を検証することができる。 ・2種を混合培養した実験の結果から異種間でも競争があることを見出せる。 ・人間活動が生態系に与えている影響を考察することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・生態系のしくみと人間のかかわりに関する事象・現象に主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決することができる。	ノート・観察 ノート・観察・レポート ノート・観察	・個体群の大きさ、構成 ・個体群が維持されるしくみや個体群間の関係性を見いだす(観察2、観察3) ・競争と個体群密度 ・種間競争、共生 ・物質生産 ・生産構造図の作成(観察4) ・炭素の循環、窒素の循環 ・生物多様性 ・人間活動が生態系に及ぼす影響 ・化学肥料の使用が生態系に及ぼす影響を見いだす(資料16) ・生態系サービス ・生態系保全の取り組み ・生態系に影響を与える人間活動と保全の取り組みの調査(調査1)	・生物群集が維持されるしくみや個体群間の関係性を見いだす(資料14) ・物質循環とエネルギーの移動の関係(資料15)	保健体育 家庭科 公民
指導時間数の計		175					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
物理	5	全日制・普通科・3年次	総合物理2-波・電気と磁気・原子-(数研出版)				
科目の目標	(1)物理学の基本概念・自然界の法則についての知識と理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2)観察、仮説、実験を通して法則性を見いだすなど、科学的に探究する力を養う。 (3)自然界のあらゆる現象に興味関心を持って主体的に関わり、科学的に応用・探究しようとする態度を養う。						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第3編 波 1. 波の性質 (1)波と媒質の運動 (2)正弦波の式 (3)波の伝わり方	12	① 知識・技能 ・波の発生原理や縦波と横波の違いを理解し、縦波を横波の形で表現できる。 ・位相ずれや進行方向の違いも考慮し、正弦波の式を正しく表すことができる。 ・定在波の生じるしくみ、実験・観察を通して波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について、水面波の干渉で強めあう点と弱めあう点の条件、波の反射屈折の法則等を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・波の基本事項について説明できる。 ・正弦波の式に $x=0$ 、 $t=2T$ を代入した式について、何を表す式かを説明することができる。 ・強めあう条件と弱めあう条件を説明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な波の現象に興味をもち、発生原理や基本事項を理解しようとしている。 ・正弦波を数式で表す方法について理解しようとしている。 ・波の干渉や反射屈折回折などの波の伝わり方に興味をもち、水面波の干渉や水面波の反射と屈折・水面波の回折の実験に主体的に取り組んでいる。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	*物理基礎、物理「円運動」の復習 実験1 縦波・横波 実験2 重ねあわせの原理 実験3 反射・定在波 実験4 ホイヘンスの原理、屈折、回折	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健体育・地歴公民 ・地学(地震、津波)
5月	2. 音 (1)音の伝わり方 (2)発音体の振動と共振 (3)音のドップラー効果	16	① 知識・技能 ・音の干渉について音が強めあう条件と弱めあう条件を理解し、うなりについて干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。 ・弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解している。 ・ドップラー効果の式を用いて、観測者が動く音の振動数を求めることができる。 ② 思考・判断・表現 ・音は空気などの媒質が必要であること、冬の良(晴れた夜に遠くの音がよく聞こえる理由)を説明することができる。 ・弦楽器の音にはどのようなことが関係しているか、倍音とは、気温と振動数の関係等学習内容を踏まえ考えよう。 ・運動している音源から出る音の波長が音源の前方と後方でどのように変化するか、観測者が動く場合のドップラー効果がなぜ起きるか、説明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・音が関係する現象に興味をもち、音の性質と音の伝わり方について理解しようとしている。 ・弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べるることができる。 ・身近な現象である音のドップラー効果に興味をもち、なぜそのような現象が起こるか理解しようとしている。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	*物理基礎の復習 実験5 音の三要素 観察 実験6 可聴音と超音波 実験7 音の干渉 実験8 弦の共振 実験9 気柱の共振 実験10 楽器 実験11 回転プーザのドップラー効果 実験12 水面波のドップラー効果	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健体育・音楽 (音波、楽器)
6月	3. 光 (1)光の性質 (2)レンズと鏡 (3)光の回折と干渉	16	① 知識・技能 ・光の反射、屈折、分散、散乱、その際に成り立つ法則を理解している。 ・レンズと鏡によって生じる像を作図すること、写像公式を利用して凸レンズの焦点距離を測定することができる。 ・ヤングの実験、回折格子、薄膜、くさび形空気層、ニュートンリングのそれぞれの光の干渉条件を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・媒質の境界面で屈折するからどちらの媒質が光が速いか判断でき、プリズムで白色光が分散する理由を説明することができる。 ・凸レンズの上半分をおおった像がどうなるか、焦点距離の外側に物体を置くとどのような像が生じるか、説明することができる。 ・回折格子の波長や格子定数を変えたときの明線の間隔の変化、ヤングの実験で光が強めあうときの条件、媒質の屈折率と光路長の関係、くさび形空気層の平面ガラスに力を加えたときの縞の変化、について説明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・光についての基本事項と光の進み方について理解しようとしている。 ・レンズや鏡に興味をもち、どのような像ができるか理解しようとしている。 ・ヤングの実験や回折格子の干渉実験に主体的に取り組んでいる。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	*物理基礎の復習 実験13 虹、青空の原理 実験14 レンズの利用 実験15 ヤングの実験 実験16 分光器の製作	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・保健体育・美術 ・情報・地学 (光、鏡、恒星)
7月	第4編 電気と磁気 1. 電界と電位 (1)静電気力 (2)電場 (3)電位 (4)物質と電場 (5)コンデンサー	18	① 知識・技能 ・帯電のしくみや電気量、電気量保存の法則やクーロンの法則を理解し、関係式を正しく適用できる。 ・電場がベクトル量であることを理解し電場の向きや強さを求めることができ、電気力線を理解している。 ・電位、等電位線(面)を理解している。 ・静電誘電率を理解している。 ・コンデンサーの基本公式、誘電体をはさんだとき、直列並列接続、充電放電のしかたを、正しく理解している。 ② 思考・判断・表現 ・電荷間の距離はたらく静電気力との関係、静電誘導及び誘電分極の現象を、説明できる。 ・電位はスカラ量、電気力線と等電位線の関係、を説明できる。 ・電場中の導体内側の電場と電位、アース線の役割、を説明できる。 ・平行板コンデンサーの充電のメカニズム、誘電体をはさんだときの電気容量を、説明することができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・身近な現象から、静電気の現象に興味・関心をもち、さまざまな静電気現象について理解しようとしている。 ・電気的な力が及ぶ空間である電場、電位、静電誘導などの事例、について興味・関心を示し、電場と電位の違いについて理解しようとしている。 ・コンデンサーの性質などを理解しようとしている。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	*物理基礎の復習 実験17 箔検電器 実験18 等電位線 実験19 静電誘導、静電モーター 実験20 コンデンサーの静電容量	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・技術・情報 (電気回路)
9月	2. 電流 (1)オームの法則 (2)直流回路 (3)半導体	12	① 知識・技能 ・オームの法則をはじめとする基本式、ジュール熱や電力・電力量について、理解している。 ・抵抗の直列接続と電流電圧の関係、電圧計・電流計や分流量・倍率、キルヒホッフの法則、電池の起電力や内部抵抗の関係やホイートストンブリッジや電位差計など未知の抵抗値や起電力を調べる方法、を理解している。 ・ダイオードやトランジスタのしくみはたらくを理解している。 ② 思考・判断・表現 ・電圧降下とは、温度と抵抗率の関係について、説明することができる。 ・電圧計に含まれる内部抵抗の大きさを大きくする理由、電池の起電力や内部抵抗、について説明できる。 ・半導体のキャリアについて理解し、整流作用について説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・電流の流れ方は物質の種類やつなぎ方によってどのように異なるかということに興味をもっている。 ・半導体に興味・関心をもつことができる。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	*物理基礎の復習 実験21 電力の熱作用 実験22 ホイートストンブリッジ 実験23 ダイオードの特性	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・技術・情報 (電気回路) ・化学 (電気分解、電池)
9~10月	3. 電流と磁場 (1)磁場 (2)電流のつくる磁場 (3)電流が磁場から受ける力 (4)ローレンツ力	16	① 知識・技能 ・磁気力に関するクーロンの法則や磁場の定義の中で磁気量がどのように使われているか理解している。 ・直線・円形・ソレノイドの電流が作る磁場を理解している。 ・フレミングの左手の法則、「透磁率・比透磁率・磁束密度・磁束」、平行電流が及ぼす力、を理解している。 ・ローレンツ力、「ホール効果・サイクロトロン」を理解している。 ② 思考・判断・表現 ・磁石の性質について理解し、説明できる。 ・直線電流や円形電流が作る磁場について説明できる。 ・磁束密度と磁場の関係を説明でき、フレミングの左手の法則を用いて電流の流れる導線がどの向きに力を受けるかを判断できる。 ・磁場中を運動する荷電粒子の運動を説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・磁石の性質に興味をもち、身近なものとの関連を考えることができる。 ・電流で生じる磁場の向きを観察、実験に主体的に取り組んでいる。 ・モーターの原理、電流が磁場から受ける力について理解しようとしている。 ・ローレンツ力のローレンツ力の例に興味・関心を示し、理解しようとしている。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	*物理基礎の復習 実験24 磁石による磁場観察 実験25 電流による磁場観察 実験26 電流同士にはたらく力 実験27 モーター 実験28 カタリスト管による荷電粒子にはたらく力	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・地歴公民 (技術史・環境) ・家庭科 (生活器具・環境) ・技術・情報 (電気回路) ・地学(惑星)
10月	4. 電磁誘導と電磁波 (1)電磁誘導の法則 (2)自己誘導と相互誘導 (3)交流回路 (4)交流回路 (5)電磁波	18	① 知識・技能 ・検流計を用いた誘導電流、渦電流の効果を確認できる。 ・自己誘導や相互誘導などの関係式を適用できる。 ・交流電圧電位の式や位相差、リアクタンスやインピーダンス、共振回路や電気共振、を理解している。 ・電磁波も回折と干渉・反射・屈折の性質を示すことを理解している。 ② 思考・判断・表現 ・レンズの法則について説明できる。 ・自己誘導起電力の大きさを表す式をファラデーの電磁誘導の法則の式から、コイルに蓄えられるエネルギーと電流の関係を、説明できる。 ・抵抗・コイル・コンデンサーに流れる交流電流に対する位相差を説明できる。 ・電磁波の発生原理について説明できる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・電磁誘導や渦電流の実験に主体的に取り組んでいる。 ・変圧器を例に、自己誘導・相互誘導に学習する意欲・関心をもっている。 ・コイルやコンデンサーでの電圧・電流の位相差に興味をもち、交流回路について理解しようとしている。	ノート、授業観察、小テスト、考査テスト	実験29 電磁誘導、交流発電機 実験30 自己誘導 実験31 共振回路	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・技術・情報 (電気回路)

11月	第5編 原子 1. 電子と光 (1) 電子 (2) 光の粒子性 (3) X線 (4) 粒子の波動性	16	<p>① 知識・技能 ・放電(気体放電、真空放電)および陰極線、比電荷、ミリカンの実験を踏まえた電気素量の導出、を理解している。 ・光子のエネルギーの式、光電効果、電子ボルト単位を理解適用できる。 ・X線の性質・特徴、X線回折、コンプトン効果、を理解している。 ・物質波、電子線の回折や干渉、を理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・電子の比電荷と電気素量の値から電子の質量をどのように求めるか説明できる。 ・光電効果の原理を踏まえて、考え、説明することができる。 ・X線回折とコンプトン効果を、波動性と粒子性で説明できる。 ・電子の波動性について説明できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・電子の発見、電荷や質量の測定、電子の性質、を理解しようとしている。 ・光の粒子性に興味・関心を示し、光電効果の原理を理解しようとしている。</p>	ノート、授業観察、小テスト、調査子 スト	実験32 放電管、陰極線 実験33 光電効果	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・地学(宇宙)
	2. 原子と原子核 (1) 原子の構造とエネルギー単位 (2) 原子核 (3) 放射線とその性質 (4) 核反応と核エネルギー (5) 素粒子	16	<p>① 知識・技能 ・連続・線スペクトル、ボーア理論(量子条件・振動条件)、を理解している。 ・「原子・原子核」記号から、陽子・中性子の数を求めることができ、同位体について理解している。 ・放射性崩壊による原子核の変化、半減期、単位の定義、を理解している。 ・核反応によって放出されるエネルギーを求めることができ、核分裂反応・核融合反応について理解している。 ・素粒子の分類について理解している。</p> <p>② 思考・判断・表現 ・電子のエネルギー単位について理解し、説明できる。 ・原子核の構成から同位体どうしの相違点について説明できる。 ・α線がγ線の正体や、α崩壊β崩壊のしくみを説明できる。 ・核反応の前後で原子核の質量の和が減少、質量差に相当するエネルギーが解放されることを定量的に説明できる。 ・ハドロンがどのような粒子で構成され、どのような力がはたらいているかを説明できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ・原子に興味・関心を示し、構造とエネルギー単位も理解しようとしている。 ・原子核について理解しようとしている。 ・「放射線」と「放射性物質」の意味の違いに興味・関心を示し、放射線とその性質について理解しようとしている。 ・莫大な量のエネルギーがなぜ取り出せるのか興味・関心を示し、理解しようとしている。 ・物質の最小単位、自然界にはどのような力が存在するか興味・関心を示し、理解しようとしている。</p>	ノート、授業観察、小テスト、調査子 スト	実験34 黒い尖(吸収線) 実験35 霧箱	・班別実験による討議、発表、レポート作成 ・発問に対する個別解答	・地学(宇宙) ・技術(原子力)
12~3月	演習	35	<p>① 知識・技能</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p>	模擬試験(毎時) 模擬試験(毎時) 授業観察	-	-	-
指導時間数の計		175					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
生物探究	2	全日制・普通科・3年次	センサー生物基礎(啓林館)				
科目の目標	<p>・生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則を、科学的な観点より理解する(知識及び技能)</p> <p>・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物をとりまく環境について考え、適切に判断する。また、考えた事を文章や図を用いて表現することができるようにするとともに、一つの文章や図から発展的なことを考えたりすることができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>・積極的に観察・実験・発表などに取り組み、生物学について学習したことを日常生活にいかし、より良い方向に向かうよう行動することに意欲的になることができる。(学びに向かう力・人間性等)</p>						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	用語・要点の確認	6	<p>① 知識・技能 生物基礎で学習した内容で扱った用語や要点を復習し、基本的な概念を復習する。</p> <p>② 思考・判断・表現 生物基礎で学習した内容を、日常生活との関連を考えながら思考する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 生物についての基本的な概念や法則などを積極的に学習しようとする。</p>	<p>観察・小テスト</p> <p>発言</p> <p>観察</p>	・生物基礎全般の重要事項		
5月	細胞と酵素	8	<p>① 知識・技能 生物の構成単位である細胞について学習を深める。特に細胞の共通性や細胞周期についての理解を深め、マイクロメーターを用いた測定を修得する。酵素の特徴を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 1回の細胞分裂により細胞が2倍に増えるという概念から、細胞周期にかかる時間をグラフや表から判断することができる。酵素と無機触媒の違いについてグラフなどから思考・判断できる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 細胞周期や酵素について、関心をもって意欲的に学習する。</p>	<p>ノート・観察</p> <p>プリント・観察</p> <p>観察</p>	・マイクロメーターを用いた観察 ・細胞周期 ・酵素の特徴	発表・相談	
6月	腎臓と塩類濃度調節について	8	<p>① 知識・技能 腎臓の構造と機能、水生生物の塩類濃度調節のしくみを理解できる。</p> <p>② 思考・判断・表現 腎臓が塩類濃度の調節に果たす役割だけでなく、水生生物の塩類濃度調節のしくみも考えることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 腎臓の構造と機能に関心を持ち、それらの器官が体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。</p>	<p>レポート</p> <p>レポート</p> <p>観察・レポート</p>	・腎臓の働き ・塩類濃度調節の観察		家庭科(塩分調整)
7月	血液の循環と酸素解離濃度について	6	<p>① 知識・技能 血球を観察し、血球を区別することができる。体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液(血液・リンパ液・組織液)の成分やはたらき、循環系を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働きを考えることができる。酸素解離曲線のグラフから肺と組織での酸素の受け渡しについて考察できるようにする。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液のはたらき、循環に興味を持つ。</p>	<p>プリント</p> <p>プリント</p> <p>観察・レポート</p>	・体内環境の恒常性が保たれているしくみを理解する。 ・血液のはたらき、循環 ・酸素解離曲線	発表・相談	
9月	遺伝子について	8	<p>① 知識・技能 DNAの塩基配列と遺伝子、ゲノムの関係について正しく理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 塩基組成についてシャルガフの法則を用いて、思考判断することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。遺伝子の発現の調節によって細胞の分化が起こることに関心を持つ。</p>	<p>発言</p> <p>ノート</p> <p>観察・ノート</p>	・遺伝情報になう物質としてのDNAの特徴について理解する。		
10月	遺伝情報とタンパク質の合成	8	<p>① 知識・技能 セントラルドグマで遺伝情報の方向を確認し、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。</p> <p>② 思考・判断・表現 遺伝情報が、DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列に転写され、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。タンパク質が生命現象と関連して多様なはたらきをしていると考えることができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。日常生活と関連付けて遺伝子とタンパク質に関心を持つ。</p>	<p>プリント</p> <p>プリント</p> <p>観察・レポート</p>	・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。		

11月	自律神経系と恒常性 内分泌系	8	① 知識・技能 自律神経にははたらきの対立する二種類の神経系、交感神経系と副交感神経系があり、器官の活動はこの二種の神経支配を受けていることを理解する。特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞にはたらく。ホルモン量はフィードバック調節されている。	ノート・発言	・体内環境の恒常性の維持に自律神経がどのようにかかわっているかを学ぶ。	発表・相談	保健体育(自律神経)
			② 思考・判断・表現 動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。ホルモンによる調節についてグラフや実験例を見て正しく思考判断することができる。	発言・観察			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。	観察			
12月	免疫の働き	6	① 知識・技能 生体防御には異物に対する非特異的な防御(侵入阻止、自然免疫)と特異的な防御(獲得免疫)があり、それぞれしくみが異なっている。	プリント・発言	・免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて理解する。		保健体育・家庭科(免疫)
			② 思考・判断・表現 病原菌などの異物の認識、排除して体内環境を守るしくみにかかわる細胞について実験例などから正しく思考判断することができる。	レポート・発言			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 日常生活や社会問題と関連させて、免疫とそれにかかわる社会問題について調べようとする。	観察			
1月	植生と遷移	6	① 知識・技能 植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光があり、植物遷移にも関係していることを理解する。	プリント	・植物は、周囲の環境とどのようにかかわっているかを学ぶ。		地理(植生)
			② 思考・判断・表現 植物遷移の様子や環境を構成する要素から、過去の植生やこれから推測される様子を考えることができる。	発言			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 人間の生活と植物が大きく関わっていることに興味をもつことができる。	観察			
2・3月	生態系とその保全	6	① 知識・技能 生態系とその保全についての考えをまとめ、発表することができる。	レポート	・自分の興味・関心に基づいて生態系とその保全について学び探究し、まとめる。	発表・相談	
			② 思考・判断・表現 生態系とその保全について例をあげて考えたり、現在の状況になっている原因や、これから起こりうることを推測し、表現できる。	レポート・発言			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 これからの生活において、自らは何が出来るかを軸に学習に取り組むことができる。	観察			
指導時間数の計		70					

科目名	体育				単位数	2	単位
					使用教科書		
					教材等		
実施期間	通年	対象年次	1・2年次	選択区分	共通履修		
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。						
評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。			
授業概要	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。【基礎編】※体育館の使用の可否によって学習内容の変更があります。						
学期	月	項目・具体的な内容					
		1年次		2年次			
前期	4月	オリエンテーション, 集団行動, 体づくり		オリエンテーション, 集団行動, 体づくり			
	5月	ソフトボール(男A), 柔道(男B), バレーボール(女)	ソフトボール・ソフトテニス(男), バasketボール・バドミントン(女)				
	6月	柔道(男A), ソフトボール(男B), バレーボール(女)	バレーボール・バasketボール(男), ソフトテニス・バレーボール(女)				
	7月	水泳		水泳【体育理論③】			
	9月	バasketボール(男A), バレーボール(男B) ソフトテニス(女), 【体育理論①】	ソフトテニス, バレーボール, ソフトボール【選択】(男女共習) 【体育理論③】				
後期	10月	バasketボール(男A), バレーボール(男B) ソフトテニス(女)	ソフトテニス, バレーボール, ソフトボール【選択】(男女共習)				
	11月	長距離走, バレーボール(男A), バasketボール(男B) サッカー(女)	ソフトテニス, バレーボール, ソフトボール【選択】(男女共習) 長距離走				
	12月	バレーボール(男A), バasketボール(男B) サッカー(女)	長距離走				
	1月	サッカー(男), バasketボール(女)	バドミントン, 卓球, ダンス【選択】(男女共習)				
	2月	サッカー(男), バasketボール(女), 【体育理論①】	バドミントン, 卓球, ダンス【選択】(男女共習)				
	3月	サッカー(男), バasketボール(女)	バドミントン, 卓球, ダンス【選択】(男女共習)				
備考							

科目名	保健				単位数	1 単位
					使用教科書	図説 現代高等保健(大修館)
					教材等	現代高等保健体育ノート
実施期間	通年	対象年次	1・2年次	選択区分	共通履修	
目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。					
評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。			
授業概要	健康的な生活習慣を身につけたり、健康に好ましい環境をつくるための知識と能力を高めたりする。生涯を通じた健康づくりの基礎を学ぶ。					
学期	月	項目・具体的な内容				
		1年次			2年次	
前期	4月	現代社会と健康 (健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた)			生涯を通じる健康 (ライフステージと健康、思春期と健康)	
	5月	現代社会と健康 (がんの原因と予防、がんの治療と回復、生活習慣病の予防と回復)			生涯を通じる健康 (性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康)	
	6月	現代社会と健康 (食事と健康、運動と健康、休養・睡眠と健康)			生涯を通じる健康 (避妊法と人工妊娠中絶、結婚生活と健康)	
	7月	現代社会と健康 (喫煙と健康、飲酒と健康)			生涯を通じる健康 (中高年期と健康、働くことと健康)	
	9月	現代社会と健康 (薬物乱用と健康)			生涯を通じる健康 (労働災害と健康、健康的な職業生活)	
後期	10月	現代社会と健康 (精神疾患の特徴、精神疾患の予防)			健康を支える環境づくり (大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康)	
	11月	現代社会と健康 (現代の感染症、感染症の予防、性感染症・エイズとその予防)			社会生活と健康 (環境と健康にかかわる対策、ごみの処理と上下水道の整備)	
	12月	現代社会と健康 (健康に関する意思決定・行動選択、健康に関する環境づくり)			社会生活と健康 (食品の安全性、食品衛生にかかわる活動)	
	1月	安全な社会生活 (事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通における安全)			社会生活と健康 (保健サービスとその活用、医療サービスとその活用)	
	2月	安全な社会生活 (応急手当の意義とその基本、心肺蘇生法)			社会生活と健康 (医療品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策)	
	3月	安全な社会生活 (日常的な応急手当)			社会生活と健康 (健康に関する環境づくりと社会参加)	
備考						

科目名	体 育				単位数	3	単位
					使用教科書		
					教材等		
実施期間	通年	対象年次	3年次	選択区分	共通履修		
目 標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。						
評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。			運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。		
授業概要	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。【基礎編】※体育館の使用の可否によって学習内容の変更があります。						
学 期	月	項 目 ・ 具 体 的 な 内 容					
前 期	4月	オリエンテーション, 集団行動, 体づくり					
	5月	ソフトボール・ソフトテニス(男), バスケットボール・バドミントン(女)					
	6月	バレーボール・バスケットボール(男), ソフトテニス・バレーボール(女)					
	7月	水泳【体育理論③】					
	9月	ソフトテニス, バレーボール, ソフトボール【選択】(男女共習) 【体育理論③】					
後 期	10月	ソフトテニス, バレーボール, ソフトボール【選択】(男女共習)					
	11月	長距離走					
	12月	バドミントン, 卓球, ダンス【選択】(男女共習)					
	1月	バドミントン, 卓球, ダンス【選択】(男女共習)					
	2月						
	3月						
備 考							

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)		
英語コミュニケーション I		4	全日制・普通科・1年次	Heartning English Communication I		
CAN-DOリストに基づく 年度末の学習到達目標		R: 英検準2級レベルの初見の英文を、パラグラフ毎の要点を理解し、さらには話の展開に注目しながら概要を理解できる。 L: 教科書本文を聞いて、概要を理解できる。相手の発表や意見を聞いて、疑問点などを用意することができる。 W: 身近な話題について、60語以上の内容のまとまりのある文章を書くことができる。与えられたテーマについて1パラグラフエッセイを指定時間内に書くことができる。 S(Production): 社会的な話題に沿って調べたものや考案したものについて英語で簡単なプレゼンテーションができる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができる。英検準2級レベルのラスト描写、ストーリー説明問題で合格点を取ることができる。 S(Interaction): 教科書の内容をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどをわかりやすく伝え合うことができる。英検準2級レベルの自由応答問題で合格点を取ることができる。				
時期	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・ 能力の育成に関わる他教 科等との関連
4月 2週 ～4週	Lesson 1 Bringing Out the Best in Himself	12	・夢を実現したスポーツ選手のストーリーを友人に伝える。 ・インタビューをもとに新聞記事を書く。	・部活動に関するインタビューを聞く。 ・友人にインタビューをする。 ・スポーツ選手の成功を友人に伝える。 ・インタビューした情報を整理して、記事を書く。 [言語材料] ・現在形／過去形／進行形 ・未来表現	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト (音読) ・単元テスト ・一斉査査	自主・自立・協働の精神(道徳)
5月 1週 ～3週	Lesson 2 Hold On, Anzu!	10	・トイプードルの警察犬アンズについてテレビでレポートする。 ・トイプードルの警察犬アンズについて感想を述べる。	・トイプードルの警察犬に対する生徒たちの感想を聞く。 ・ほかの人のプレゼンテーションに質問をする。 ・トイプードルの警察犬について感想を述べる。 ・プレゼンテーションの原稿を書く。 [言語材料] ・現在完了形／現在完了進行形 ・過去完了形／過去完了進行形	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・エッセイライティング ・単元テスト ・一斉査査	生命尊重(道徳)
5月 4週 ～6月2週	Lesson 3 We Can Make a Difference	12	・気候変動の問題とそれに対する意見についてクラスで発表する。 ・CO2削減対策を話し合い、ウェブサイトを投稿する。	・CO2削減についての生徒たちの意見を聞く。 ・CO2削減の取り組みについてグループで話し合う。 ・世界各地の気候変動による影響を伝える。 ・CO2削減対策に関する意見をウェブサイトへ投稿する。 [言語材料] ・助動詞 ・助動詞の過去形	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト (発表) ・単元テスト ・一斉査査	気候変動(SDGs7, 13, 14, 15)(理科・地理)
6月 3週 ～7月3週	Lesson 4 Creative Problem Solving	20	・ポイ捨てを減らす効果的な方法を友人に伝える。 ・答えなくなる質問文を考え、共有する。	・ポイ捨てを減らす方法に関する会話を聞く。 ・賛成・反対を表明し、決定にむけた意見交換をする。 ・ポイ捨てを減らす方法を友人に話す。 ・質問文を考えて書く。 [言語材料] ・さまざまな受動態(be動詞+過去分詞) ・前置詞	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト (やり取り) ・単元テスト ・一斉査査	公共の精神(道徳) 身近な問題の課題解決(探究)
9月 1週 ～3週	Lesson 5 Canned Bread to Feed the World	12	・パンの缶詰の商品開発ストーリーを伝える。 ・プロジェクトへの参加を勧めるメッセージを書く。	・救世軍プロジェクトに関する会話を聞く。 ・プロジェクトへの参加を勧める。それに対して返答する。 ・パンの缶詰に関する情報を整理して伝える。 ・プロジェクトへの参加を勧めるメッセージを書く。 [言語材料] ・不定詞(to+動詞の原形) / SV0+to do ・SV(知覚動詞・使役動詞)+0+動詞の原形	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・パフォーマンステスト (音読) ・単元テスト ・一斉査査	食品ロス(SDGs2, 12)(家庭科)
9月 4週 ～10月2週	Lesson 6 Could We Have a Real Jurassic Park? Lesson 7 Behind the Price Tag	12	・恐竜再生の可能性について説明する。 ・恐竜再生について話し合い、自分の意見を述べるパラグラフを書く。	・恐竜再生に関する会話を聞く。 ・恐竜再生について自分の意見を言う。 ・恐竜再生の可能性について説明する。 ・恐竜再生について自分の意見を述べるパラグラフを書く。 [言語材料] ・動名詞(doing) ・SVC(分詞)	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・単元テスト ・一斉査査	恐竜再生(地学)
10月 3週 ～11月2週	Lesson 7 Behind the Price Tag Lesson 8 The World's Winter Festivals	14	・現代のファッション業界の問題と、それに対する異なる立場の主張をレポートにまとめる。 ・安価なTシャツに関するミニ・ディベートをする。	・安価なTシャツに関するミニ・ディベートを聞く。 ・相手の意見に賛成・反対を表明し、理由を説明する。 ・講演内容とそれに対する異なる立場の主張を伝える。 ・講演内容とそれに対する異なる立場の主張をパラグラフで書く。 [言語材料] ・SVOC(分詞) ・分詞構文	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・やり取り(ミニディベート) ・単元テスト ・一斉査査	つくる責任つかう責任(SDGs8, 10, 12)(公共)
11月 3週 ～12月2週	Lesson 8 The World's Winter Festivals	16	・世界の祭りの共通点を探し、伝える。 ・祭りで演じたいキャラクターを選んで、申し込み用紙に記入する。	・冬の祭りに関する会話を聞く。 ・相手の情報を確認しながら、インタビューする。 ・世界の祭りの共通性を論理的に伝える。 ・祭りに参加するための申し込み用紙に必要事項を記入する。 [言語材料] ・比較に関する表現 ・従属接続詞	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・単元テスト ・一斉査査	異文化理解(英語、歴史、地理)
12月 3週 ～1月4週	Lesson 9 Talking Trees	10	・木がコミュニケーションをする方法を説明する。 ・コミュニケーションにおいて重要なことを話し合う。	・木のコミュニケーションに関する展示の感想を聞く。 ・相手の発言の意図を確認しながら、自分の意見を言う。 ・木のコミュニケーション方法を説明する。 ・展示内容でもっとも印象に残ったことなどを書く。 [言語材料] ・関係代名詞(who, which, that, whom, what) ・関係副詞(when, where, why) / 関係代名詞の非制限用法	・活動の観察 ・サイエンス・イングリッシュによるワークシート ・発表(ミニプレゼン) ・一斉査査	環境保全(理科) ※教科横断授業
2月 1週 ～2月4週	Lesson 10 Capturing the Reality of the World	16	・フォトジャーナリストの安田菜津紀さんが仕事を通じて伝えたいことを新聞記事にする。 ・本文の内容をもとに、なりきりインタビューをする。	・フォトジャーナリストへのインタビューを聞く。 ・なりきりインタビューをする。 ・フォトジャーナリスト安田さんの仕事を友人に伝える。 ・安田さんの紹介記事を書く。 [言語材料] ・仮定法過去／仮定法過去完了 ・仮定法を使った表現	・活動の観察 ・内容理解ワークシート ・エッセイライティング ・スピーチ ・単元テスト ・一斉査査	国際協力(公共)
3月 1週 ～3月3週		6				
指導時間数の計		140				

教科の目標	<p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらのと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これしたり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
-------	---

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
論理・表 I	2	全日制・普通科・1年次	Harmony I English Logic and Expression

CAN-DOリストに基づく 年度末の学習到達目標	<p>W:身近な話題について、60語以上の内容のまとまりのある文章を書くことができる。与えパラグラフエッセイを指定時間内に書くことができる。</p> <p>S(Production):社会的な話題に沿って調べたものや考案したものについて英語で簡単なつる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができラスト描写、ストーリー説明問題で合格点を取ることができる。</p> <p>S(Interaction):教科書の内容をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考やすく伝え合うことができる。英検準2級レベルの自由応答問題で合格点を取ることができ</p>
-----------------------------	--

時期	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法
4月	Lesson 1 Meeting New People	6	<p>【自分のことや身近な人のことを話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の会話を聞いて理解し、質問に答える。 自己紹介に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】現在形・現在進行形</p> <p>【機能表現】あいづち</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 授業ワークシート 単元テスト 一斉考査
	Lesson 2 Last weekend		<ul style="list-style-type: none"> 休日・週末に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 休日・週末に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】過去形・過去進行形</p> <p>【機能表現】主観と客観の区別</p>	
5月	Lesson 3 Weekend Plans	8	<ul style="list-style-type: none"> 予定に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 予定に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】未来の表現</p> <p>【機能表現】疑問詞を使ってくわしくたずねる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 授業ワークシート 単元テスト 一斉考査
	Lesson 4 A Short Trip		<ul style="list-style-type: none"> 旅行・体験に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 旅行・体験に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】現在完了形</p> <p>【機能表現】会話のきっかけをつくる</p>	
6月	Lesson 5 School Rules	8	<p>【日々の生活のことを話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> 規則に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 規則に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】助動詞（可能・義務など）</p> <p>【機能表現】「ごめん」「気をつけるよ」と言う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 授業ワークシート 単元テスト 一斉考査
	Lesson 6 Are You All Right?		<ul style="list-style-type: none"> ある出来事に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ある出来事に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】助動詞（推量・確信など）</p> <p>【機能表現】具合や調子をたずねる</p>	

7月	Lesson 7 Things Japanese	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のものに関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・日本のものに関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】受動態 【機能表現】 「今何て言った?」と聞き直す	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 ・パフォーマンステスト（話すこと）
9月	Lesson 8 Talking about Dreams	6	【したいことやしていることを話す】 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・将来の夢に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】不定詞 【機能表現】 不定詞を使って表す	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査
	Lesson 9 To Keep Fit		<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・健康に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】不定詞 【機能表現】 説明を加えるときに不定詞を使う	
10月	Lesson 10 Our Future Devices	8	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジーに関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・テクノロジーに関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】使役動詞・知覚動詞など 【機能表現】 わからないものについてたずねる	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査
	Lesson 11 Talking about Likes and Dislikes		<ul style="list-style-type: none"> ・趣味・楽しみに関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・趣味・楽しみに関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】動名詞 【機能表現】 「いいよ」「喜んで」と返事をする	
11月	Lesson 12 Reportnig Something Unusual	8	<ul style="list-style-type: none"> ・珍しい体験に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・珍しい体験に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】分詞 【機能表現】 驚き、喜びなどを表す	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査
	Lesson 13 Being in Trouble		<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルに関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・トラブルに関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】使役動詞・分詞構文 【機能表現】 同情・共感の気持ちを表す	
	Lesson 14 Great Achievements		<ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・人物紹介に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】関係代名詞 【機能表現】 相手に同意を求めたり、確認したりする	
12月	Lesson 14 Great Achievements	6	【説明する・自分の考えを話す】 <ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・人物紹介に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	【文法】関係代名詞 【機能表現】 相手に同意を求めたり、確認したりする	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査

	Lesson 15 What's SDGs?		<ul style="list-style-type: none"> ・場所や時に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・場所や時に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】関係副詞 【機能表現】驚き, 喜び, 悲しみなどの気持ちを表す</p>	
1・2月	Lesson 16 Climate Change	7	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・生活環境に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】比較級 【機能表現】「～に…がある」の表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査 ・パフォーマンステスト（話すこと）
	Lesson 17 Food Waste		<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・社会問題に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】最上級 【機能表現】「～しよう」と提案する</p>	
2・3月	Lesson 18 Water Problem	7	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・世界の問題に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 	<p>【文法】仮定法 【機能表現】「～したい」という願望を表現する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・授業ワークシート ・単元テスト ・一斉考査
指導時間数の計		70			

知識を、聞くこと、読むこと
に応じて適切に活用できる技
術について、外国語で情
報を活用して適切に表現
できるように、主体的、自律

(いづな書店)
られたテーマについて1
プレゼンテーションができ
る。英検準2級レベルの
理解、気持ちなどをわかり
やすくする。

各教科等横断的な資質・ 能力の育成に関わる他 教科等との関連

世界遺産（地理）
世界都市（地理）
食品ロス（家庭基礎）
SDGs（公共）

教科の目標	<p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
-------	--

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)		
英語コミュニケーションⅡ		4	全日制・普通科・2年次	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION II		
CAN-DOリストに基づく 聞くこと(L) :教科書レベルの文章を聞いて、概要を理解できる。相手の発表や意見を聞きながらメモをとり、疑問点や						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 2週 ~4週	Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct?	9	かつてニュージーランドに生息していた巨大な鳥、モアの絶滅の歴史を知るとともに、今まさに危機に瀕する動物について学び、保護のためにできることを考える。	<p>[言語活動] 絶滅の危機に瀕している動物の特徴や生態などについて説明する。</p> <p>[言語の働き] 勧める／理解や納得を示す</p> <p>[言語材料] 助動詞＋完了形／不定詞の意味上の主語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・内容理解 ・プレゼンテーション ・文法に関するテスト ・一斉考査 	自然環境の保全（生物）
5月 1週 ~3週	Unit 2 Which sports can really be called sports?	9	年々人気を増すeスポーツの特徴を理解し、伝統的なスポーツとの違いや、スポーツをスポーツたらしめている条件とは何かを考える。	<p>[言語活動] ある論題について、主張と根拠を明確にしなが ら、ディベートを行う。</p> <p>[言語の働き] 勧誘する／断る</p> <p>[言語材料] 受け身の不定詞／助動詞doによる強調</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・内容理解 ・ディベート ・文法に関するテスト ・一斉考査 	スポーツの歴史・文化、スポーツ推進の課題（保健）
5月 4週 ~6月2週	Unit 3 How do we choose what we eat?	9	多様な食習慣の背景にある文化や、地球環境への影響について知る。「食べるものを選択する」という視点から、レストランのレビューやコメントも取り上げる。	<p>[言語活動] レストランのレビューや、ほかのレビューへのコメントを書く。</p> <p>[言語の働き] 提案する／説得する／妥協する</p> <p>[言語材料] 先行詞を含む関係副詞／否定語の倒置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・内容理解 ・ライティング ・文法に関するテスト ・一斉考査 	これからの食生活、食料需給をめぐる問題（家庭基礎、地理総合）
6月 3週 ~7月1週	Unit 4 How have inventions changed history?	10	ペニシリンの発明に至る経緯と、後世に与えた影響について理解する。さらに、現代のさまざまな発明品について、その意義を考える。	<p>[言語活動] 有益だと思う発明品について説明する。</p> <p>[言語の働き] 想像したことを伝える／相手の考えを聞く</p> <p>[言語材料] 強調構文／関係副詞の非制限用法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・内容理解 ・プレゼンテーション ・文法に関するテスト ・一斉考査 	有機化合物と人間生活（化学）
7月 2週	Speaking Review Task (Unit 1, Unit 2)	3			・パフォーマンステスト	
7月 2週 ~3週	Speaking Review Task (Unit 3, Unit 4)	5			・パフォーマンステスト	

9月 1週 ～3週	Unit 5 What can we learn from traveling?	10	若者が旅行をすることの意義と問題点を踏まえ、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。	[言語活動] 「ギャップ・イヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する。 [言語の働き] 希望を伝える [言語材料] 接続詞＋分詞／完了不定詞	・活動の観察 ・内容理解 ・ディベート ・文法に関するテスト ・一斉査査	持続可能な社会づくりの主体となる私たち（公共）
9月 4週 ～10月2週	Unit 6 How do people's personalities affect their behavior?	10	内向的な人の特徴や、性格が振る舞いに及ぼす影響について理解する。自分自身やクラスメートの性格の分析を通して、多様性についても考える。	[言語活動] 性格が振る舞いに及ぼしている影響について説明する。 [言語の働き] 誘いを受け入れる／うまく誘いを断る [言語材料] 部分否定	・活動の観察 ・内容理解 ・プレゼンテーション ・文法に関するテスト ・一斉査査	社会的な関係のなかで生きる人間（公共）
10月 3週 ～11月2週	Unit 7 Who should we celebrate on our money?	11	日本の新紙幣の顔となる津田梅子や、アメリカの紙幣への掲載が計画されていたハリエット・タブマンについて知り、紙幣に取り上げるべき人物について考える。	[言語活動] 紙幣に取り上げるべき人物について意見を述べ合う。 [言語の働き] 自分について伝える [言語材料] 受け身の進行形／be動詞＋不定詞	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉査査	金融のしくみと機能（政治・経済）
11月 3週 ～12月2週	Unit 8 How can we find out if news is real or fake?	11	フェイクニュースの歴史を知る。現在のインターネット上のフェイクニュースの見分け方についても学び、あるニュースの真偽を考察する。	[言語活動] あるニュースの真偽について意見を述べ合う。 [言語の働き] 話題を発展させる／いきさつを説明する [言語材料] 複合関係副詞	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉査査	メディアと世論（公共）
12月 3週	Speaking Review Task (Unit 5, Unit 6)	3			・パフォーマンステスト	
1月 2週 ～3週	Speaking Review Task (Unit 7, Unit 8)	5			・パフォーマンステスト	
1月 4週 ～2月2週	Unit 9 What is important when choosing a job?	11	社会の変化を踏まえながら、今、仕事を選ぶ際に重要なことについて理解する。さらに、ある仕事を選ぶ理由や、その仕事への適性についても考える。	[言語活動] ある仕事を選ぶ理由やその仕事への適性を伝え合う。 [言語の働き] 将来したい仕事をたずねる、伝える [言語材料] 過去の習慣	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉査査	これからの生活を創造する、私たちの職業生活（家庭基礎、公共）
2月 3週 ～3月2週	Unit 10 How can we improve our school?	11	制服、カリキュラムなどの面から、学校を改善するための提案とそれに対する反論を理解する。最後に、自分たちの学校をよりよくするための提案を考える。	[言語活動] ディスカッションを通して考えを深め、効果的にプレゼンテーションする。 [言語の働き] 助言を求める、与える [言語材料] 未来進行形／未来完了形	・活動の観察 ・内容理解 ・ディスカッション ・文法に関するテスト ・一斉査査	自立した主体として社会に参画する私たち（公共）
3月 3週	Speaking Review Task (Unit 9, Unit 10)	3			・パフォーマンステスト	
指導時間数の計		120				

教科の目標	<p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>○理解していること・できることをどう使うか(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)</p>
-------	---

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)		
論理・表現Ⅱ		2	全日制・普通科・2年次	Harmony II English Logic and Expression (いいずな書店)		
CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標		<p>話すこと[やりとり](SI) : 与えられた論題に対して、ディスカッションをし、結論を出すことができる。</p> <p>話すこと[発表](SP) : 与えられた課題に対して、長めの意見を述べるができる。</p> <p>書くこと(W) : 与えられたテーマについて、ふさわしい語彙や表現を適切に使用して論理的に書くことができる。</p>				
時期	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	Lesson 1 During Spring Vacation	6	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の出来事に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を書いたり、発表したりする。 ・現在形、過去形、未来の表現について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Narrativeの構造を理解し、展開する。 ・Narrativeの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査 	社会的な関係のなかで生きる人間(公共)
5月	Lesson 2 My Favorite Star	8	<ul style="list-style-type: none"> ・有名人の経歴に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・現在完了形・過去完了形について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Descriptionの構造を理解し、展開する。 ・Descriptionの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査 	目標を持って生きる(家庭基礎)
	Lesson 3 My Career Path		<ul style="list-style-type: none"> ・将来のキャリアに関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・助動詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Exampleの構造を理解し、展開する。 ・Exampleの構造を用いて文を作る。 		これからの生活を創造する、私たちの職業生活(家庭基礎、公共)
6月	Lesson 4 Talking about Japanese Culture	8	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化・ものに関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・受動態について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Descriptionの構造を理解し、展開する。 ・Descriptionの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査 	私たちと歴史の結びつき(日本史探究)
	Lesson 5 Disaster Prevention		<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・不定詞(名詞用法・形容詞用法・副詞用法)について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Processの構造を理解し、展開する。 ・Processの構造を用いて文を作る。 		安全で快適な住生活の計画(家庭基礎)
7月	Lesson 6 Town Planning ディスカッションをしてみよう!	6	<ul style="list-style-type: none"> ・都市構造に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・不定詞を使った表現について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。 	<p>【言語の機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Reasonの構造を理解し、展開する。 ・Reasonの構造を用いて文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査 	持続可能な社会づくりの主体となる私たち(公共)

9月	Lesson 7 Foods and Culture	6	・食に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・動名詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Cause and Effectの構造を理解し、展開する。 ・Cause and Effectの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	これからの食生活、食料供給をめぐる問題(家庭基礎、地理総合)
10月	Lesson 8 ICT and Universal Design	8	・ICTとバリアフリー社会に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・分詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Exampleの構造を理解し、展開する。 ・Exampleの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	共生社会と福祉(家庭基礎)
	Lesson 9 World Peace		・世界平和に貢献した人々に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・関係代名詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Narrativeの構造を理解し、展開する。 ・Narrativeの構造を用いて文を作る。		国際社会の変化と日本の役割(公共)
11月	Lesson 10 Volunteering Abroad	8	・海外ボランティアに関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・関係副詞について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Problem Solvingの構造を理解し、展開する。 ・Problem Solvingの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	国際社会の変化と日本の役割(公共)
	Lesson 11 Health and Lifespan		・健康と生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・比較について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Comparisonの構造を理解し、展開する。 ・Comparisonの構造を用いて文を作る。		現代社会の健康(保健体育)
12月	Lesson 12 If the World Were ...	6	・異なる視点に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・仮定法について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Viewpointの構造を理解し、展開する。 ・Viewpointの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	社会的な関係のなかで生きる人間(公共)
1・2月	Lesson 13 Culture and Perception	7	・文化と認知の関係に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・否定・疑問文について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Emphasisの構造を理解し、展開する。 ・Emphasisの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	国際社会の変化と日本の役割(公共)
	Lesson 14 World News		・ニュースの内容に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を書いたり、発表したりする。 ・時制の一致・語法について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Reporting and Analysisの構造を理解し、展開する。 ・Reporting and Analysisの構造を用いて文を作る。		メディアと世論(公共)
2・3月	Lesson 15 Be Yourself ミニディベートをしてみよう!	7	・自分らしい生き方に関する会話を聞いて理解し、質問に答えたり、それらの文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 ・要求/提案を表す動詞・無生物主語・強調構文について学んで理解し、その表現を用いて文を作る。	【言語の機能】 ・Suggestionの構造を理解し、展開する。 ・Suggestionの構造を用いて文を作る。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・一斉考査	これからの生活を創造する(家庭基礎)
指導時間数の計		70				

教科の目標	<p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
-------	---

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)		
英語コミュニケーションⅢ		4	全日制・普通科・3年次	Heartening English Communication (Ⅲ)		
CAN-DOリストに基づく		R:英検2級～準1級レベルの初見の文章を、指定時間内にリーディングスキル(概要把握、主題文の特定、支持文把握、パラグラフ展開を意識				
時期	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 2週 ～4週	Lesson 1 What makes Up Your Identity?	12	アイデンティティについて扱い、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う。	<ul style="list-style-type: none"> アイデンティティを形成する要素について聞く。 女優のサヘル・ローズさんが自らのアイデンティティと向き合った経験について読む。 自分のアイデンティティについて話し合う。 面接試験で自分のアイデンティティについて説明する。 自分のアイデンティティについて説明するパラグラフを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 記述の分析(内容理解、リテリング、文法) 	自己形成の課題(公共)
5月 1週 ～4週	Lesson 2 Predicting Future technology	12	未来予想について扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 100年後の科学技術の予測について聞く。 発明家のニコラ・テスラが100年前に予測した科学技術について読む。 未来の科学技術について話し合う。 未来の科学技術で最も重要なものについて自分の意見を伝える。 未来の科学技術で最も重要なものについてパラグラフを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 記述の分析(内容理解、リテリング、文法、ペーパーテスト) 	持続可能な社会づくりの主体となる私たち(公共)
6月 1週	Real Life English 1	4	日常的话题について題材から必要な情報を捉える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 短い発話の聞き取り ウェブサイトやチャットの読み取り イラストの描写 表の説明 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 記述の分析(内容理解) 	
6月 2週 ～6月4週	Lesson 3 The Science of Sleep	12	睡眠について扱い、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養うことにつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠の重要性について聞く。 睡眠と記憶の関係性について読む。 睡眠の重要性について話し合う。 睡眠不足から生じる問題を抱えている友人に、解決策を伝える。 睡眠不足によって起きる問題とその解決法についてパラグラフを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 記述の分析(内容理解、リテリング、文法) 	休養・睡眠と健康(保健)
7月 1週 ～7月3週	Lesson 4 Diversity and Inclusion	12	多様性について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 町や企業で多様性を促進している事例について聞く。 文化的な多様性を促進するために重要なことについて読む。 多様性を促進する方法について話し合う。 多様性を促進する方法についてスピーチをする。 多様性を促進するために最も重要な要素についてパラグラフを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 記述の分析(内容理解、リテリング、文法) パフォーマンステスト(リテリング) 	共生社会と福祉(家庭基礎) 社会の変化と職業観、雇用と労働問題(公共)
9月 1週	Real Life English 2	4	日常的话题について題材から必要な情報を捉える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 短い対話の聞き取り SNSへの投稿やレビューサイトの読み取り ロールプレイ パラグラフライティング 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 記述の分析(内容理解) 	
9月 2週 ～9月4週	Lesson 5 Protein Crisis	12	将来のタンパク源について扱い、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> タンパク源や、それらが将来不足する問題について聞く。 タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について読む。 将来のタンパク質について話し合う。 将来のタンパク源として最適なものについて家庭科の授業で伝える。 将来のタンパク源として最適なものについてパラグラフを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 記述の分析(内容理解、リテリング、文法) 	持続可能なライフスタイルと環境(家庭基礎)

10月 1週 ～10月 3週	Lesson 6 Different Types of Happiness	12	幸福論について扱い、 職業及び生活との関連 を重視し、勤労を重ん ずる態度などを養う。	・幸福度を測定するために用いられて いる要素について書く。 ・コスタリカ・デンマーク・シンガ ポールに住む3人にとっての幸せの価 値観について読む。 ・自分の幸せにとって何が大切かを話 し合う。 ・幸せについての自分の考えを海外の 人に伝える。 ・自分の幸せにとって何が大切かにつ いてエッセイを書く。	・活動の観察 ・記述の分析（内容理 解、リテリング、文 法、ペーパーテスト）	人間と幸福（公共）
10月 4週	Real Life English 3	4	日常的な話題について 題材から必要な情報を 捉える力を養う。	・モノログや対話（インタビュー） の聞き取り ・グラフ入りの記事の読み取り ・スモールトーク ・エッセイ・ライティング	・活動の観察 ・記述の分析（内容理 解）	
11月 1週 ～11月 4週	Lesson 7 Pros and Cons of Utilizing AI	13	AIについて扱い、主体 的に社会の形成に参画 し、その発展に寄与す る態度を養う。	・AIロボットが授業をすることへの賛 否の意見を聞く。 ・AIを活用したデータ分析の事例と、 AIを活用する際の倫理的な問題につ いて読む。 ・AIの良い点と悪い点について話し合 う。 ・ニュースのライターとして、AIの 良い点と悪い点について伝える。 ・社会生活においてどの程度AIに頼る べきかについてパラグラフを書く。	・活動の観察 ・記述の分析（内容理 解、リテリング、文 法）	科学と人間（公共）
12月 1週 ～12月 3週	Lesson 8 Kintsug: The Art of Embracing the Imperfect	13	伝統工芸品について扱 い、文化を尊重し、そ れを育んできた環境を 大切にすることを養 う。	・和紙の特徴やそれを作る職人の夢に ついて聞く。 ・金継ぎの特徴や金継ぎから学べる人 生の教訓について読む。 ・日本の伝統工芸について話し合う。 ・日本の伝統工芸品の特徴を海外の人 に説明する。 ・日本の伝統工芸品の特徴を説明する パラグラフを書く。	・活動の観察 ・記述の分析（内容理 解、リテリング、文 法）	伝統・文化と私たち （公共）
1月 2週	Real Life English 4	4	日常的な話題について 題材から必要な情報を 捉える力を養う。	・モノログや対話（インタビュー） の聞き取り ・時系列で書かれた記事の読み取り ・スモールトーク ・コメントの投稿 ・スモールトーク ・エッセイ・ライティング	・活動の観察 ・記述の分析（内容理 解）	
1月 3週 ～2月 1週	Lesson 9 Getting Your Message Across	13	人前での話し方につ いて扱い、創造性を培 い、自主及び自律の精 神を養う。	・人前で話す際の言いよどみにつ いて否定的な意見を聞く。 ・人前で話す際の言いよどみにつ いて肯定的な意見を読む。 ・言いよどみの是非について話し合 う。 ・スピーチをする友人に、言いよど みについてのアドバイスを伝える。 ・人前で話す際に言いよどみをすべ て取り除くべきかについてエッセイを 書く。	・活動の観察 ・記述の分析（内容理 解、リテリング、文 法）	
2月 2週 ～3月 3週	Lesson 10 Medical Ethics During a Pandemic	13	医療倫理について扱 い、公共の精神に基 づき、主体的に社会の 形成に参画する態度を 養う。	・感染症がファッションに与えた影響 や、パンデミックの予防策について聞 く。 ・医師のエドワード・ジェンナーが天 然痘ワクチンを開発した際の医療倫 理について読む。 ・ジェンナーの行為の是非を話し合 う。 ・有効性が確立されていない医療を 試すことについて、自分の意見を伝 える。 ・パンデミックの際に、有効性が確 立されていない医療を試すべきか についてエッセイを書く。	・活動の観察 ・記述の分析（内容理 解、リテリング、文 法）	現代の感染症・感染症 の予防（保健）
指導時間数の計		140				

教科の目標	(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
論理・表現Ⅲ	2	全日制・普通科・3年次	FACTBOOK Ⅲ English Logic and Expression (桐原書店)			
CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標 R: 英検2級～準1級レベルの初見の文章を、指定時間内にリーディングスキル(概要把握、主題文の特定、支持文把握、パラグラフ展開を意識した情報整理・理解など)を使いながら読んで理解できる。 L: 英検2級～準1級レベルの文章を聞いて、概要を理解できる。様々な場面において、多様な英語を必要な情報をメモしながら聞くことができる。共通テストリスニング80点 W: 社会問題など与えられたテーマについて、自分の意見を論理的に整理し、ふさわしい語彙や表現、多様な文のパターンを適切に使用して、120語以上で書くことができる。GTEC スコア130～ S (Production): 社会的な課題について調べ、英語でプレゼンテーションができる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができる。 S (Interaction): 即興での説得力のある意見発表、質疑応答、反論などができる。英検2～準1級レベルの面接試験の質問に対して、自分の意見を理由とその根拠を示						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 2週 ～ 4週	Unit 1 Future of jobs in the AI era(AIと将来の職業)	6	・AIに将来取って代わられない職業について話し合ったり、意見を述べるパラグラフを書いたり、プレゼンテーションをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について意見型のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	社会の変化と職業観、 雇用と労働問題(公 共)
5月 1週 ～ 3週	Unit 2 How have you grown as a person in your high school life?(高校生活での成長)	6	・自身が成長した経験について話し合ったり、描写するパラグラフを書いたり、スピーチをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について説明・描写型のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験	
5月 4週 ～ 6月 2週	Unit 3 How do people use different types of media? (ニュース、サービスの利用)	6	・ニュースサービスの利用状況のグラフについて話し合ったり、説明するパラグラフを書いたりすることができる。また、ソーシャルメディアの問題点についてディスカッションをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題についてグラフ説明型(1要因)のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験	
6月 3週 ～ 7月 1週	Unit 4 3R approach in order to save the environment(3R と環境保護)	6	・環境保護の方法を見つけるために、3Rの特徴について話し合ったり、比較するパラグラフを書いたりすることができる。また、人々が環境保護のためにできることについてスピーチをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について比較・対比型のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	地球環境問題(地理)
7月 2週 ～ 3週	Unit 5 Moving toward a cashless society(キャッシュレス決 済)	5	・キャッシュレス決済の普及の原因とその利点について話し合ったり、パラグラフを書いたり、スピーチをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について原因・結果型のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験	情報の収集・比較と意 思決定(家庭基礎)
9月 1週 ～ 3週	Unit 6 Are artificial additives really bad for us?(食品添 加物)	6	・食品添加物の摂取について話し合ったり、賛否の意見を述べるパラグラフを書いたり、ディベートをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について意見型(賛否)のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	食生活の選択と安全 (家庭基礎)
9月 4週 ～ 10月 2週	Unit 7 Japanese culture attracting people all over the world(日本文化)	6	・日本文化を多角的に説明する方法について話し合ったり、説明しながら紹介するパラグラフを書いたり、スピーチをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について説明・描写型のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	
10月 3週 ～ 11月 1週	Unit 8 Will we live in a decarbonized society in the future?(脱炭素社会)	6	・エネルギー構成比を示すグラフについて話し合ったり、パラグラフを書いたり、スピーチをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題についてグラフ説明型(複数要因)のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト ・定期試験	持続可能な社会づくり の主体となる私たち (公共)
11月 2週 ～ 4週	Unit 9 Reading e-books or printed books?(電子教科 書と紙の教科書)	6	・電子教科書と紙の教科書の違いについて話し合ったり、対比するパラグラフを書いたり、スピーチをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について比較・対比型のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	ICT教育(情報)
12月 1週 ～ 3週	Unit 10 The way we live together in the same world(社会的 な差別の問題)	6	・社会的な差別の問題とその解決方法について話し合ったり、パラグラフを書いたり、スピーチをすることができる。	・写真や吹き出しの質問をもとに、トピックに関してペアで話す。 ・トピックに関する会話を聞いて、内容を整理する。 ・特定の型を用いてパラグラフを書くためのポイントを学ぶ。 ・論題について問題解決型のパラグラフライティングを行う。	・活動の観察 ・英作文 ・小テスト	共生社会(地理歴史、 公民、家庭基礎)

1月 2週 ～ 4週	[Thinking Logically] •What can we do about our shrinking population? (少子化) [Skills] •Writing an Email •Describing Infographics •Having a Formal Discussion	6	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化について、その原因と結果を説明するパラグラフを書いたり、複数のパラグラフで問題と解決策を説明するエッセイを書くことができる。 ・読み手に配慮した依頼のメールを書くことができる。 ・図や写真などの視覚情報を相手にわかりやすく説明することができる。 ・与えられた議題についてグループでディスカッションをし、結論を導くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論題に関する議論を聞き、聞いた内容に関してペアで意見交換をする。論理的誤謬について学んだ上で、論題について原因・結果型のパラグラフライティングを行う。 ・ライティング、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、スピーチを行うためのスキルを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト 	
2月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> •Having an Academic Debate •Making a Research Presentation •Making a Speech 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた議題に対して、アカデミックディベートをすることができる。 ・問いを立ててリサーチをし、自分なりの考えを主張するプレゼンテーションを行うことができる。 ・教科書で扱っているトピックについて、聞き手に配慮したスピーチをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライティング、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、スピーチを行うためのスキルを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・英作文 ・小テスト 	
指導時間数の計		70				

教科の目標	(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
-------	--

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
国際探究	3	全日制・普通科・3年次	CNN comprehensive Trainer (朝日出版社)			
CAN-DOリストに基づく年度末の学習到達目標			R: 英検2級～準1級レベルの初見の文章を、指定時間内にリーディングスキル(概要把握、主題文の特定、支持文把握、パラグラフ展開を意識した情報整理・理解など)を使いながら読んで理解できる。 L: 英検2級～準1級レベルの文章を聞いて、概要を理解できる。様々な場面において、多様な英語に必要な情報をメモしながら聞くことができる。共通テストリスニング80点 W: 社会問題などと与えられたテーマについて、自分の意見を論理的に整理し、ふさわしい語彙や表現、多様な文のパターンを適切に使用して、120語以上で書くことができる。GTEC スコア130～ S (Production): 社会的な課題について調べ、英語でプレゼンテーションができる。与えられたテーマについて、自分の意見を理由とその根拠を示しながら言うことができる。 S (Interaction): 即興での説得力のある意見発表、質疑応答、反論などができる。英検2～準1級レベルの面接試験の質問に対して、自分の意見を理由とその根拠を			
時期	単元・題材名	指導時数	単元の目標	主な言語活動等	評価方法	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月2週～4週	1 Deeply Disturbing [Technology]	9	AIによる「ディープフェイク動画」の衝撃について扱い、生活をより豊かにする科学技術や倫理について考える力を養う。	・ディープフェイク動画について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	
5月1週～3週	2 Vaping's Pitfalls [Health]	9	米国の未成年350万人以上をむしばむ「電子たばこ」依存症について扱い、喫煙の減少や禁煙に対する役割など、健康問題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・電子たばこ依存症について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	生涯の健康(家庭基礎)
5月4週～6月2週	3 No Age Barrier [Technology]	9	日本初VR技術が可能にする高齢者の仮想世界旅行について扱い、高齢者の健康増進や社会参画、また、家族や友人との交流を提供する科学技術について。必要な情報を捉える力を養う。	・高齢者の仮想世界旅行について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	高齢期の健康と自立(家庭基礎)
6月3週～7月1週	4 Labor Pains [Welfare]	8	超大国米国の有給の産休・育休制度がない福祉事情について扱い、よりより社会福祉制度について考える力を養う。	・超大国米国の有給の産休・育休制度がない福祉事情について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	社会保障の考え方(家庭基礎)
7月2週～3週	5 Giving Currency to History [Social Media]	6	インスタグラムで現代によみがえる「もう一つのアンネの日記」について扱い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	・「もう一つのアンネの日記」についてJTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	国際社会の平和(地歴)
9月1週～3週	6 Suspicious of Technology [Society]	8	香港でのデモ参加者の顔データを収集する「スマート街灯」をめぐる攻防について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	・香港のスマート街灯をめぐる攻防について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	
9月4週～10月2週	7 Youths demand Their Future [Environmental Activism]	8	気候変動対策を求める英国の子どもの「絶滅への反抗デモ」について扱い、地球環境問題への意識啓発とともに、日常的話題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・絶滅への反抗デモについて、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	地球環境問題(地理)
10月3週～11月1週	8 From the Comfort of Home [Healthcare]	8	ロンドン発、忙しい現代人の健康を救う「待ち時間ゼロAI診察」について扱い、現代医療と科学技術の融合に関して必要な情報を捉える力を養う。	・待ち時間ゼロAI診察について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	
11月2週～4週	9 Edible Ecofriendliness [Innovation]	8	ブラゴミ問題の救世主となる南アフリカ「食べられる食器」について扱い、地球環境問題への意識啓発とともに、日常的話題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・食べられる食器について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	地球環境問題(地理)

12月 1週 ～ 3週	10 Huge Dilemma [Wildlife Conservation]	8	“ゾウの楽園ボツワナ”政府によるアフリカゾウの狩猟解禁について扱い、野生動物の保護と人間の共存に関して必要な情報を捉える力を養う。	・アフリカゾウの狩猟解禁について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	地球環境問題（地理）
1月 2週 ～ 4週	11 It really Happened [Disaster Tourism]	9	観光地化するチェルノブイリで過去の教訓を伝えられるかについて扱い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	・観光地化するチェルノブイリについて、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	国際社会の平和（地歴）
2月 ～ 3月	12 Parnts' Prerogative [Medical Ethics]	15	延命か治療打ち切りかという医療倫理の難問に揺れる小さないのちについて扱い、医療が抱える問題に関して必要な情報を捉える力を養う。	・医療倫理について、JTE、ALTの発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解する。また、トピックについて話し合ったり、自分の考えを書いたり発表したりする。	・定期試験 ・話す、書くを中心に言語活動を観察する。 ・プレゼンテーション ・ディスカッション ・ディベート ・インタビューテスト ・ワークシート	
指導時間数の計		105				

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
音楽Ⅱ		2	全日制課程・普通科・3学年	ON!Ⅱ(音楽の友社)			
科目の目標		音楽作品の演奏や鑑賞を通して、音楽的な見方や考え方を使って、専門的な音楽の資質・能力を育成する。 (1)演奏における客観性と多様性を理解し、理解したことを生かした演奏に必要な技能を身に付ける。 (2)音楽の様式を考えた演奏をする思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3)音楽作品を尊重して演奏したり、鑑賞したりする態度を養う。					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4～6 月 7週 15日	歌唱① ・上を向いて歩こう ・やさしさに包まれて 理論① ・音階 ・調号と主音 鑑賞① ・バロック時代	15	① 知識・技能 歌唱：楽譜を正確に歌う技能を身に付けている。 理論：理論①の内容を知識として習得している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：歌詞の意味や曲想を考えて表現できる。 理論：楽譜のなかで考え生かすことができる。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本語の歌の美しさを感じ、主体的に表現している。 理論で得た知識を歌唱表現に生かしている。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗読 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・研究ノートによる理論学習 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録を作成	歌唱はすべて声に出して行う。また、範唱鑑賞後は、軽いディスカッションを行う。	バロック時代と社会科学世界史のつながりについてレクチャーする。
6～9 月 7週 15日	器楽① ・リコーダー 鑑賞② ・古典派の音楽 舞台芸術鑑賞① ・ミュージカルを見よう	15	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技能を身に付ける。 鑑賞：古典派の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生かす。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前でのリコーダー演奏に取り組む。	リコーダー演奏テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・リコーダーの特徴を知る。 ・テキストから演奏する時の姿勢や基本的な弾き方を学ぶ。 ・ウォーミングアップ ・教科書の曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・ミュージカル鑑賞プリント作成		古典派と歴史的時代とのつながりについてレクチャーする。
9～11 月 7週 14日	歌唱② ・Vergin,tutto amor ・女心の歌 ・歌の翼に 理論② ・和音 ・コードネーム 鑑賞③ ・ロマン派の音楽	15	① 知識・技能 歌唱：イタリア語、ドイツ語の曲を原語で歌う技能を身に付ける。 理論：理論②の内容を知識として習得している。 鑑賞：ロマン派の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：原語の特徴を生かし表現を工夫している。 理論：楽曲の中で取り出し考えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 外国語の音読などを主体的に行い、歌唱に生かせるようにする。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗読 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・研究ノートによる理論学習 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録を作成	歌唱はすべて声に出して行う。また、範唱鑑賞後は、軽いディスカッションを行う。	ロマン派の音楽と歴史的時代とのつながりについてレクチャーする。
11～12 月 7週 15日	器楽② ・鍵盤楽器(ピアノ・キーボード) 鑑賞④ ・宗教と音楽	15	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技能を身に付ける。 鑑賞：宗教と音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生かす。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前での鍵盤楽器演奏に取り組む。	鍵盤楽器の演奏テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・教科書から演奏する時の姿勢や基本的な弾き方学ぶ ・ウォーミングアップ ・教科書及びその他のテキストの曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成		宗教と音楽の関係について学ぶ。
1～3月 7週 10日	歌唱③ 〈日本の歌〉 ・からたちの花 ・初恋 鑑賞⑤ ・近現代の音楽 舞台芸術鑑賞② ・オペラを見よう	10	① 知識・技能 ・楽譜を正確に読み取り、また、基礎練習で身に付けた技能を生かし、歌うことができる。 鑑賞：近現代の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：曲想や言葉の意味を考え、それに合った表現をしている。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本の歌などに主体的に取り組み、日本の芸術歌曲を歌う喜び味わえるようにする。	録音による自己評価 鑑賞記録の評価 同上 同上	基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗読 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・録音・鑑賞 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・オペラ鑑賞プリント作成	歌唱はすべて声に出して行う。また、録音終了後は、鑑賞し軽いディスカッションを行う。	近現代の音楽と歴史的背景についてレクチャーする。
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
書道Ⅱ		2	全日制課程・普通科・3年次	書Ⅱ(教育図書)			
科目の目標		(1) 書の線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、時代、風土、筆者などについて理解を深める(知識・技能) (2) 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の現代的意義について考え、書のよさや美しさを深く捉える。(思考力・判断力・表現力等) (3) 主体的に書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。(学びに向かう力、人間性等)					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4～6月 11週 22日	漢字の書 (篆書・隸書・草書・行書・楷書)	22	① 知識・技能 ・各書体や書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 ・各書体の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・古典の書体や書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・古典を鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・各書体の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・各書体の美や良さを感じ、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ノート ・作品 ・ワークシート	・用具用材 ・臨書 ・創作	・各書体の書きぶりについて、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・作品の互評会	
7～9月 8週 16日	刻字	16	① 知識・技能 ・刻字の作風、彫り方の知識を理解している。 ・刻字の彫り方の基礎的スキルを身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・字形、全体構成を、構想し工夫している。 ・刻字を鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・刻字の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・刻字の美や良さを感じ、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・作品 ・ワークシート	・用具用材(ノミ、彫刻刀) ・刻法の種類 ・刻字の制作 ・刻字の鑑賞	・作品の良さや美しさを、自分の言葉で発表する。 ・刻字の互評会	
10～11月 8週 16日	漢字仮名交じりの書 (自作都都逸)	16	① 知識・技能 ・都都逸の歴史と、作者、常陸太田市との関連を知る。 ・都都逸のリズム、音韻数の原則を踏まえ、自作表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・自作都都逸に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・自作都都逸の書の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・都都逸の書表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・都都逸の書の美を感じ、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・ワークシート ・作品	・用具用材 ・名筆の鑑賞 ・作品の制作 ・作品の鑑賞	・自作の都都逸を作り、伝えたいことを発表する。 ・作品の互評会	・国語科との連携により、都都逸について調べる。
12～2月 8週 16日	篆刻 (朱文印)	16	① 知識・技能 ・朱文印の刻風、運筆法・運刀法の知識を理解している。 ・朱文印の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・朱文印の運刀、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・朱文印の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・朱文印の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・朱文印の美や良さを感じ、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・作品 ・ワークシート	・用具用材(印刀、印泥) ・篆刻の制作 ・篆刻の鑑賞	・印影について、自分の言葉で、特徴を発表する。 ・作品の互評会	
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
美術2		2	全日制課程・普通科・3学年	高校生の美術2(日本文教出版社)			
科目の目標		美術の幅広い創造活動をおとして 造形的な見方・考え方を働かせ 美術制作体験を重ね 造形表現にかかわる 資質・能力を育成することを目指す (1)美術の意味 社会や身の回りにある美術の意義 素材の研究など 美術製作体験を通して身につける (知識・技能) (2)様々な出題形式に対応できる思考力 判断力 表現力の質の向上を目指す (思考力、判断力、表現力等) (3)自己表現した作品を尊重し 客観的に分析して 評価・鑑賞できる能力を身につける (学びに向かう力、人間性等)					
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月	表現とは何か・思い描く	4	① 知識・技能 幅広い美術世界の確認 学問への啓発活動	全体確認	教科書分析	質疑応答	全教科 全分野
5月	絵画作品制作・・・点描・線描 による素描作品制作	10	② 思考・判断・表現 学問への啓発活動 ③ 主体的に学習に取り組む態度 学問への啓発活動	個々の作品	調査 研究 準備と実践 線描 点描	質疑応答	国語 理科
6月	絵画作品制作・・・点描・線描 による素描作品制作	10	① 知識・技能 自己分析	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	
7月		8	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置 ③ 主体的に学習に取り組む態度 点描 線描		完成		
9月	作品制作・・・デザイン・美 学・芸術学関連による学術 的探究作品制作	10	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学 問分野の研究	個々の作品	調査研究準備と実践	質疑応答	全教科 全分野
10月		10	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置		配置 組み合わせ 構成		
11月			10		③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究		
12月		9					
1月	作品制作・・・デザイン・美 学・芸術学関連による学術 的探究作品制作	9	① 知識・技能 コンパス 三角定規による製図		完成	質疑応答	数学 理科
月 週 日							
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
音楽実技研究 I		2	全日制課程・普通科・3学年	全訳コールユーブンゲン(大阪開誠館)			
科目の目標		音楽作品の演奏や鑑賞を通して、音楽的な見方や考え方を使得、専門的な音楽の資質・能力を育成する。 (1)演奏における客観性と多様性を理解し、理解したことを生かした演奏に必要な技能を身に付ける。 (2)音楽の様式を考えた演奏をする思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3)音楽作品を尊重して演奏したり、鑑賞したりする態度を養う。					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4～6月 12週 24日	コールユーブンゲン ・No1～18 個人進度別実技演習	24	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験	・コールユーブンゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
			② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。	同上			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	同上			
7～9月 8週 16日	コールユーブンゲン ・No19～24 個人進度別実技演習	16	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験	・コールユーブンゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
			② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。	同上			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	同上			
10～1月 15週 30日	コールユーブンゲン ・No25～43 個人進度別実技演習	30	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。	・コンサート形式による試験 ・コールユーブンゲン試験	・コールユーブンゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
			② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。	同上			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	同上			
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
音楽実技研究Ⅱ		2	全日制課程・普通科・3学年	全訳コーリュブゲン(大阪開誠館)			
科目の目標		音楽作品の演奏や鑑賞を通して、音楽的な見方や考え方を使って、専門的な音楽の資質・能力を育成する。 (1)演奏における客観性と多様性を理解し、理解したことを生かした演奏に必要な技能を身に付ける。 (2)音楽の様式を考えた演奏をする思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3)音楽作品を尊重して演奏したり、鑑賞したりする態度を養う。					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4～6月 12週 24日	コーリュブゲン ・No48～55 個人進度別実技演習 ソルフェージュ演習	24	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ソルフェージュ演習により、音楽を正確に記譜できる。	・コンサート形式による試験 ・コーリュブゲン試験 ・ソルフェージュ試験	・コーリュブゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
			② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。	同上			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	同上			
7～9月 8週 16日	コーリュブゲン ・No56～71 個人進度別実技演習 ソルフェージュ演習	16	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ソルフェージュ演習により、音楽を正確に記譜できる。	・コンサート形式による試験 ・コーリュブゲン試験 ・ソルフェージュ試験	・コーリュブゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
			② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。	同上			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	同上			
10～1月 15週 30日	コーリュブゲン ・No72～85 個人進度別実技演習 ソルフェージュ演習	30	① 知識・技能 声や楽器の特徴を踏まえた演奏ができる。 ソルフェージュ演習により、音楽を正確に記譜できる。	・コンサート形式による試験 ・コーリュブゲン試験 ・ソルフェージュ試験	・コーリュブゲン歌唱 ・自選楽器の基礎演奏 ・自選楽器演習 ・ミニコンサート	ミニコンサートの鑑賞後、お互いの演奏についてディスカッションを行う。	外国語の歌を歌うことにより英語やその他の外国語に親しむ。
			② 思考・判断・表現 作曲者の表現上の特徴を踏まえた解釈や思考ができる。	同上			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 発表などを主体的に行い、鑑賞することにより、能力を高める。	同上			
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
書の世界Ⅰ		2	全日制課程・普通科・3年次	書のひみつ(朝日出版社)			
科目の目標		(1) 書の線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、時代、風土、筆者などについて理解を深める(知識・技能) (2) 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の現代的意義について考え、書のよさや美しさを深く捉える。(思考力・判断力・表現力等) (3) 主体的に書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。(学びに向かう力、人間性等)					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4～7月 11週 22日	漢字の書 (楷書・行書・草書)	22	① 知識・技能 ・各書体や各書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 ・各書体の古典の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・古典の書体や書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・古典の価値とその根拠、社会における書の効用を考え、鑑賞して書の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・各書体の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・各書体の美や良さを感じ、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ノート ・作品 ・ワークシート	・用具用材 ・古典の臨書 ・古典の鑑賞	・各書体の書きぶりについて、自分の言葉で発表する。 ・作品の互評会	
7月 3週 5日	生活の中の書 (創作・蒔絵)	5	① 知識・技能 ・蒔絵の技法の知識を理解している。 ・蒔絵による文字の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・言葉に合う書体や書風を構想できる。 ・小皿、盆、茶筒などの用具用材に即した用筆、字形、全体構成について、構想している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・蒔絵の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・蒔絵の美や良さを感じ、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・作品 ・ワークシート	・蒔絵制作DVD鑑賞 ・蒔絵の制作(小皿・盆) ・蒔絵の鑑賞(互評会)	・創作する言葉について、どんな思いで書くのか、自分の言葉で発表する。 ・作品の互評会	
9月 4週 7日	拓本実習	7	① 知識・技能 ・拓本の歴史や種類の知識を理解している。 ・拓本採取の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・拓本採取方法について、工夫している。 ・拓本の価値や学書における効用を考え、鑑賞して拓本の美を捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・拓本採取活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・拓本の美や良さを感じ、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・採拓物	・拓本技法DVD鑑賞 ・拓本実習1(石膏レプリカ) ・拓本実習2(剛健碑) ・拓本実習3(校歌碑) ・拓本の鑑賞	・拓本実習した感想を、自分の言葉で発表する。 ・採拓物の互評会	
10～12月 11週 22日	漢字の書 (創作・条幅)	22	① 知識・技能 ・条幅の書法の知識を理解している。 ・条幅のための文字の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・創作にあたり、言葉をつむぎ、言葉に合う書体や書風を構想し、調べることができる。 ・条幅に即した用筆、字形、全体構成について、構想している。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・条幅による表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・条幅の美や良さを感じ、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ノート ・作品 ・ワークシート	・条幅作品の創作 ・条幅作品の裏打ち ・条幅作品の額装 ・条幅作品の鑑賞	・条幅作品を観て、感じたことを発表する。 ・作品の互評会	・国語科の古典との連携により、漢詩句や漢文の一節について調べる。
12月～2月 7週 14日	実用書 (年賀状・熨斗袋・芳名帖)	14	① 知識・技能 ・年賀状、熨斗袋、芳名帖などの歴史や文化の知識を理解している。 ・目的に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 ② 思考・判断・表現 ・意図に基づいた表現を構想し工夫している。 ・現代社会における書の効用を考え、書の美を味わって捉えている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 ・実用書の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・実用書の美や良さを感じ、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・制作物 ・ワークシート	・年賀状(表書・裏書) ・熨斗袋の書き方 ・芳名帖の書き方 ・硬筆の書き方	・実用書の互評会	
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	
書の世界Ⅱ		2	全日制課程・普通科・3,年次	
科目の目標		(1) 書の線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、時代、風: (2) 漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、書の現代的意義について考 (3) 主体的に書の創造的な表現と鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、		
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法
4～7月 11週 22日	漢字の書 (楷書・篆書・隸書)	22	① 知識・技能 ・各書体や各書風と、用筆・運筆との関連等の知識を理解している。 ・各書体の古典の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。	・ノート ・作品
			② 思考・判断・表現 ・古典の書体や書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・古典の価値とその根拠、社会における書の効用を考え、鑑賞して美を捉えている。	・ワークシート
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・各書体の特質に基づく表現の活動に、主体的に取り組もうとしている ・各書体の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・授業観察〈表現〉 ・授業観察〈鑑賞〉
7月 2週 4日	生活の中の書 (創作・うちわ作り)	4	① 知識・技能 ・うちわの歴史や知識を理解している。 ・うちわの形式による文字の線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。	・ワークシート ・作品
			② 思考・判断・表現 ・言葉に合う書体や書風を構想し、調べることができる。 ・うちわの形式に即した運筆、字形、全体構成について、構想している。	・ワークシート
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・うちわ作りの表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・うちわの美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・授業観察〈表現〉 ・授業観察〈鑑賞〉
9月 4週 8日	仮名の書	8	① 知識・技能 ・仮名の古筆の書風と、用筆との関連、仮名の成立にみる日本文化の知識を理解している。 ・仮名の古筆の連綿、単体、線質、字形、構成の基礎的表現の技能を身に付けている。	・ノート ・作品
			② 思考・判断・表現 ・仮名の古筆の書風に即した用筆、字形、全体構成について、構想し工夫している。 ・仮名の価値と生活や社会における書の効用を考え、鑑賞して美を捉えている。	・ワークシート
			③ 主体的に学習に取り組む態度 ・仮名の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。	・授業観察〈表現〉 ・授業観察〈鑑賞〉
10～12 月 11週 22日	漢字仮名交じりの書 (創作・俳句、川柳)	22	① 知識・技能 ・名筆表現から、運筆法、線質、字形、構成等の表現効果等の知識を理解している。 ・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。	・ワークシート ・制作作品
			② 思考・判断・表現 ・意図に基づいた表現を構想し工夫している。 ・現代社会における書の効用を考え、書の美を味わって捉えている。	・ワークシート

			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・書の美や良さを感受し、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察〈表現〉 ・授業観察〈鑑賞〉
12月～ 2月 7週 20日	実用書 (硬筆・ペン字)	14	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙や文書の書式の知識を理解している。 ・目的に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・制作実用書
			<p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図に基づいた表現を構想し工夫している。 ・現代社会におけるペン字の効用を考え、書の美を味わって捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
			<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用書の表現の活動に、主体的に取り組もうとしている。 ・実用書の美や良さを感受し、価値を考え、鑑賞の活動に、主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察〈表現〉 ・授業観察〈鑑賞〉
指導時間数の計		70		

使用教科書名(出版社)

書のひみつ (朝日出版社)

土、筆者などについて理解を深める(知識・技能)
え、書によさや美しさを深く捉える。(思考力・判断力・表現力等)
、書を愛好する心情を養う。(学びに向かう力、人間性等)

学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
<ul style="list-style-type: none">・ 用具用材・ 古典の臨書・ 古典の鑑賞	<ul style="list-style-type: none">・ 各書体の書きぶりについて、自分の言葉で、特徴を発表する。・ 作品の互評会	
<ul style="list-style-type: none">・ うちわへの揮毫・ うちわの作成・ 作品の鑑賞	<ul style="list-style-type: none">・ 創作する言葉について、どんな構想で書くのか自分の言葉で発表する。・ 作品の互評会	
<ul style="list-style-type: none">・ 平仮名の字源・ 変体仮名の字源・ 古筆の臨書・ 古筆の鑑賞	<ul style="list-style-type: none">・ 仮名の古筆の特徴について、自分の言葉で、発表する。・ 作品の互評会	
<ul style="list-style-type: none">・ 自作俳句、川柳作り・ 名筆の鑑賞・ 作品の裏打ち・ 作品の額装・ 作品の鑑賞	<ul style="list-style-type: none">・ 自作俳句、川柳について、どんな思いで作ったか発表する。・ 作品の互評会	<ul style="list-style-type: none">・ 国語科の古典との連携により、名作俳句や川柳について調べる。

<ul style="list-style-type: none">・手紙（便箋）の書き方・封筒の書き方・葉書の書き方・硬筆の名筆の鑑賞	<ul style="list-style-type: none">・実用書の互評会	

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
デザイン		2	全日制課程・普通科・3学年	やさしいデザインの教科書(エムティエヌコーポレーション)			
科目の目標		デザインの幅広い創造活動をとおして 造形的な見方・考え方を働かせ デザイン制作体験を重ね 造形表現にかかわる 資質・能力を育成することを目指す (1)デザインの意味 社会や身の回りにおけるデザインの意義 素材の研究など デザイン製作体験を通して身につける (知識・技能) (2)様々な出題形式に対応できる思考力 判断力 表現力の質の向上を目指す (思考力、判断力、表現力等) (3)自己表現した作品を尊重し 客観的に分析して 評価・鑑賞できる能力を身につける (学びに向かう力、人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月	基礎基本・・・教科書内容説明 鉛筆の持ち方 RGB・光の三原色 MCY・色の三原色	4	① 知識・技能 幅広い美術世界の確認 学問への啓発活動 コンパス 三角定規による製図	全体確認	教科書分析	質疑応答	全教科 全分野
5月	作品制作その1・・・平面構成の基本 デッサン・平面分割・構成	10	② 思考・判断・表現 学問への啓発活動 黄金分割 五角形 12面体 フィボナッチ数列による製図 透視図法	個々の作品	調査 研究 準備と実践	質疑応答	国語 理科 数学 理科
	作品制作その2・・・平面構成の基本 デッサン・平面分割・構成		③ 主体的に学習に取り組む態度 学問への啓発活動 空間認識 図形認識	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	講評会	
6月	作品制作その3・・・平面構成の基本 デッサン・平面分割・構成	10	① 知識・技能 自己分析		組み合わせ 配置	質疑応答	国語 理科 数学 理科
7月		9	② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 点描 線描				
9月	作品制作その4・・・平面構成の基本 デッサン・平面分割・構成	9	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学 問分野の研究	個々の作品	調査研究準備と実践	質疑応答	国語 理科 数学 理科
10月	作品制作その5・・・平面構成の基本 デッサン・平面分割・構成		② 思考・判断・表現 組み合わせ 配置	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	講評会	
11月	作品制作その6・・・平面構成の基本 デッサン・平面分割・構成	10	③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	講評会	
12月	作品制作その7・・・平面構成の基本 デッサン・平面分割・構成	9	③ 主体的に学習に取り組む態度 自己分析 調査 研究	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	講評会	
1月	入試直前研究・・・デザイン・美学・芸術学関連による学術的探究	9	① 知識・技能 言葉 イメージ 文学 美学 芸術学 他 学 問分野の研究	個々の作品	配置 組み合わせ 構成	質疑応答	国語 理科 数学 理科
2月							
3月							
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
デッサン		2	全日制課程・普通科・3学年	新版 基礎から身につく はじめての デッサン(株式会社 西東社)			
科目の目標		デッサンの幅広い創造活動をとおして、造形的な見方・考え方を働かせ、デッサン体験を重ね、造形表現にかかわる資質・能力を育成することを目指す (1)デッサンの意味、物体の見方・とらえ方、鉛筆や木炭などの素材の研究から、自己表現できる技能を身につける (知識・技能) (2)様々な出題形式に対応できる思考力、判断力、表現力の質の向上を目指す (思考力、判断力、表現力等) (3)自己表現した作品を尊重し、客観的に分析して、評価・鑑賞できる能力を身につける (学びに向かう力、人間性等)					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月	基礎基本・・・教科書内容説明 鉛筆の持ち方 姿勢について	4	① 知識・技能 調子による明暗 形態としての図 構図 狙いと意図	全体確認	教科書分析	質疑応答	数学
5月	作品制作その1・・・点描・線描による素描作品制作	10	② 思考・判断・表現 空間認識 図形認識	個々の作品	調査 研究 準備と実践	質疑応答	数学
	作品制作その2・・・素描作品制作		③ 主体的に学習に取り組む態度 調査 研究 準備	個々の作品	調査 研究 準備と実践	講評会	数学
6月	作品制作その3・・・素描作品制作	10	① 知識・技能 調子による明暗 形態としての図 構図 狙いと意図	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	数学
7月	作品制作その4・・・素描作品制作	9	② 思考・判断・表現 空間認識 図形認識	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	数学
			③ 主体的に学習に取り組む態度 調査 研究 準備	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	数学
9月	作品制作その5・・・素描作品制作	9	① 知識・技能 調子による明暗 形態としての図 構図 狙いと意図	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	数学
10月	作品制作その6・・・素描作品制作		② 思考・判断・表現 空間認識 図形認識	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	数学
11月	作品制作その7・・・点描・線描による素描作品制作	10	③ 主体的に学習に取り組む態度 調査 研究 準備	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	数学
12月	作品制作その8・・・点描・線描による素描作品制作	9	③ 主体的に学習に取り組む態度 調査 研究 準備	個々の作品	組み合わせ 配置	講評会	数学
1月	作品制作その9・・・素描作品制作	9	① 知識・技能 調子による明暗 形態としての図 構図 狙いと意図	個々の作品	組み合わせ 配置	質疑応答	数学
2月							
3月							
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
家庭基礎	2	全日制・普通科・1年	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来(教育図書)				
科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成に努める。						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力 の育成に関わる他教科等との 関連
4月 ～ 5月	生活設計	3	① 知識・技能 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。	ワークシート	オリエンテーション ライフステージについて知る 将来を見通して目標設定と意思決定について考える	グループ内で自分の考えを発表する。	現代社会、政治・経済
			② 思考・判断・表現 これからの自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 生活設計について自分の考えと人の考えを比較して意見を言うことができる。	ワークシート			
③ 主体的に学習に取り組む態度 人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。 生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	ワークシート						
5月 ～ 7月	青年期と家族	7	① 知識・技能 青年期の5つの自立について理解している。 職業の種類や意義について理解している。 現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。 新聞や書籍、インターネットなどを活用したり、身近な知人へのインタビューをしたりすることに	ワークシート 定期考査	青年期とはどのような時期なのかを知る。 職業労働と家事労働の特徴を理解する。 日本の雇用環境を考え、職業観を身に付ける。 男女共同参画社会について考える。 家族・家庭について考える。	グループ内で自分の考えを発表する。	現代社会、政治・経済
			② 思考・判断・表現 生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 ワーク・ライフ・バランスの視点から、職業労働のあり方について考え、意見をまとめることができる。	ワークシート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。 さまざまな家族の形や性のあり方について、理解しようとしている。 青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。	ワークシート レポート			
5月 ～ 7月	衣生活	15	① 知識・技能 被服の機能や衣服が健康に与える影響について理解している。 平面構成と立体構成の特徴を理解している。 ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 被服の管理について理解している。	ワークシート 定期考査 被服実習	衣服の機能について理解する。 衣服の素材について理解する。 衣服の表示、衣服の手入れや管理について理解し、日常生活での活用について考える。 衣生活と環境問題について考える。 被服製作をおとして基礎的な技術を身に付ける。	調べたことをまとめ、発表する。 話し合いをする。	地理、化学
			② 思考・判断・表現 衣生活と環境問題について、新聞、インターネットなどを通して資料を収集し、まとめることができる。	ワークシート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。	ワークシート			
8月 ～ 9月	ホームプロジェクト	8	① 知識・技能 生活の課題を見つけ、その改善方法を考え、調査したり実践したりすることができる。	レポート	生活の課題を見つけ、改善方法を考え、実践する。 実践したことをスライドにまとめて発表する。	スライドにまとめて発表する。	
			② 思考・判断・表現 実践したことをスライドにまとめ、発表する。	レポート 発表			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 実践を振り返り、さらなる学習へとつなげることができる。	レポート 発表			
10月 ～ 11月	食生活	15	① 知識・技能 栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。 日常食の調理について、栄養バランスのよい献立作成、調理について理解している。 安全で衛生的な調理方法を理解し、基礎的な技術を身に付けてる。 安全性やエネルギーに配慮した食品の購入や保存ができる。	調理実習 定期考査	食事と健康のかかわりや、食事の役割を理解する。 栄養素の種類と特徴、主な食品について理解する。 食事摂取基準を理解し、各栄養素の必要量を満たす献立を考える。 調理の基礎的な技術を身に付け、安全や衛生面に配慮した調理をする。 現代の食生活の問題や課題について理解し、改善方法を具体的に考える。	グループで話し合い、効率的な調理を考える。	保健、化学、生物
			② 思考・判断・表現 食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を考え、作成することができる。 自給率の低下など現在の食生活の問題について深く考えている。	ワークシート 献立作成シート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。	ワークシート			

12月	保育	6	① 知識・技能 子どもの心身の特徴や発達を理解している。 子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。	ワークシート 定期考査	子どもの心身の発達を理解する。 親の役割や子どもを産み育てることの意義を考える。 社会全体で子育てを支援し、環境を整備することの重要性を理解する。	自分の考えをまとめ、発表する。	保健、現代社会
			② 思考・判断・表現 親の役割や子どもを産み育てることの意義について考え、まとめたり、発表したりすることができる。 現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめたりすることができる。	ワークシート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 保育における親や社会の果たす役割について考えようとしている。 自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。	ワークシート			
1月	消費生活	6	① 知識・技能 さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解している。 契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。	ワークシート	18歳で成年となることについて自覚をもち、契約について理解する。 消費者トラブルについて理解し、対策を考える。 さまざまな支払方法を知り、自分にあった利用方法を考える。	グループで話し合い、トラブルを防止する方法を考える。	公共、政治経済、現代社会
			② 思考・判断・表現 消費者問題について考え、今後の課題と解決方法について発表したり、意見交換したりすることができる。	ワークシート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 自分の意思で契約できる「おとな」としての権利と責任や消費者問題について、自分ごととして捉えようとしている。	ワークシート			
2月	高齢者/共生社会	5	① 知識・技能 高齢者の心身の特徴について理解している。 我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。	ワークシート	高齢期の心身の特徴を理解する。 高齢者を支える地域の役割を考える。 社会保障制度など高齢者を支える仕組みを知る。	高齢者とのかわりについて話し合う。	地理、現代社会
			② 思考・判断・表現 高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善についてインターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。 祖父母や身近な高齢者から生きがいや健康問題などの現状を聞き取り、まとめたことを発表することができる。 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。	ワークシート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。	ワークシート			
3月	住生活	5	① 知識・技能 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解している。 住居の平面図を読みとり、住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてることができる。	ワークシート 平面計画シート	住まいの機能について理解する。 平面図を理解し、動線を考えた平面計画を作成する。 災害への備えや家庭内事故の予防方法を考える。	グループで話し合い、防災への意識を高める。	地理、保健
			② 思考・判断・表現 安全で健康的な住まいについて考えることができる。 動線を考えて平面図を作成することができる。	ワークシート 平面計画シート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 住まいの役割について自身の生活を振り返りながら考えようとしている。 住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。	ワークシート			
指導時間数の計		70					

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)			
フードデザイン		2	全日制・普通科・3学年	フードデザインFood Changes LIFE (教育図書)			
科目の目標		<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>					
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連
4月 2週 ～ 5月 1週	(1) 健康と食生活 ア 食事の意義と役割 イ 食生活の現状と課題	8	<p>① 知識・技能 食事の意義と役割について理解するとともに、食習慣、栄養状態、食事情、食の安全と環境との関わりなどの視点で、我が国の食生活の現状と課題を把握し、関連する情報を収集・整理することができる。</p> <p>② 思考・判断・表現 健康な食生活の在り方に関する課題を発見し、その解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活の工夫などについて考察することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 健康と食生活について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p>	<p>定期考査 レポート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>	教科書や映像資料から、食事の意義と役割を知る。食生活の現状と課題について教科書で学習した後、各自でテーマを一つ取り上げ、情報を収集し、レポートにまとめる。	グループ内で発表	保健
5月 2週 ～ 11月 4週	(2) フードデザインの構成要素 ア 栄養 イ 食品 ウ 料理形式と献立 エ 調理 オ テーブルコーディネート	35	<p>① 知識・技能 食生活を総合的に計画・実践できるようにするために、栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどのフードデザインの構成要素について理解し、関連する技術を身に付ける。</p> <p>② 思考・判断・表現 フードデザインの構成要素について課題を発見し、その解決に向けてより豊かな食生活について考察し、工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 フードデザインの構成要素について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p>	<p>実技試験 定期考査</p> <p>発表・スライド</p> <p>行動観察 ワークシート</p>	栄養と食品について教科書で学習する。調理実習や、実技試験で調理の基本的な技術を身に付ける。グループごとにテーマを決め、スライドを作り、発表をする。	スライドを使った発表 グループでの話し合い	保健
11月 5週 ～ 12月 3週	(3) フードデザイン実習 ア 食事テーマの設定と献立作成 イ 食品の選択と調理 ウ テーブルコーディネートとサービスの実習	15	<p>① 知識・技能 食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解し関連する技術を身に付ける。</p> <p>② 思考・判断・表現 食事計画についての課題を発見し、その解決に向けて考察し、表現することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 フードデザイン実習について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p>	<p>定期考査</p> <p>定期考査 ワークシート</p> <p>ワークシート</p>	食事のテーマに応じた献立作成をする。食事計画についての課題を発見し、解決方法を考察する。	グループでの話し合い	
1月 2週 ～ 1月 5週	(4) 食育と食育推進活動 ア 食育の意義 イ 家庭や地域における食育推進活動	12	<p>① 知識・技能 食育を推進することの重要性を理解し、家庭や学校及び地域で食育推進活動を推進するための関連する技術を身に付ける。</p> <p>② 思考・判断・表現 家庭や学校及び地域における食育の推進について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 食育と食育推進活動について自ら学び、家庭や社会の人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために食育の推進に主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>ワークシート</p>	食育と食育推進活動について調べ、課題を設定し、解決方法を考察し、レポートにまとめる。	グループ内での発表	
指導時間数の計		70					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
情報 I	2	3年次:人文社会学類型(文系2)	高校情報 I python (実教出版)				
科目の目標		<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>					
時期	単元・題材名	指導時数	単元・題材で育成する資質・能力 〈単元・題材の評価規準〉	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 ～ 6月中	情報デザイン1	14	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> Word、PowerPoint の基本的な使い方を理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報デザインを意識した作品が作れる。 PowerPoint を用いてプレゼンテーションが行える。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> Word、PowerPoint を用いて作品を作る。 	<p>作品を評価する</p> <p>作品及びプレゼンテーションを評価する</p> <p>授業態度 作品の制作状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> Word、PowerPoint の基本的な使い方及び情報デザインについての講義を聞く。 情報デザインを意識して、Word、PowerPoint を用いて作品を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> PowerPoint を用いてプレゼンテーションを行う。 	
6月下 ～ 9月	情報デザイン2	12	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> HTML、CSS について理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> Webページを作成できる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> Webページを作成する。 	<p>ワークシートを使った実習結果</p> <p>Webページの出来</p> <p>作品の制作状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> HTML、CSS について、復習の講義を聞く。 課題についての Web ページを作る。 	<p>Webページの発表</p>	
10月 ～ 11月	問題解決	12	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> Excel の関数を用いることができる。 Excel でグラフを作ることができる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> Excel の関数を用いて、データが分析できる。 Excel で適切なグラフを選んで作ることができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題に取り組んでいるか。 	<p>ワークシートを使った実習結果</p> <p>分析結果のレポート</p> <p>課題に対する取り組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> Excel の関数の使い方、グラフの作成方法について講義を聞く。 課題についての Excel による分析を行いレポートを作成する。 	<p>レポートの発表</p>	<p>数学 I データの分析</p>
12月 ～ 1月	プログラミング	10	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> Excel のVBAで簡単なプログラムを作れる。 作ったプログラムを実行できる。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況に合わせてプログラムを作ることができる。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラムを作成しようとしているか。 	<p>ワークシートを使った実習結果</p> <p>課題に対するプログラム</p> <p>課題に対する取り組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 講義を聞いて、VBAの使い方を理解する。 課題に合わせたプログラムを作る。 	<p>グループで話し合っ てプログラムを完成する</p>	
指導時間数の計		50					

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
情報 I	2	2年次	高校情報 I python (実教出版)				
科目の目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>						
時期	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月	第1章 情報社会	6	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けること。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解すること。 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解すること。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えること。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察すること。 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察すること。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉試験 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 解説を聞き、プリントで演習 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報や著作権などについて話し合う 	<p>公共</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち
5月	第2章 情報デザイン	6	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解すること。 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けること。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善すること。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉試験 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 解説を聞く パソコンでの演習 		<p>美術 I</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン 情報メディアデザイン
6月 ～ 7月	第3章 デジタル	12	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解すること。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉試験 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 解説を聞く パソコンでの演習 		<p>数学 A</p> <p>数学と人間の活動 (n進法)</p>
9月 ～ 10月中	第4章 ネットワーク	12	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解すること。 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解すること。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えること。 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉試験 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 解説を聞く パソコンでの演習 		
10月下 ～ 11月上	第5章 問題解決	6	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けること。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えること。 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉試験 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 解説を聞く パソコンでの演習 	<ul style="list-style-type: none"> 問題の解決方法について話し合う 	<p>数学 I</p> <p>データの分析</p> <p>数学 B</p> <p>統計的な推測</p>
11月中 ～ 12月	第6章 プログラミング	12	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けること。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善すること。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉試験 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 解説を聞く パソコンでの演習 		
1月 ～ 3月	問題演習	16	<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な問題が解ける。 <p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 応用力が必要な問題が解ける。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題を解き、解説を聞いて理解しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題集 模擬試験 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解き、解説を聞く 		
指導時間数の計		70					